

## 【表紙】

【提出書類】 有価証券届出書

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 2023年9月15日

【発行者名】 SBIアセットマネジメント株式会社

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 梅本 賢一

【本店の所在の場所】 東京都港区六本木一丁目6番1号

【事務連絡者氏名】 山下 明美

【電話番号】 03-6229-0170

【届出の対象とした募集内国投資  
信託受益証券に係るファンドの  
名称】 SBIグローバル・ラップファンド（安定型）  
SBIグローバル・ラップファンド（積極型）

【届出の対象とした募集内国投資  
信託受益証券の金額】 SBIグローバル・ラップファンド（安定型）  
上限5,000億円  
SBIグローバル・ラップファンド（積極型）  
上限5,000億円

【縦覧に供する場所】 該当事項はありません。

## 第一部【証券情報】

### （１）【ファンドの名称】

SBIグローバル・ラップファンド（安定型）

SBIグローバル・ラップファンド（積極型）

（以上を総称して「SBIグローバル・ラップファンド」、「My-ラップ」または「本ファンド」という場合があります。また、それぞれを「各ファンド」という場合があります。）

なお、各ファンドについて、以下の愛称を用いることがあります。

| ファンド名称                | 愛称          |
|-----------------------|-------------|
| SBIグローバル・ラップファンド（安定型） | My-ラップ（安定型） |
| SBIグローバル・ラップファンド（積極型） | My-ラップ（積極型） |

### （２）【内国投資信託受益証券の形態等】

契約型の追加型証券投資信託の受益権です。

本ファンドの当初元本は1口当たり1円です。

信用格付業者から提供され、もしくは閲覧に供された信用格付はありません。また、提供され、もしくは閲覧に供される予定の信用格付もありません。

ファンドの受益権は、社債、株式等の振替に関する法律（以下「社振法」といいます。）の規定の適用を受け、受益権の帰属は、後記の「(11) 振替機関に関する事項」に記載の振替機関及び当該振替機関の下位の口座管理機関（社振法第2条に規定する「口座管理機関」をいい、振替機関を含め、以下「振替機関等」といいます。）の振替口座簿に記載または記録されることにより定まります（以下、振替口座簿に記載または記録されることにより定まる受益権を「振替受益権」といいます。）。委託会社であるSBIアセットマネジメント株式会社（2023年4月1日に、SBIアセットマネジメント株式会社を存続会社とし、新生インベストメント・マネジメント株式会社と合併しました。なお、商号はSBIアセットマネジメント株式会社を継承しました。）（以下「委託者」または「委託会社」という場合があります。）は、やむを得ない事情等がある場合を除き、当該振替受益権を表示する受益証券を発行しません。また、振替受益権には無記名式や記名式の形態はありません。

### （３）【発行（売出）価額の総額】

|                       |                 |
|-----------------------|-----------------|
| SBIグローバル・ラップファンド（安定型） | 5,000億円を上限とします。 |
| SBIグローバル・ラップファンド（積極型） | 5,000億円を上限とします。 |

### （４）【発行（売出）価格】

取得申込受付日の翌営業日の基準価額とします。

#### （ ） 基準価額の算出方法

「基準価額」とは、信託財産に属する資産（受入担保金代用有価証券を除きます。）を法令及び一般社団法人投資信託協会規則にしたがって時価評価して得た信託財産の資産総額から負債総額を控除した金額（以下「純資産総額」といいます。）を計算日における受益権総口数で除した金額をいいます。ただし、便宜上1万口当たりで表示されます。

#### （ ） 基準価額の算出頻度・照会方法等

基準価額は毎営業日算出されます。最新の基準価額（1万口当たり）は販売会社または委託会社にお問い合わせいただけるほか、原則として翌日付の日本経済新聞朝刊にも掲載されています。

委託会社における照会先：

SBIアセットマネジメント株式会社(委託会社)

電話番号 03 - 6229 - 0097 (受付時間: 毎営業日の午前9時~午後5時)

ホームページ <http://www.sbi-am.co.jp/>

(5) 【申込手数料】

通常のお申込み

取得申込受付日の翌営業日の基準価額に、3.3% (税抜3.0%) を上限として販売会社が独自に定める手数料率を乗じて得た額とします。

お申込手数料は販売会社により異なる場合がありますので、販売会社にお問い合わせください。なお、前記(4)に記載の照会先においてもご確認いただけます。

\* 申込手数料には、消費税及び地方消費税(以下「消費税等」といいます。)が課されます。

(注) 申込手数料とは、購入時の商品説明、情報提供及び事務手続き等にかかる対価のことをいいます。

確定拠出年金制度に基づくお申込み

申込手数料はかかりません。

取得申込みに際して、本ファンドにかかる「自動けいぞく投資契約」(取扱販売会社によっては名称が異なる場合もございます。)を取扱販売会社との間で結んでいただきます。また、確定拠出年金、または変額年金を通じて取得申込みを行う場合は、当該定めにしたがうものとします。

(6) 【申込単位】

お申込単位は、各販売会社が定めるものとします。(当初1口=1円)

詳しくは販売会社にお問い合わせください。なお、前記(4)に記載の照会先においてもご確認いただけます。

(7) 【申込期間】

2023年9月16日(土曜日)から2024年3月15日(金曜日)まで

なお、申込期間は、上記期間満了前に有価証券届出書を提出することによって更新されます。

(8) 【申込取扱場所】

委託会社の指定する販売会社においてお申込みの取扱いを行います。

販売会社は、前記(4)に記載の照会先においてもご確認いただけます。

(9) 【払込期日】

取得申込者は、販売会社が定める日までにお申込金額を販売会社に支払うものとします。詳細については販売会社にお問い合わせください。

各取得申込受付日の発行価額の総額は、追加設定を行う日に販売会社より委託会社の口座を経由して受託会社のファンド口座に払込まれます。

(10) 【払込取扱場所】

お申込代金について、取得申込者はお申込みの販売会社に支払うものとします。

販売会社については前記(4)に記載の照会先においてもご確認いただけます。

(11) 【振替機関に関する事項】

ファンドの受益権の振替機関は以下の通りです。

株式会社証券保管振替機構

## (12) 【その他】

お申込みの方法等

(i) 受益権取得申込者は、販売会社との間で証券投資信託の取引に関する契約に基づいて、取引口座の開設を申込む旨のお申込書を提出します。

( ) 前記( )の定めは、本ファンドの当初の設定にかかる委託会社自らの受益権の取得の場合には適用しません。

日本以外の地域における発行

該当事項はありません。

申込の受付の中止、すでに受付けた取得申込の受付の取消し

委託会社は、取得申込者の取得申込総額が多額な場合、信託財産の効率的な運用が妨げられると委託会社が合理的に判断する場合、または金融商品取引所（金融商品取引法第2条第16項に規定する金融商品取引所及び金融商品取引法第2条第8項第3号口に規定する外国金融商品市場をいいます。以下同じ。なお、金融商品取引所を単に「取引所」という場合があります。取引所のうち、有価証券の売買または金融商品取引法第28条第8項第3号もしくは同項第5号の取引を行う市場ないしは当該市場を開設するものを「証券取引所」という場合があります。）等における取引の停止、外国為替取引の停止、その他やむを得ない事情があるときは、販売会社は、受益権の取得申込みの受付を中止すること、及びすでに受付けた取得申込みを取消すことができます。

なお、取得申込みの受付が中止または取消しされた場合には、受益者は当該受付中止または取消し以前に行った当日の取得申込みを撤回できます。ただし、受益者がその取得申込みを撤回しない場合には、当該受益権の取得の価額は、当該受付中止を解除した後の最初の基準価額の計算日に取得申込みを受付けたものとして取扱うこととします。

振替受益権について

ファンドの受益権は、社振法の規定の適用を受け、前記「(11) 振替機関に関する事項」に記載の振替機関の振替業にかかる業務規程等の規則にしたがって取扱われるものとします。

ファンドの分配金、償還金、換金代金は、社振法及び前記「(11) 振替機関に関する事項」に記載の振替機関の業務規程その他の規則にしたがって支払われます。

### (参考)

投資信託振替制度とはファンドの受益権の発生、消滅、移転をコンピュータシステムにて管理するものです。ファンドの設定、解約、償還等がコンピュータシステム上の帳簿（「振替口座簿」といいます。）への記載・記録によって行われますので、受益証券は発行されません。

## 第二部【ファンド情報】

### 第1【ファンドの状況】

#### 1【ファンドの性格】

##### (1)【ファンドの目的及び基本的性格】

ファンドの目的

この投資信託は、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。

ファンドの基本的性格

ファンドの商品分類

ファンドは、一般社団法人投資信託協会が定める商品分類において、「追加型投信 / 内外 / 資産複合」に分類されます。ファンドの商品分類、属性区分の詳細につきましては、以下ようになります。

なお、ファンドが該当しない商品分類及び属性区分、その定義につきましては、一般社団法人投資信託協会のホームページ (<https://www.toushin.or.jp/>) でご覧ください。

#### 商品分類

SBIグローバル・ラップファンド（安定型）

SBIグローバル・ラップファンド（積極型）

ファンドの商品分類は「追加型投信 / 内外 / 資産複合」です。

商品分類表（ファンドが該当する商品分類を網掛け表示しています。）

| 単位型・追加型 | 投資対象地域 | 投資対象資産<br>(収益の源泉) |
|---------|--------|-------------------|
| 単位型投信   | 国内     | 株式<br>債券          |
| 追加型投信   | 海外     | 不動産投信             |
|         | 内外     | その他資産<br>( )      |
|         |        | 資産複合              |

商品分類の定義

| 該当分類  | 分類の定義   |
|-------|---|
| 追加型投信 | 一度設定されたファンドであってもその後追加設定が行われ従来の信託財産とともに運用されるファンドをいいます。                     |
| 内外    | 目論見書または投資信託約款において、国内及び海外の資産による投資収益を実質的に源泉とする旨の記載があるものをいいます。               |
| 資産複合  | 目論見書または信託約款において、株式、債券、不動産投信、その他資産のうち複数の資産による投資収益を実質的に源泉とする旨の記載があるものをいいます。 |

#### 属性区分

## ファンドの属性区分

|        |   |
|--------|---|
| 投資対象資産 | その他資産<br>(投資信託証券(資産複合(株式、債券、不動産投信、その他資産)<br>資産配分変更型)) |
| 決算頻度   | 年1回   |
| 投資対象地域 | グローバル(日本含む)   |
| 投資形態   | ファンド・オブ・ファンズ  |
| 為替ヘッジ  | あり(適時ヘッジ)   |

## 属性区分表(ファンドが該当する属性区分を網掛け表示しています。)

| 投資対象資産                                    | 決算頻度 | 投資対象地域 | 投資形態  | 為替ヘッジ   |
|---|------|--------|-------|---------|
| 株式  | 年1回  |        |       |         |
| 一般  | 年2回  | グローバル  |       |         |
| 大型株                                       | 年4回  | (日本含む) |       |         |
| 中小型株                                      | 年6回  | 北米     |       |         |
| 債券  | (隔月) | 欧州     | ファミリー | あり      |
| 一般  | 年12回 | アジア    | ファンド  | (適時ヘッジ) |
| 公債  | (毎月) | オセアニア  |       |         |
| 社債  | 日々   | 中南米    | ファンド・ |         |
| その他債券                                     | その他  | アフリカ   | オブ・   | なし      |
| クレジット                                     | ( )  | 中近東    | ファンズ  |         |
| 属性  |      | (中東)   |       |         |
| ( )                                       |      | エマージング |       |         |
| 不動産投信                                     |      |        |       |         |
| その他資産                                     |      |        |       |         |
| (投資信託証券(資産複合(株式、債券、不動産投信、その他資産))資産配分変更型)) |      |        |       |         |
| 資産複合                                      |      |        |       |         |

属性区分の投資対象資産に記載している「その他資産」は、投資信託証券(資産複合(株式、債券、不動産投信、その他資産)資産配分変更型)です。

属性区分に記載している「為替ヘッジ」は、対円での為替リスクに対するヘッジの有無を記載しております。

## 属性区分の定義

| 該当区分   | 区分の定義  |
|--|--|
| その他資産<br>(投資信託証券(資産複合(株式、債券、不動産投信、その他資産))資産配分変更型)) | 目論見書または信託約款において、組入れ資産が主として投資信託証券であり、実質的に複数資産(株式、債券、不動産投信、その他資産)を投資対象とし、組入比率については機動的な変更を行う旨の記載があるものをいいます。本ファンドはファンド・オブ・ファンズ方式で運用されます。このため、組入れている資産を示す属性区分上の投資対象資産(その他資産(投資信託証券(資産複合(株式、債券、不動産投信、その他資産))資産配分変更型))と、収益の源泉となる資産を示す商品分類上の投資対象資産(資産複合)とが異なります。 |

|                    |  |
|--------------------|--|
| 年1回                | 目論見書または信託約款において、年1回決算する旨の記載があるものをいいます。   |
| グローバル<br>(日本含む)    | 目論見書または信託約款において、組入資産による投資収益が世界の資産を源泉とする旨の記載があるものをいいます。<br>なお、「世界の資産」の中に日本を含みます。                                    |
| ファンド・オブ・ファンズ       | 目論見書または信託約款において、投資信託及び外国投資信託の受益証券ならびに投資法人及び外国投資法人の投資証券(投資法人債券を除く)への投資を目的とする投資信託(ファミリーファンドのベビーファンドに該当するものを除く)をいいます。 |
| 為替ヘッジあり<br>(適時ヘッジ) | 目論見書または信託約款において、為替のフルヘッジまたは一部の資産に為替のヘッジを行う旨の記載があるもののうち、適時ヘッジを行うものをいいます。  |

## ファンドの特色

## 1 SBIグローバル・ラップファンドは、安定型※、と積極型※、の2つのファンドで構成されています。なお、次の愛称を用いることがあります。

| ファンド名称                | 愛称          |
|-----------------------|-------------|
| SBIグローバル・ラップファンド（安定型） | My-ラップ（安定型） |
| SBIグローバル・ラップファンド（積極型） | My-ラップ（積極型） |

※安定型、積極型の各名称は、ファンド相互の相対的なリスク量を示すものであり、元本を保証するということの意味するものではありません。

## 2 上場投資信託証券(ETF)及び投資信託証券を主要投資対象とします。

- 投資対象とする上場投資信託証券(ETF)及び投資信託証券は、総称して「投資対象ファンド」という場合があります。
- 投資対象ファンドの選定及び投資比率については、各資産の期待リターンやリスク、各資産における相関係数等をもとに決定します。

## 3 世界各国のさまざまな資産への分散投資により、中長期的な収益の獲得を目指します。

- 投資対象ファンドへの投資を通じて、世界各国の株式、債券、貸付債権（バンクローン）、ヘッジファンド、コモディティ、不動産投資信託証券（リート）等、さまざまな資産への分散投資を行うことで収益の獲得を目指します。
- スマートベータ指数※に連動するETFや、国内及び海外の中小型株式へ投資を行うことにより、追加的な収益の獲得を追求します。

※スマートベータ指数とは、時価総額に応じて銘柄を組入れる従来型の株価指数ではなく、財務指標（売上高、営業キャッシュフロー、配当金など）や株価の変動率など銘柄の特定の要素に基づいて構成された指数のことをいいます。

- ・運用期間中に亘り上記のすべての資産に投資するとは限りません。
- ・投資対象ファンドは、定性、定量評価等により適宜見直す場合があります。したがって、当初組入れていた投資対象ファンドでも、運用期間中に投資対象から外したり、新たな投資対象ファンドを選定し投資対象とする場合があります。

## 4 投資対象ファンドの選定及び投資比率の決定にあたっては、ウエルスアドバイザー株式会社からの助言により運用されます。

ウエルスアドバイザー株式会社  
投資信託を中心に、様々な金融商品に関する調査分析情報を提供する運用調査機関です。  
グローバルな株式銘柄の分析、ファンド選定、資産配分に関する運用助言等を行っています。  
契約資産残高約4,256億円（2023年6月末現在）

資金動向、市況動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。



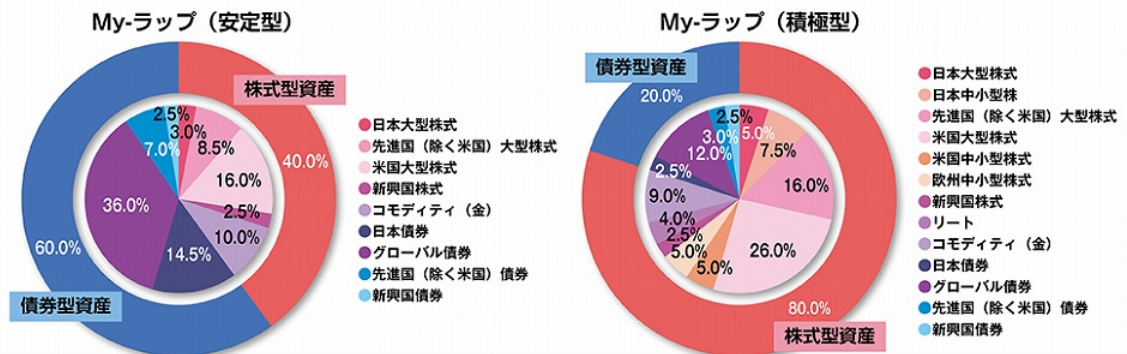
## 5

## 投資目的やリスク許容度等に応じた2つのファンドから選択いただけます。

## ■各ファンドの基本配分比率

| 資産クラス・基本配分         | My-ラップ（安定型） | My-ラップ（積極型） |
|--------------------|-------------|-------------|
| 債券型資産（債券、ヘッジファンド等） | 70%         | 30%         |
| 株式型資産（株式、リート等）     | 30%         | 70%         |

## ■各資産クラスへの基本投資比率（2023年3月変更）



- ・本ファンドは、投資対象ファンドへの投資により世界各国のさまざまな資産へ投資します。
- ・実際の投資対象ファンドへの投資比率は、市況見通しの変化等により基本配分比率に対して±10%の範囲で変動させる場合があります。また、経済環境の変化等が見込まれた場合には、基本配分比率の見直しを行う場合があります。

投資対象ファンドは、後掲「追加的記載事項」「投資対象ファンドの概要」をご覧ください。

資金動向、市況動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。

## 追加的記載事項

本ファンドが投資対象としている投資対象ファンドの概要は次の通りです。

投資対象ファンドは、定性・定量評価等により見直す場合があります。したがって、当初組入れていた投資対象ファンドでも、運用期間中に投資対象から外したり、新たな投資対象ファンドを選定し投資対象とする場合があります。

なお、下記は2023年9月16日以降に投資する投資対象ファンドの内容です。2023年6月末時点で委託会社が取得可能な情報を基に記載しており、今後変更される場合があります。

### ●投資対象ファンドの概要

| 資産区分  | 投資対象                  | 投資対象ファンド                                     | ベンチマーク   | 運用の基本方針   |
|-------|-----------------------|--|--|---|
| 株式型資産 | 日本<br>大型株式            | iシェアーズ・コア<br>TOPIX ETF                       | (東証株価指数 (TOPIX))<br>日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークです。1968年(昭和43年)1月4日の時価総額を100として、その後の時価総額を指数化したものです。   | 日本の株式市場全体の動向を示す「東証株価指数 (TOPIX)」への連動を目指して運用を行います。TOPIXに採用されている銘柄および採用が決定された銘柄の株式を投資対象とします。   |
|       | 日本<br>中小型株式           | SBI中小型<br>成長株ファンド<br>ネクストジャパン<br>(適格機関投資家専用) | ベンチマークはありません   | <ol style="list-style-type: none"> <li>主として、中小型成長株・マザーファンド受益証券(以下「マザーファンド受益証券」といいます)に投資し、信託財産の積極的な成長を目指して運用を行います。</li> <li>マザーファンド受益証券の組入れ比率は、原則として高位を維持し、株式以外の資産への実質投資割合は、信託財産の総額の50%以下とします。</li> <li>ただし、資金動向、市況動向の急激な変化が生じたとき等ならびに信託財産の規模によっては、上記の運用ができない場合があります。</li> <li>マザーファンド受益証券の運用に関しては、エンジェルジャパン・アセットマネジメント株式会社より投資助言を受けます。</li> </ol> |
|       | 先進国<br>(除く米国)<br>大型株式 | SPDR ポートフォリオ<br>先進国株式(除く米国)<br>ETF           | (S&P ディベロップド(除く米国)・ブロード・マーケット・インデックス)<br>S&P ダウジョーンズ・インデックス社が算出する指数で米国を除く先進国株式市場全体の動きを表す株価指数です。  | S&Pディベロップド(除く米国)・ブロード・マーケット・インデックスに連動する投資成果を目指すETF(上場投資信託)です。米国以外の先進国を所在国とする上場企業を投資ユニバースとします。   |
|       | 米国<br>大型株式            | シュワブ・<br>米国大型株グロース・<br>ETF                   | (ダウジョーンズ・米国大型成長株・インデックス)<br>米国の大型成長株のパフォーマンスを測定する指数です。   | 米国の大型成長株のパフォーマンスを測定する「ダウジョーンズ・米国大型成長株・インデックス」に連動する投資成果を目指して運用を行います。   |
|       | 米国<br>中小型<br>株式       | パンガード・<br>スモールキャップ・<br>グロースETF               | (CRSP USスモールキャップ・グロース・インデックス)<br>CRSP USスモールキャップ・インデックスにおける成長株のパフォーマンスを表す指数です。(CRSP USスモールキャップ・インデックスは、米国の小型株式の動向を示す株価指数で、米国の株式市場(ニューヨーク証券取引所、ナスダック、NYSE Arca)の時価総額下位2%~15%に属する銘柄で構成されています。) | 米国の小型成長株のパフォーマンスを測定する「CRSP USスモールキャップ・グロース・インデックス」に連動する投資成果を目指して運用を行います。  |
|       | 欧州<br>中小型<br>株式       | フランクリン・FTSE<br>ユーロゾーン<br>ETF                 | (FTSE ユーロゾーン先進国・インデックス)<br>欧州先進国10カ国の大型株・中型株の動向を示す株価指数です。  | 欧州先進国10カ国の大型株・中型株のパフォーマンスを測定するFTSE ユーロゾーン先進国・インデックスに連動する投資成果を目指して運用を行います。   |

| 資産区分  | 投資対象        | 投資対象ファンド                                   | ベンチマーク   | 運用の基本方針   |
|-------|-------------|--|--|---|
| 株式型資産 | 新興国株式       | SPDR ポートフォリオ・新興国株式 ETF                     | (S&P エマージングBMI指数)<br>S&P ダウジョーンズ・インデックス社が算出する指数で新興国株式市場全体の動きを表す株価指数です。   | 新興国株式市場全体の動きを表すS&P エマージングBMI指数に連動する投資成果を目指して運用を行います。  |
|       | コモディティ(金)   | abrdn<br>フィジカル・ゴールド・シェアーズETF               | LBMA金価格  | 市場での現物の金地金の取引価格に連動する投資成果を目指して運用を行います。<br>金地金価格は、ロンドン市場における取引価格が国際的な指標です。  |
|       | リート         | 不動産セレクト・セクター SPDR<br>ファンド                  | 不動産セレクト・セクター指数   | S&P500指数における不動産セクターのパフォーマンスを計測する指標である不動産セレクト・セクター指数の値動きに、経費控除前ベースで概ね連動する投資成果を追求します。   |
| 債券型資産 | 日本債券        | NEXT FUNDS<br>国内債券・NOMURA-BPI<br>総合連動型上場投信 | 〈NOMURA-BPI総合〉<br>国内で発行された公募利付債券の市場全体の動向を表す投資収益指数で、一定の組み入れ基準に基づいて構成された債券ポートフォリオのパフォーマンスをもとに算出されます。   | ベンチマークである「NOMURA-BPI総合」に連動する投資成果を目指して運用を行います。   |
|       | グローバル債券     | ピムコ・バミューダ・インカムファンドA<br>クラスX(JPY)           | ベンチマークはありません   | 「ピムコ・バミューダ・インカムファンド(M)」受益証券を主要投資対象として、投資適格未満の銘柄も含めた世界の幅広い銘柄の中から、米ドル建ての債券等を中心に投資を行うことで、長期的な信託財産の成長を目指すとともに、利子収入の最大化を目指す運用を行います。  |
|       | 先進国(除く米国)債券 | バンガード・トータル・インターナショナル債券ETF(米ドルヘッジあり)        | 〈ブルームバーグ・グローバル総合(米ドル除く)浮動調整RIC基準インデックス(米ドルヘッジベース)〉<br>グローバルな投資適格固定利付債券市場のパフォーマンスを広範に測定します。米ドル建て以外の、政府債、政府機関債、社債、及び証券化された非米国の投資適格固定利付債券で構成されています。同一の発行体(外国政府を含む)への投資に上限(20%)を設けています。組入れ証券の該当通貨の米ドルに対する為替レートの変動を相殺するため、米ドルヘッジされています。 | ブルームバーグ・グローバル総合(米ドル除く)浮動調整RIC基準インデックス(米ドルヘッジベース)のパフォーマンスへの連動を目指します。為替レートの不確実性への保護を追求する目的で、組入れ証券の該当通貨の米ドルに対するヘッジ戦略を採用していますが、あくまでも米ドルベースのヘッジ戦略であるため、日本円をベースとした投資家にとっては為替リスクを伴います。インデックス・サンプリング法を用いたパッシブ運用です。ファンドはフルインベストメントを維持します。米国以外の主要な債券市場全体への、幅広く分散したエクスポージャーを提供します。低経費によってトラッキングエラーを最小限に抑えます。 |
|       | 新興国債券       | バンガード・米ドル建て新興国政府債券ETF                      | 〈ブルームバーグ米ドル建て新興市場政府債RIC基準インデックス〉<br>新興市場国政府、政府機関、及び国有企業が発行体であり残存期間が1年超の米ドル建て債券で構成される指数です。  | ブルームバーグ米ドル建て新興市場政府債RIC基準インデックスに連動する投資成果を目指して運用を行います。  |

### ●投資対象ファンドの対象指数について

- 東証株価指数（TOPIX）（出所：東京証券取引所）  
東証株価指数（TOPIX）は、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、時価総額加重方式により算出される株価指数です。なお、TOPIXに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は東京証券取引所に帰属します。
- S&P ディベロッップド(除く米国)・ブロード・マーケット・インデックスは、S&P ダウジョーンズ・インデックス社が算出する指数で米国を除く先進国株式市場全体の動きを表す株価指数です。同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はS&P ダウジョーンズ・インデックス社に帰属します。
- ダウジョーンズ・米国大型成長株・インデックス  
出所：S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス社（S&P社）  
ここに掲載される全ての情報は、信頼の置ける情報源から得たものでありますが、その確実性及び完結性をS&P社は何ら保証するものではありません。またその著作権はS&P社に帰属しており、その許諾なしにコピーを含め電子的、機械的な一切の手段その他あらゆる形態を用い、またはあらゆる情報保存、検索システムを用いて出版物、資料、データ等の全部または一部を複製・頒布・使用等することは禁じられています。
- CRSP USスモールキャップ・グロース・インデックス  
米国の小型株式のうち成長株の動向を示す株価指数です。同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はシカゴ大学証券価格調査センター（Center for Research in Security Prices）に帰属します。
- FTSE ユーロゾーン先進国・インデックス  
同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はFTSE Russellに帰属します。
- LBMA金価格  
ロンドン市場における1トロイオンスあたりの金現物価格です。LBMAは、ロンドン貴金属市場協会（London Bullion Market Association）の略称です。
- S&P エマージングBMI指数  
出所：S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス社（S&P社）  
ここに掲載される全ての情報は、信頼の置ける情報源から得たものでありますが、その確実性及び完結性をS&P社は何ら保証するものではありません。またその著作権はS&P社に帰属しており、その許諾なしにコピーを含め電子的、機械的な一切の手段その他あらゆる形態を用い、またはあらゆる情報保存、検索システムを用いて出版物、資料、データ等の全部または一部を複製・頒布・使用等することは禁じられています。
- NOMURA-BPI総合  
NOMURA-BPI総合の知的財産権およびその他一切の権利は野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属します。なお、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社は、NOMURA-BPI総合の正確性、完全性、信頼性、有用性、市場性、商品性および適合性を保証するものではなく、NOMURA-BPI総合を用いて運用されるETFの運用成果等に関して一切責任を負いません。
- ブルームバーグ・グローバル総合（米ドル除く）浮動調整RIC基準インデックス（米ドルヘッジベース）は、グローバルな投資適格固定利付債券市場の値動きを表す指数です。同指数に関する著作権、知的所有権その他一切の権利はブルームバーグ社に帰属します。
- ブルームバーグ米ドル建て新興市場政府債RIC基準インデックスとは、新興市場国政府、政府機関、及び国有企業が発行体であり残存期間が1年超の米ドル建て債券で構成される指数です。同指数に関する著作権、知的所有権その他一切の権利はブルームバーグ社に帰属します。

### 信託金の限度額

|                          |                 |
|--------------------------|-----------------|
| S B I グローバル・ラップファンド（安定型） | 5,000億円を上限とします。 |
| S B I グローバル・ラップファンド（積極型） | 5,000億円を上限とします。 |

・委託会社は受託会社と合意のうえ、当該限度額を変更することができます。

### （２）【ファンドの沿革】

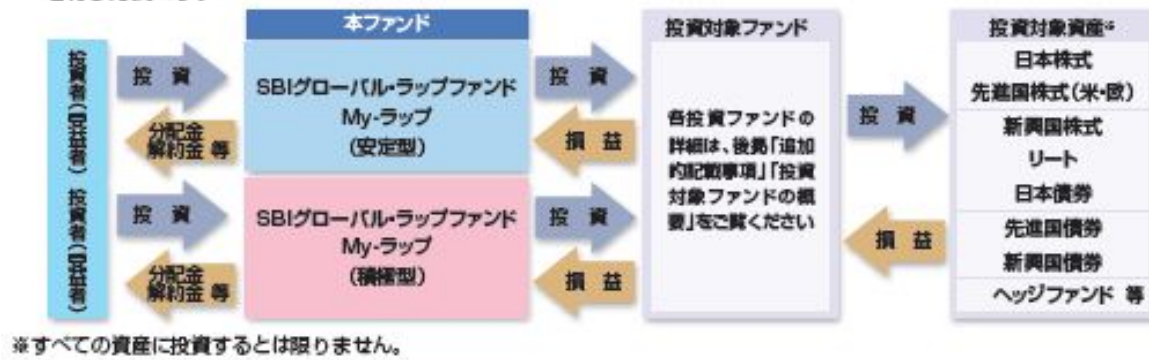
2014年12月11日          S B I グローバル・ラップファンド（安定型）  
                                 S B I グローバル・ラップファンド（積極型）  
各ファンドについて信託契約締結、設定・運用開始

### （３）【ファンドの仕組み】

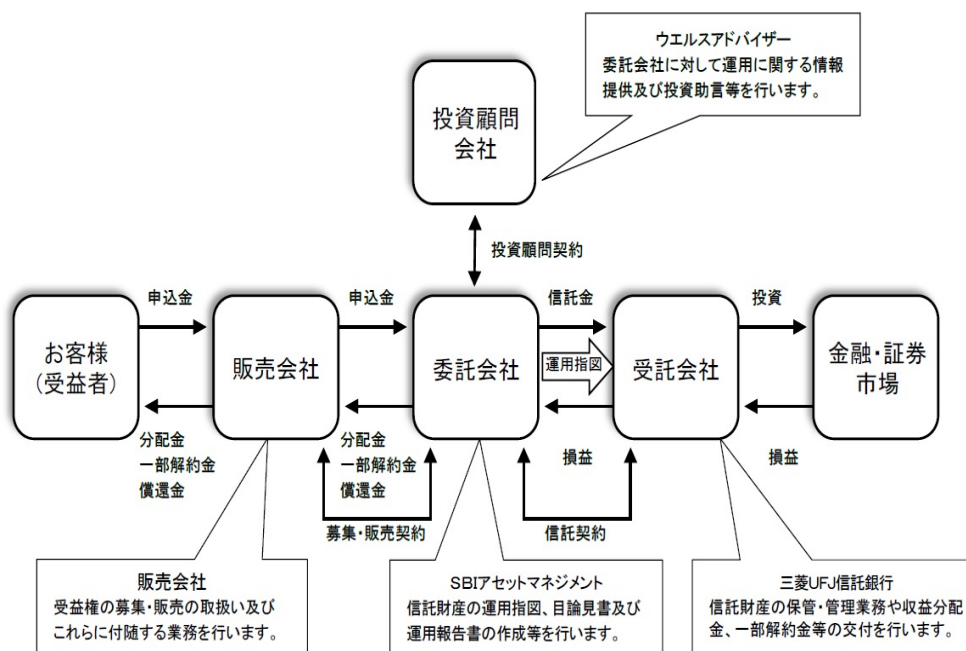
ファンドの仕組み

本ファンドは、ファンド・オブ・ファンズ方式で運用を行います。

- ファンド・オブ・ファンズ方式とは、投資者の皆様からお預かりした資金を複数の投資信託に投資することにより運用を行う方式です。



## 委託会社及び本ファンドの関係法人との契約等の概要



(注)受託会社は、業務の一部を再信託先である日本マスタートラスト信託銀行株式会社に委託しています。

## 委託会社の概況（2023年6月末日現在）

- ( ) 資本金  
4億20万円
- ( ) 沿革

委託会社は、投資運用業務（投資信託の委託者としての業務、登録投資法人との資産の運用契約に基づく運用業務または投資一任契約に基づく運用業務）及び投資助言業務（投資顧問契約に基づく助言業務）を行う金融商品取引業者です。

委託会社は、旧株式会社日本債券信用銀行(現株式会社あおぞら銀行)を設立母体として成立し、その後、株主の異動によりソフトバンクグループの一員となりました。2002年5月1日には、同グループのソフトバンク・インベストメント株式会社の子会社である、ソフトバンク・アセット・マネジメント株式会社と合併し、エスピーアイ・アセット・マネジメント株式会社に商号変更しました。

2005年7月1日には、SBIアセットマネジメント株式会社に商号変更しました。

2006年8月2日には、委託会社の親会社（現SBIホールディングス株式会社）の主要株主であるソフトバンク株式会社（現ソフトバンクグループ株式会社）の子会社が、現SBI

ホールディングス株式会社の全株式を売却したことにより、ソフトバンクグループから独立し、SBIグループの一員となりました。

2019年12月20日には、委託会社の全株式をSBIアセットマネジメント・グループ株式会社（SBIAMG）が、モーニングスター株式会社より取得しました。SBIAMGはモーニングスター株式会社傘下の資産運用会社を統括する中間持株会社です。

2022年8月1日に、SBIアセットマネジメント株式会社、SBI bonds・インベストメント・マネジメント株式会社、SBI地方創生アセットマネジメント株式会社の3社合併をしました。なお、SBIアセットマネジメント株式会社を存続会社とし、合併後は同社名を継承しました。

2022年10月1日には、モーニングスター株式会社がSBIAMGを吸収合併したことにより、モーニングスター株式会社は過半数を超える筆頭株主となりました。なお、同社は2023年3月30日に、SBIグローバルアセットマネジメント株式会社に商号を変更しました。

2023年4月1日に、SBIアセットマネジメント株式会社を存続会社とし、新生インベストメント・マネジメント株式会社と合併しました。なお、商号はSBIアセットマネジメント株式会社を継承しました。

|             |   |
|-------------|---|
| 1986年 8月29日 | 日債銀投資顧問株式会社として設立  |
| 1987年 2月20日 | 有価証券に係る投資顧問業の規制等に関する法律第4条にかかる登録   |
| 1987年 9月 9日 | 有価証券に係る投資顧問業の規制等に関する法律第24条1項の規定に基づく投資一任契約業務の認可  |
| 2000年11月28日 | 証券投資信託及び証券投資法人に関する法律第6条の規定に基づく証券投資信託委託業の認可  |
| 2001年 1月 4日 | あおぞらアセットマネジメント株式会社に商号変更   |
| 2002年 5月 1日 | ソフトバンク・アセット・マネジメント株式会社との合併により、エスピーアイ・アセット・マネジメント株式会社に商号変更   |
| 2005年 7月 1日 | SBIアセットマネジメント株式会社に商号変更  |
| 2007年 9月30日 | 金融商品取引法等の施行により同法第29条の規定に基づく金融商品取引業者の登録（関東財務局長（金商）第311号）   |
| 2022年 8月 1日 | SBIアセットマネジメント株式会社、SBI bonds・インベストメント・マネジメント株式会社、SBI地方創生アセットマネジメント株式会社の3社合併。SBIアセットマネジメント株式会社を存続会社とし、合併後は同社名を継承。 |
| 2023年 4月 1日 | SBIアセットマネジメント株式会社は、新生インベストメント・マネジメント株式会社と合併。SBIアセットマネジメント株式会社を存続会社とし、合併後は同社名を継承。                                |

( )大株主の状況

| 株主名                    | 住所  | 所有株数       | 所有比率  |
|------------------------|---|------------|-------|
| SBIグローバルアセットマネジメント株式会社 | 東京都港区六本木一丁目6番1号   | 1,335,066株 | 94.8% |
| PIMCO ASIA LIMITED     | Suite 2201, 22nd Floor,<br>Two International Finance Centre,<br>8 Finance Street, Central, Hong<br>Kong | 29,507株    | 2.1%  |

## 2【投資方針】

### (1)【投資方針】

(各ファンド共通)

#### 1. 基本方針

この投資信託は、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。

#### 2. 運用方法

##### ( )投資対象

別に定める上場投資信託証券（ETF）及び投資信託証券を主要投資対象とします。なお、それらを個々に又は総称して「投資対象ファンド」という場合があります。

別に定める投資対象ファンドについては、後述(2)投資対象[参考情報]＜投資対象ファンドの概要＞を参照ください。

##### ( )投資態度

本ファンドは、投資対象ファンドへの投資を通じて、世界各国の株式、債券、貸付債権（バンクローン）、ヘッジファンド、コモディティ、不動産投資信託証券（リート）等、さまざまな資産への分散投資を行うことで収益の獲得を目指します。また、スマートベータ指数に連動するETFや、国内及び海外の中小型株式へ投資を行うことにより、追加的な収益の獲得を追求します。ただし、運用期間中に亘り上記のすべての資産に投資するとは限りません。

投資対象ファンドの選定及び投資比率については、投資顧問（助言）会社であるウエルスアドバイザー株式会社からの助言を受け、各資産の期待リターンやリスク、各資産における相関係数等をもとに決定します。

投資対象ファンドは、定性、定量評価等により適宜見直す場合があります。したがって、当初組入れていた投資対象ファンドでも、運用期間中に投資対象から外したり、新たな投資対象ファンドを選定し投資対象とする場合があります。

(1) SBIグローバル・ラップファンド（安定型）は当初、債券型資産に70%、株式型資産に30%を基本配分とします。

(2) SBIグローバル・ラップファンド（積極型）は当初、債券型資産に30%、株式型資産に70%を基本配分とします。

投資比率については、市況見通しの変化等により基本配分比率に対して±10%の範囲で変動させることがあります。

経済環境の変化等が見込まれた場合には、基本配分比率の見直しを行う場合があります。

本ファンドにおける債券型資産とは、債券、ヘッジファンド、バンクローン等を言います。

また、株式型資産とは、株式、リート、コモディティ等を言います。

各ファンドが投資する投資対象ファンド及び各投資比率は次のとおりです。

| 区分 | 投資対象ファンド | 投資比率<br>(My-ラップ安定型) | 投資比率<br>(My-ラップ積極型) |
|----|----------|---------------------|---------------------|
|----|----------|---------------------|---------------------|

|         |                                   | (変更後)  | (変更前)  | (変更後)  | (変更前)  |
|---------|-----------------------------------|--------|--------|--------|--------|
| 株式型資産   | (1) 日本の大型株式指数に連動する投資対象ファンド        | 3.0%   | 3.0%   | 5.0%   | 5.0%   |
|         | (2) 日本の小型株式指数に連動する投資対象ファンド        | 0.0%   | 0.0%   | 0.0%   | 0.0%   |
|         | (3) 日本の中小型株式に投資する投資対象ファンド         | 0.0%   | 0.0%   | 7.5%   | 7.5%   |
|         | (4) 先進国（除く日本）の大型株式指数に連動する投資対象ファンド | 0.0%   | 0.0%   | 0.0%   | 0.0%   |
|         | (5) 先進国（除く米国）の大型株式指数に連動する投資対象ファンド | 8.5%   | 10.0%  | 16.0%  | 18.0%  |
|         | (6) 米国の大型株式指数に連動する投資対象ファンド        | 16.0%  | 17.0%  | 26.0%  | 27.0%  |
|         | (7) 米国の中小型株式指数に連動する投資対象ファンド       | 0.0%   | 0.0%   | 5.0%   | 5.0%   |
|         | (8) 欧州の大型株式指数に連動する投資対象ファンド        | 0.0%   | 0.0%   | 0.0%   | 0.0%   |
|         | (9) 欧州の中小型株式指数に連動する投資対象ファンド       | 0.0%   | 0.0%   | 5.0%   | 5.0%   |
|         | (10) 新興国の株式指数に連動する投資対象ファンド        | 2.5%   | 2.5%   | 2.5%   | 2.5%   |
|         | (11) リート指数に連動する投資対象ファンド           | 0.0%   | 0.0%   | 4.0%   | 4.0%   |
|         | (12) コモディティ（金）                    | 10.0%  | 7.5%   | 9.0%   | 6.0%   |
| 株式型資産合計 |                                   | 40.0%  | 40.0%  | 80.0%  | 80.0%  |
| 債券型資産   | (1) 日本の債券指数に連動する投資対象ファンド          | 14.5%  | 14.5%  | 2.5%   | 3.5%   |
|         | (2) 世界の債券に投資するファンド                | 36.0%  | 36.0%  | 12.0%  | 11.0%  |
|         | (3) 米国の債券指数に連動する投資対象ファンド          | 0.0%   | 0.0%   | 0.0%   | 0.0%   |
|         | (4) 先進国（除く米国）の債券指数に連動する投資対象ファンド   | 7.0%   | 7.0%   | 3.0%   | 3.0%   |
|         | (5) 新興国の債券指数に連動する投資対象ファンド         | 2.5%   | 2.5%   | 2.5%   | 2.5%   |
|         | (6) ヘッジファンド                       | 0.0%   | 0.0%   | 0.0%   | 0.0%   |
|         | (7) ヘッジファンド（ヘッジあり）                | 0.0%   | 0.0%   | 0.0%   | 0.0%   |
| 債券型資産合計 |                                   | 60.0%  | 60.0%  | 20.0%  | 20.0%  |
| 合計      |                                   | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% |

（変更日：2023年3月15日）

本ファンドは、ファンド・オブ・ファンズ方式で運用を行い、実質的な運用は投資信託証券への投資を通じて行います。

投資対象ファンドの合計投資比率は高位に維持することを原則とします。

外貨建資産については、為替ヘッジのため外国為替の売買の予約を行うことがあります。

資金動向、市況動向に急激な変化が生じたとき等並びに投資信託財産の規模によっては、上記の運用ができない場合があります。

投資先ファンドは、各ファンドの運用方針達成のため、投資先ファンドの具体的な投資先および投資手法等を考慮して選定しております。

## （２）【投資対象】

（各ファンド共通）

投資の対象とする資産の種類(信託約款第16条)

この信託において投資の対象とする資産の種類は、次に掲げるものとします。

１．次に掲げる特定資産（投資信託及び投資法人に関する法律第2条第1項で定めるものをいいます。以下同じ。）

イ 有価証券

ロ 金銭債権

ハ 約束手形

２．次に掲げる特定資産以外の資産

為替手形



## 運用の指図範囲(信託約款第17条第1項)

委託会社は、信託金を、主として別に定める上場投資信託証券（ETF）及び投資信託証券のほか、次の有価証券（金融商品取引法第2条第2項の規定により有価証券とみなされる同項各号に掲げる権利を除きます。）に投資することを指図します。

1. コマーシャル・ペーパー及び短期社債等
2. 外国または外国の者の発行する証券または証書で、前各号の証券または証書の性質を有するもの
3. 国債証券、地方債証券、特別の法律により設立された法人の発行する債券及び社債券（新株引受権証券と社債券とが一体となった新株引受権付社債券の新株引受権証券及び短期社債等を除きます。）
4. 外国法人が発行する譲渡性預金証書
5. 指定金銭信託の受益証券（金融商品取引法第2条第1項第14号で定める受益証券発行信託の受益証券に限ります。）

なお、3. の証券を以下「公社債」といい、公社債にかかる運用の指図は買い現先取引（売戻し条件付の買入れ）及び債券貸借取引（現金担保付き債券借入れ）に限り行うことができます。

## 金融商品の指図範囲(信託約款第17条第2項)

委託会社は、信託金を、 に掲げる有価証券のほか、次に掲げる金融商品（金融商品取引法第2条第2項の規定により有価証券とみなされる同項各号に掲げる権利を含みます。次項において同じ。）により運用することを指図することができます。

1. 預金
2. 指定金銭信託（金融商品取引法第2条第1項第14号に規定する受益証券発行信託を除きます。）
3. コール・ローン
4. 手形割引市場において売買される手形

前記 の規定に関わらず、この信託の設定、解約、償還、投資環境の変動等への対応等、委託会社が運用上必要と認めるときには、委託会社は、信託金を前記 1. から 4. までに掲げる金融商品により運用することの指図ができます。

## 〔参考情報〕

## &lt;投資対象ファンドの概要&gt;

投資対象ファンドは以下の通りです。投資対象ファンドは、定性、定量評価等により適宜見直す場合があります。したがって、当初組入れられていた投資対象ファンドでも、運用期間中に投資対象から外したり、新たな投資対象ファンドを選定し投資対象とする場合があります。

なお、下記は2023年9月16日以降に投資する投資対象ファンドの内容です。2023年6月末時点で委託会社が取得可能な情報を基に記載しており、今後変更される場合があります。

## 日本大型株式

|                  |  |
|------------------|--|
| ファンド名称           | iシェアーズ・コア TOPIX ETF  |
| 表示通貨             | 円  |
| 発行地              | 日本   |
| ファンドの目的及び基本的性格   | 日本の株式市場全体の動向を示す「東証株価指数（TOPIX）」への連動を目指して運用を行います。TOPIXに採用されている銘柄および採用が決定された銘柄の株式を投資対象とします。 |
| ファンドの関係法人（管理会社等） | 委託会社：ブラックロック・ジャパン株式会社  |

|                  |   |
|------------------|---|
| 管理報酬等            | 年率0.0495%（税抜：0.045%）  |
| 日本中小型株式          |   |
| ファンド名称           | SBI中小型成長株ファンド ネクストジャパン（適格機関投資家専用）   |
| 表示通貨             | 円   |
| 発行地              | 日本  |
| 当初設定             | 2013年4月3日   |
| 決算日              | 1月22日   |
| ファンドの目的及び基本的性格   | 当ファンドは、ファミリーファンド方式により、信託財産の中長期的な成長を目指して積極的な運用を行います。   |
| ファンドの関係法人（管理会社等） | 委託会社：SBIアセットマネジメント株式会社  |
| 運用の基本方針          | 日本の中小型の成長株に投資をします。投資に際しては、徹底した個別直接面談調査・分析を行い、中長期高成長戦略の有無と妥当性、短期的業績の信頼性、企業経営者の理念や志、財務面の裏付け、成長性・収益性・安全性・革新性・株価水準、等を総合的に評価判断します。 |
| 管理報酬等            | 純資産総額に対して年率1.1660%（税抜：1.06%）  |

## 先進国（除く米国）大型株式

|                  |   |
|------------------|---|
| ファンド名称           | SPDR ポートフォリオ先進国株式（除く米国）ETF  |
| 表示通貨             | 米ドル   |
| 発行地              | 米国  |
| ファンドの目的及び基本的性格   | S&Pディベロップド（除く米国）・ブロード・マーケット・インデックスに連動する投資成果を目指すETF（上場投資信託）です。米国以外の先進国を所在国とする上場企業を投資ユニバースとします。 |
| ファンドの関係法人（管理会社等） | 運用会社：State Street Global Advisors.  |
| 管理報酬等            | 年率0.04%   |

## 米国大型株式

|                  |   |
|------------------|---|
| ファンド名称           | シュワブ・米国大型株グロース・ETF  |
| 表示通貨             | 米ドル   |
| 発行地              | 米国  |
| ファンドの目的及び基本的性格   | 米国の大型成長株のパフォーマンスを測定する「ダウジョーンズ・米国大型成長株・インデックス」に連動する投資成果を目指して運用を行います。 |
| ファンドの関係法人（管理会社等） | 運用会社：Charles Schwab Investment Management, Inc.                     |
| 管理報酬等            | 年率0.04%   |

## 米国中小型株式

|        |                        |
|--------|------------------------|
| ファンド名称 | バンガード・スモールキャップ・グロースETF |
| 表示通貨   | 米ドル                    |

|                  |   |
|------------------|---|
| 発行地              | 米国  |
| ファンドの目的及び基本的性格   | 米国の小型成長株のパフォーマンスを測定する「CRSP USスモールキャップ・グロース・インデックス」に連動する投資成果を目指して運用を行います |
| ファンドの関係法人（管理会社等） | 運用会社：The Vanguard Group, Inc.   |
| 管理報酬等            | 年率0.07%   |

## 欧州中小型株式

|                  |   |
|------------------|---|
| ファンド名称           | フランクリン・FTSE ユーロゾーン ETF  |
| 表示通貨             | 米ドル   |
| 発行地              | 米国  |
| ファンドの目的及び基本的性格   | 欧州先進国10カ国の大型株・中型株のパフォーマンスを測定するFTSE ユーロゾーン先進国・インデックスに連動する投資成果を目指して運用を行います。 |
| ファンドの関係法人（管理会社等） | 運用会社：Franklin Templeton   |
| 管理報酬等            | 年率0.09%   |

## 新興国株式

|                  |  |
|------------------|--|
| ファンド名称           | SPDR ポートフォリオ・新興国株式 ETF                                   |
| 表示通貨             | 米ドル  |
| 発行地              | 米国   |
| ファンドの目的及び基本的性格   | 新興国株式市場全体の動きを表すS&P エマージングBMI指数に連動する投資成果を目指して運用を行います。     |
| ファンドの関係法人（管理会社等） | 運用会社：State Street Global Advisors Funds Management, Inc. |
| 管理報酬等            | 年率0.11%  |

## コモディティ（金）

|                |                                       |
|----------------|---------------------------------------|
| ファンド名称         | abrdn フィジカル・ゴールド・シェアーズETF             |
| 表示通貨           | 米ドル                                   |
| 発行地            | 米国                                    |
| ファンドの目的及び基本的性格 | 市場での現物の金地金の取引価格に連動する投資成果を目指して運用を行います。 |
| ファンドの関係法人      | 運用会社：Aberdeen Standard Investments    |
| 管理報酬等          | 年率0.17%                               |

## リート

|                |   |
|----------------|---|
| ファンド名称         | 不動産セレクト・セクター SPDR ファンド  |
| 表示通貨           | 米ドル   |
| 発行地            | 米国  |
| ファンドの目的及び基本的性格 | S&P500指数における不動産セクターのパフォーマンスを計測する指標である不動産セレクト・セクター指数の値動きに、経費控除前ベースで概ね連動する投資成果を追求します。 |

|               |  |
|---------------|--|
| ファンドの関係<br>法人 | 運用会社：State Street Global Advisors Funds Management, Inc. |
| 管理報酬等         | 年率0.1%   |

## 日本債券

|                    |   |
|--------------------|---|
| ファンド名称             | NEXT FUNDS 国内債券・NOMURA-BPI総合連動型上場投信             |
| 表示通貨               | 円   |
| 発行地                | 日本  |
| ファンドの目的<br>及び基本的性格 | ベンチマークである「NOMURA - BPI総合」に連動する投資成果を目指して運用を行います。 |
| ファンドの関係<br>法人      | 委託会社：野村アセットマネジメント株式会社                           |
| 管理報酬等              | 年率0.077% (税抜：0.07%)                             |

## グローバル債券

|                          |  |
|--------------------------|--|
| ファンド名称                   | ピムコ・バミューダ・インカムファンドA クラスX (JPY)   |
| 表示通貨                     | 円  |
| 発行地                      | バミューダ  |
| 当初設定                     | 2016年3月15日   |
| 決算日                      | 10月31日   |
| ファンドの目的<br>及び基本的性格       | 「ピムコ・バミューダ・インカムファンド(M)」受益証券を主要投資対象として、投資適格未満の銘柄も含めた世界の幅広い銘柄の中から、米ドル建ての債券等を中心に投資を行うことで、長期的な信託財産の成長を目指すとともに、利子収入の最大化を目指す運用を行います。 |
| ファンドの関係<br>法人(管理会社<br>等) | 管理会社：Pacific Investment Management Company, LLC<br>投資顧問会社：ピムコジャパンリミテッド   |
| 投資の基本方針                  | 投資適格未満の銘柄も含めた世界の幅広い債券等のうち、主として米ドル建ての債券及び債券関連派生商品等に投資します。原則として米ドル売り円買いの為替取引を行います。   |
| 管理報酬等                    | 管理会社は、管理報酬として、当該外国籍投信の純資産総額の日々平均残高に対して年率0.60%にて計算される金額を受領します。  |

## 先進国(除く米国)債券

|                          |  |
|--------------------------|--|
| ファンド名称                   | バンガード・トータル・インターナショナル債券ETF(米ドルヘッジあり)  |
| 表示通貨                     | 米ドル  |
| 発行地                      | 米国   |
| ファンドの目的<br>及び基本的性格       | 当ファンドは、ブルームバーグ・グローバル総合(米ドル除く)浮動調整RIC基準インデックス(米ドルヘッジベース)のパフォーマンスへの連動を目指します。 |
| ファンドの関係<br>法人(管理会社<br>等) | 運用会社：The Vanguard Group, Inc.  |
| 管理報酬等                    | 年率0.07%  |

## 新興国債券

|        |                       |
|--------|-----------------------|
| ファンド名称 | バンガード・米ドル建て新興国政府債券ETF |
| 表示通貨   | 米ドル                   |

|                  |  |
|------------------|--|
| 発行地              | 米国   |
| ファンドの目的及び基本的性格   | ブルームバーグ米ドル建て新興市場政府債RIC基準インデックスに連動する投資成果を目指して運用を行います。 |
| ファンドの関係法人（管理会社等） | 運用会社：The Vanguard Group, Inc.                        |
| 管理報酬等            | 年率0.2%   |

### （３）【運用体制】

運用業務方法に関する社内規則に則り、以下のプロセスで運用が行われます。

#### 市場環境分析・企業分析

ファンドマネジャー、アナリスト（５～７名程度）による市場環境、業種、個別企業などの調査・分析及び基本投資戦略の協議・策定を行います。

#### 投資基本方針の策定

最高運用責任者のもとで開催される「運用会議」において、市場動向・投資行動・市場見通し・投資方針等を策定します。

最高運用責任者は、組織規程の運用部門の長とします。

#### 運用基本方針の決定

「運用会議」の策定内容を踏まえ、常勤取締役（１～３名）、最高運用責任者（１名）、運用部長及び運用部マネジャーをもって構成される「投資戦略委員会」において、運用の基本方針が決定されます。

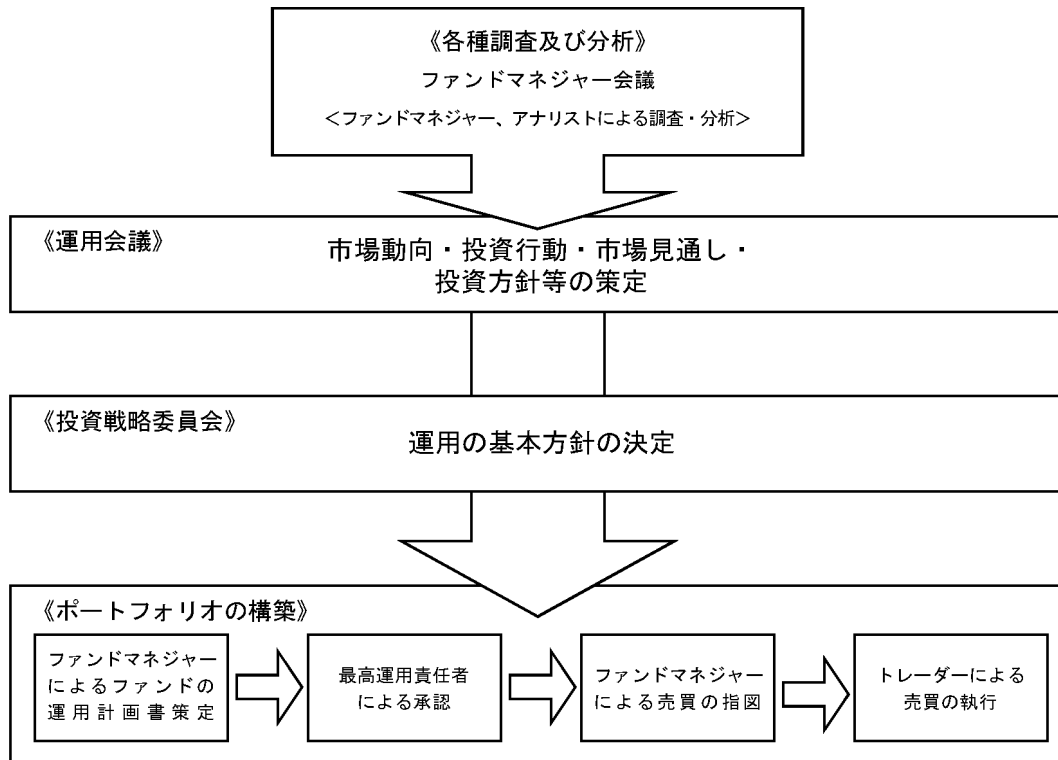
#### 投資銘柄の策定、ポートフォリオの構築

ファンドマネジャーは、この運用の基本方針に沿って、各ファンドの運用計画書を策定し、最高運用責任者の承認後、売買の指図を行います。

ただし、未公開株及び組合への投資を行う場合は、それぞれ「未公開株投資委員会」（６名程度）、「組合投資委員会」（６名程度）での承認後、売買の指図等を行います。

#### パフォーマンス分析、リスク分析・評価

ファンドのリスク特性分析、パフォーマンスの要因分析の報告及び監視を行い、運用方針の確認・見直しを行います。



コンプライアンス部長がファンドに係る意思決定を監督します。

#### < 受託会社に対する管理体制 >

受託会社（再信託先を含む）に対しては、日々の純資産照合、月次の勘定残高照合などを行い業務遂行状況を確認しています。また、受託会社より内部統制の整備及び運用状況の報告書を受け取っています。

上記体制は、今後、変更となる場合があります。

#### （４）【配分方針】

年１回決算（毎年12月15日。ただし、当該日が休業日の場合は翌営業日。）を行い、毎計算期末に原則として以下の方針に基づき分配を行います。

分配対象額は、繰越分を含めた経費控除後の利子・配当等収益と売買益（評価益を含みません。）等の全額とします。

収益分配金額は、委託会社が基準価額水準、市場動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合は、分配を行わない場合があります。また、将来の分配金の支払い及びその金額について示唆、保証するものではありません。

収益分配に充当せず信託財産内に留保した利益については、特に制限を設けず、運用の基本方針に基づき、元本部分と同一の運用を行います。

信託財産から生ずる毎計算期末における利益は、次の方法により処理します。

- （ ） 分配金、配当金、利子及びこれらに類する収益から支払利息を控除した額（以下「配当等収益」といいます。）は、諸経費、信託報酬及び当該信託報酬にかかる消費税等に相当する金額を控除した後、その残金を受益者に分配することができます。なお、次期以降の分配金にあてるため、その一部を分配準備積立金として積立てることができます。
- （ ） 売買損益に評価損益を加減した利益金額（以下「売買益」といいます。）は、諸経費、信託報酬及び当該信託報酬にかかる消費税等に相当する金額を控除し、繰越欠損金のあるときは、その全額を売買益をもって補てんした後、受益者に分配することができます。なお、次期以降の分配にあてるため、分配準備積立金として積立てることができます。

( ) 毎計算期末において、信託財産につき生じた損失は、次期に繰越します。

(注) 分配金は、決算日において振替機関等の振替口座簿に記載または記録されている受益者に、原則として決算日から起算して5営業日目までに支払いを開始します。

## (5) 【投資制限】

(各ファンド共通)

本ファンドは、以下の投資制限にしたがいます。

信託約款の「運用の基本方針」に定める投資制限

- ( ) 投資信託証券への投資割合には制限を設けません。
- ( ) 外貨建資産への投資割合には制限を設けません。
- ( ) 同一銘柄の投資信託証券への投資割合には制限を設けません。
- ( ) 株式への直接投資は行いません。
- ( ) デリバティブの直接利用は行いません。
- ( ) 投資信託証券が一般社団法人投資信託協会の規則に定めるエクスポージャーがリスクルールできる場合に該当しないときは、当該投資信託証券への投資は、信託財産の純資産総額の10%以内とします。
- ( ) 一般社団法人投資信託協会の規則に定める一の者に対する株式等エクスポージャー、債券等エクスポージャー及びデリバティブ取引等エクスポージャーの信託財産の純資産総額に対する比率は、原則としてそれぞれ10%、合計で20%以内とすることとし、当該比率を超えることとなった場合には、一般社団法人投資信託協会の規則に従い当該比率以内となるよう調整を行なうこととします。

信託約款上のその他の投資制限

- ( ) 特別の場合の外貨建有価証券への投資制限(信託約款第20条)  
外貨建有価証券への投資については、わが国の国際収支上の理由等により特に必要と認められる場合には、制約されることがあります。
- ( ) 外国為替予約取引の指図及び範囲(信託約款第21条)  
委託会社は、信託財産に属する外貨建資産について、当該外貨建資産の為替ヘッジのため、外国為替の売買の予約取引の指図をすることができます。

その他の法令上の投資制限

本ファンドに適用されるその他の法令上の投資制限は以下の通りです。

委託会社は、委託会社が運用の指図を行うすべての投資信託について、信託財産として有する同一法人の発行する株式にかかる議決権の総数が、当該株式にかかる議決権の総数に100分の50の率を乗じて得た数を超えることとなる場合には、かかる株式を取得することを受託会社に指図することはできません。(投信法第9条)

その他

- ( ) 資金の借入れ(信託約款第27条)
  - (イ) 委託会社は、信託財産の効率的な運用ならびに運用の安定性に資するため、信託財産において一部解約に伴う支払資金の手当て(一部解約に伴う支払資金の手当てのために借入れた資金の返済を含みます。)を目的として、資金の借入れ(コール市場を通じる場合を含みます。)の指図をすることができます。なお、当該借入金をもって有価証券等の運用は行わないものとします。
  - (ロ) 一部解約に伴う支払資金の手当てにかかる借入期間は、受益者への解約代金支払開始日から信託財産で保有する有価証券等の売却代金の受渡日までの間または受益者への解約代金支払開始日から信託財産で保有する有価証券等の解約代金入金日までの間もしくは受益者への解約代金支払開始日から信託財産で保有する有価証券等の償還金の入金日までの期間が5営業日以内である場合の当該期間とし、資金の借入額は当該有価証券等の売却代金、有価証券等の解約代金及び有価証券等の償還金の合計額を限度

とします。ただし、資金の借入額は、借入指図を行う日における信託財産の純資産総額の10%を超えないこととします。

(八) 収益分配金の再投資に係る借入期間は信託財産から収益分配金が支弁される日からその翌営業日までとし、資金借入額は収益分配金の再投資額を限度とします。

(二) 借入金の利息は、受益者の負担とし、信託財産中から支弁します。

### 3【投資リスク】

本ファンドは、主として投資信託証券（投資対象ファンド）への投資を通じて、世界各国の株式、債券、貸付債権（バンクローン）、ヘッジファンド、コモディティ、不動産投資信託証券（リート）等、値動きのある金融商品等に投資しますので、基準価額は変動します。また、外貨建資産には為替変動リスクもあります。したがって、投資者の皆様は投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割込むことがあります。

本ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様はに帰属します。また、投資信託は預貯金とは異なります。本ファンドの基準価額の変動要因としては以下のものがあります。ただし、基準価額の変動要因は以下に限定されるものではありません。

#### ・ 資産配分リスク

資産配分リスクとは、複数資産への投資（資産配分）を行った場合に、投資成果の悪い資産への配分が大きかったため、投資全体の成果も悪くなってしまいうリスクをいいます。本ファンドは、投資対象ファンドへの投資を通じてわが国及び海外株式・債券・オルタナティブ資産（ヘッジファンド・コモディティ、リート（不動産投資信託））等、さまざまな資産クラスの金融商品に投資を行いますが、投資比率が高い資産の価値が下落した場合や、複数の資産の価値が同時に下落した場合、本ファンドの基準価額はより大きく影響を受け損失を被ることがあります。

#### ・ 株価変動リスク

一般に株価は経済・政治情勢や発行企業の業績等の影響を受け変動しますので、投資対象ファンドが組入れる株式の価格が変動し、本ファンドの基準価額は影響を受け、損失を被ることがあります。

#### ・ 為替変動リスク

為替レートは、各国・地域の金利動向、政治・経済情勢、為替市場の需給その他の要因により大幅に変動することがあります。組入外貨建資産について、当該外貨の為替レートが円高方向にすすんだ場合には、本ファンドの基準価額は影響を受け、損失を被ることがあります。

#### ・ 債券価格変動リスク

債券（公社債等）は、国内外の経済・政治情勢、市場環境・需給等を反映して価格が変動します。また、債券価格は金利変動による影響を受け、一般に金利が上昇した場合には債券価格は下落します。これらの影響により債券の価格が変動した場合、本ファンドの基準価額は影響を受け、損失を被ることがあります。

#### ・ リート（不動産投資信託）の価格変動リスク

一般にリート（不動産投資信託）が投資対象とする不動産の価値及び当該不動産から得る収入は、当該国または国際的な景気、経済、社会情勢等の変化等により変動します。リート（不動産投資信託）の価格及び分配金はその影響を受け下落した場合、本ファンドの基準価額は影響を受け、損失を被ることがあります。

#### ・ ヘッジファンドに投資するリスク

一般にヘッジファンドは、運用会社が独自の運用手法によって株式、債券等の有価証券及び各種派生商品（デリバティブ）等へ投資を行います。デリバティブ取引は、取引の相手方（カウンターパーティ）の倒産などにより、当初の契約通りの取引を実行できずに損失を被る可能性や、種類によっては原資産の価格変動以上に価格が変動する可能性、取引を決済する場合に理論価格よりも大幅に不利な条件でしか反対売買ができなくなる可能性や反対売買そのものができなくなる可能性等があり、その結果、ファンドの基準価額が下落するおそれがあります。また、運用者



の運用能力に大きく依存する場合があります。市場の動向にかかわらず損失が発生する可能性があります。

- ・ コモディティ投資リスク

一般にコモディティ価格は商品の需給や金利変動、天候、景気、農業生産、政治・経済情勢及び政策等の影響を受け変動します。これらにより、本ファンドの基準価額は影響を受け損失を被ることがあります。

- ・ カントリーリスク

投資対象ファンドが組入れる金融商品等の発行国の政治・経済・社会情勢の変化で金融・証券市場が混乱し、金融商品等の価格が大きく変動する可能性があります。一般に新興国市場は、市場規模、法制度、インフラなどが限定的なこと、価格変動性が大きいこと、決済の効率性が低いことなどから、当該リスクが高くなります。

- ・ 信用リスク

投資対象ファンドが組入れる金融商品等の発行体が経営不安や倒産等に陥った場合に資金回収ができなくなるリスクや、それが予想される場合にその金融商品等の価格下落で損失を被るリスクがあります。また、金融商品等の取引相手方にデフォルト（債務不履行）が生じた場合等、本ファンドの基準価額は影響を受け、損失を被ることがあります。

- ・ 流動性リスク

投資対象ファンドが組入れる金融商品等の市場規模が小さく取引量が限られる場合などには、機動的に売買できない可能性があります。また、保有する金融商品等が期待された価格で処分できず、本ファンドの基準価額は影響を受け、損失を被ることがあります。

#### その他の留意点

本ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリング・オフ）の適用はありません。

本ファンドは、大量の解約が発生し短期間で解約資金を手当てする必要が生じた場合や主たる取引市場において市場環境が急変した場合等に、一時的に組入資産の流動性が低下し、市場実勢から期待される価格で取引できないリスク、取引量が限られてしまうリスクがあります。これにより、基準価額にマイナスの影響を及ぼす可能性や、換金の申込みの受付が中止となる可能性、換金代金のお支払いが遅延する可能性があります。

投資信託は預金や保険契約と異なり、預金保険機構、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。

銀行など登録金融機関でご購入いただく投資信託は投資者保護基金の支払対象ではありません。

収益分配金の水準は、必ずしも計算期間における本ファンドの収益の水準を示すものではありません。収益分配は、計算期間に生じた収益を超えて行われる場合があります。

投資者の購入価額によっては、収益分配金の一部または全部が、実質的な元本の一部払戻しに相当する場合があります。

収益分配金の支払いは、信託財産から行われます。したがって純資産総額の減少、基準価額の下落要因となります。

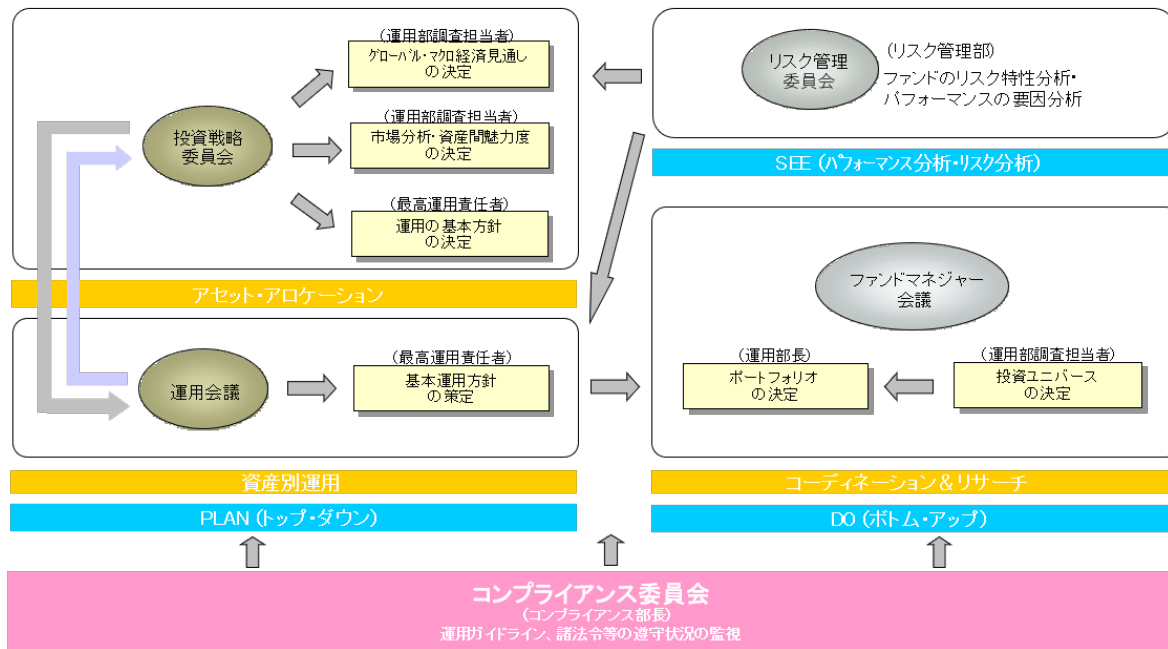
#### 《リスク管理体制》

##### 運用に関するリスク管理体制

委託会社では、ファンドのパフォーマンスの分析及び運用リスクの管理をリスク管理関連の各委員会を設けて行っております。

流動性リスクの管理においては、委託会社が規程を定め、ファンドの組入資産の流動性リスクのモニタリングなどを実施するとともに、緊急時対応策の策定・検証などを行います。取締役会等は、流動性リスク管理の適切な実施の確保や流動性リスク管理態勢について、監督します。

## 最高運用責任者による統括



運用者の意思決定方向を調整・相互確認するために、下記の会議を運営します。

| 会議の名称       | 頻度    | 内 容  |
|-------------|-------|--|
| 投資戦略委員会     | 原則月1回 | 常勤取締役、最高運用責任者、運用部長及び運用部マネジャーをもって構成する。<br>運用の基本方針 市場見通し、等について協議する。                                      |
| 運用会議        | 原則月1回 | 最高運用責任者、運用部及び商品企画部に在籍する者をもって構成する。<br>市場動向 今月の投資行動 市場見通し 今後の投資方針、等についての情報交換、議論を行う。                      |
| リスク管理委員会    | 原則月1回 | 常勤取締役、最高運用責任者、リスク管理部長、商品企画部長、マーケティング部長、運用部長及び運用部マネジャーをもって構成する。<br>ファンドのリスク特性分析、パフォーマンスの要因分析の報告及び監視を行う。 |
| ファンドマネジャー会議 | 随時    | 運用担当者及び調査担当者をもって構成する。<br>個別銘柄の調査報告及び情報交換、ファンドの投資戦略について議論を行う。   |
| 未公開株投資委員会   | 随時    | 最高運用責任者、運用部長、未公開株運用担当者、未公開株調査担当者及びコンプライアンス部長をもって構成する。<br>未公開株式の購入及び売却の決定を行う。                           |
| 組合投資委員会     | 随時    | 最高運用責任者、運用部長、組合運用担当者、組合の投資する資産の調査担当者及びコンプライアンス部長をもって構成する。<br>組合への新規投資及び契約変更の決定を行う。                     |

|             |       |   |
|-------------|-------|---|
| 商品検討委員会     | 随時    | 常勤取締役、運用部長、リスク管理部長、投信計理部長、コンプライアンス部長、商品企画部長、マーケティング部長及び業務管理部長をもって構成する。<br>新商品等についての取扱い等の可否、商品性の変更に関連する基本事項等の審議・決定を行う。 |
| コンプライアンス委員会 | 原則月1回 | 常勤取締役及びコンプライアンス部長をもって構成する。<br>法令等、顧客ガイドライン、社内ルールの遵守状況の報告及び監視を行う。  |

上記体制は、今後、変更となる場合があります。

### コンプライアンス

コンプライアンス委員会において、業務全般にかかる法令諸規則、社内ルール等を遵守していくための諸施策の検討や諸施策の実施状況の報告等が行われています。また、コンプライアンス部長は、遵守状況の管理・監督を行うとともに、必要に応じて当社の役職員に諸施策の実行を指示します。

### 機関化回避に関する運営

グループ内取引による機関化を回避するために、グループ企業との各種取引について監査をする外部専門家（弁護士）を選任した上で、自ら率先垂範して運営しています。

## 参考情報

## ファンドの年間騰落率及び分配金再投資基準価額の推移

## My-ラップ（安定型）

(2018年7月～2023年6月)



## ファンドと他の代表的な資産クラスとの騰落率の比較

(2018年7月～2023年6月)

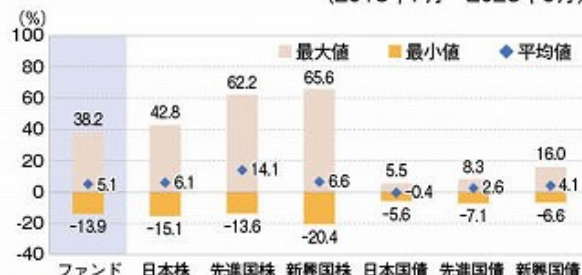


## My-ラップ（積極型）

(2018年7月～2023年6月)



(2018年7月～2023年6月)



- \* 上記の分配金再投資基準価額及び年間騰落率は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したものであり、実際の基準価額及び実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。
- \* 「ファンドと他の代表的な資産クラスとの騰落率の比較」は、過去5年間の年間騰落率（各月末における直近1年間の騰落率）の平均・最大・最小を、ファンド及び他の代表的な資産クラスについて表示し、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。なお、全ての資産クラスがファンドの投資対象とは限りません。
- \* ファンドの年間騰落率算出において、過去5年間分のデータがない場合は以下のルールに基づき表示しています。
- ①年間騰落率に該当するデータがない場合には表示されません。
  - ②年間騰落率が算出できない期間がある場合には、算出可能な期間についてのみ表示しています。
  - ③インデックスファンドにおいて、①②に該当する場合には、当該期間についてベンチマークの年間騰落率で代替して表示しています。

## 〈代表的な各資産クラスの指数〉

日本株…Morningstar 日本株式指数

先進国株…Morningstar 先進国株式指数(除く日本)

新興国株…Morningstar 新興国株式指数

日本国債…Morningstar 日本国債指数

先進国債…Morningstar グローバル国債指数(除く日本)

新興国債…Morningstar 新興国ソブリン債指数

※海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。各指数は、全て税引前利子配当込み指数です。

## 〈各指数の概要〉

日本株:Morningstar 日本株式指数は、Morningstar, Inc.が発表している株価指数で、日本に上場する株式で構成されています。

先進国株:Morningstar 先進国株式指数(除く日本)は、Morningstar, Inc.が発表している株価指数で、日本を除く世界の先進国に上場する株式で構成されています。

新興国株:Morningstar 新興国株式指数は、Morningstar, Inc.が発表している株価指数で、世界の新興国に上場する株式で構成されています。

日本国債:Morningstar 日本国債指数は、Morningstar, Inc.が発表している債券指数で、日本の国債で構成されています。

先進国債:Morningstar グローバル国債指数(除く日本)は、Morningstar, Inc.が発表している債券指数で、日本を除く主要先進国の政府や政府系機関により発行された債券で構成されています。

新興国債:Morningstar 新興国ソブリン債指数は、Morningstar, Inc.が発表している債券指数で、エマージング諸国の政府や政府系機関により発行された米ドル建て債券で構成されています。

## 〈重要事項〉

本ファンドは、Morningstar, Inc.、又はイボットソン・アソシエイツ・ジャパン株式会社を含むMorningstar, Inc.が支配する会社(これらの法人全てを総称して「Morningstarグループ」と言います)が組成、推薦、販売または宣伝するものではありません。Morningstarグループは、投資信託への一般的な投資の当否、特に本ファンドに投資することの当否、または本ファンドが投資対象とする市場の一般的な騰落率と連動するMorningstarのインデックス(以下「Morningstarインデックス」と言います)の能力について、本ファンドの受益者又は公衆に対し、明示又は黙示を問わず、いかなる表明保証も行いません。本ファンドとの関連においては、委託会社とMorningstarグループとの唯一の関係は、Morningstarのサービスマーク及びサービス名並びに特定のMorningstarインデックスの使用の許諾であり、Morningstarインデックスは、Morningstarグループが委託会社又は本ファンドとは無関係に判断、構成、算定しています。Morningstarグループは、Morningstarインデックスの判断、構成又は算定を行うにあたり、委託会社又は本ファンドの受益者のニーズを考慮する義務を負いません。Morningstarグループは、本ファンドの基準価額及び設定金額あるいは本ファンドの設定あるいは販売の時期の決定、または本ファンドの解約時の基準価額算出式の決定あるいは計算について責任を負わず、また関与しておりません。Morningstarグループは、本ファンドの運営管理、マーケティング又は売買取引に関連していかなる義務も責任も負いません。Morningstarグループは、Morningstarインデックス又はそれに含まれるデータの正確性及び/又は完全性を保証せず、また、Morningstarグループは、その誤謬、脱漏、中断についていかなる責任も負いません。Morningstarグループは、委託会社、本ファンドの受益者又はユーザー、またはその他の人又は法人が、Morningstarインデックス又はそれに含まれるデータを使用して得る結果について、明示又は黙示を問わず、いかなる保証も行いません。Morningstarグループは、Morningstarインデックス又はそれに含まれるデータについて明示又は黙示の保証を行わず、また商品性あるいは特定目的又は使用への適合性に関する一切の保証を明確に否認します。上記のいずれも制限することなく、いかなる場合であれ、Morningstarグループは、特別損害、懲罰的損害、間接損害または結果損害(逸失利益を含む)について、例えばこれらの損害の可能性を告知されていたとしても責任を負いません。

## 4 【手数料等及び税金】

## (1) 【申込手数料】

通常のお申込み

取得申込受付日の翌営業日の基準価額に、3.3%（税抜3.0%）を上限として販売会社が独自に定める手数料率を乗じて得た額とします。

お申込手数料は販売会社により異なる場合がありますので、販売会社にご確認ください。なお、下記に記載の照会先においてもご確認ください。

\* 申込手数料には、消費税等が課されます。

（注）申込手数料とは、購入時の商品説明、情報提供及び事務手続き等にかかる対価のことをいいます。

委託会社における照会先：

SBIアセットマネジメント株式会社（委託会社）

電話番号 03 - 6229 - 0097（受付時間：毎営業日の午前9時～午後5時）

ホームページ <http://www.sbi-am.co.jp/>

確定拠出年金制度に基づくお申込み

申込手数料はかかりません。

## （2）【換金（解約）手数料】

換金（解約）手数料はかかりません。

ただし、換金時に、基準価額から信託財産留保額（当該基準価額に対し0.1%）が差引かれます。

（注）信託財産留保額とは、換金に伴う有価証券売買委託手数料等の費用のことをいいます。

## （3）【信託報酬等】

信託報酬の総額は、信託財産の計算期間を通じて毎日、信託財産の純資産総額に年1.375%（税抜：年1.25%）の率を乗じて得た額とします。運用管理報酬（信託報酬）の配分は下記の通りとします。

信託報酬 = 運用期間中の基準価額 × 信託報酬率

|                            |      | My-ラップ<br>(安定型)  | My-ラップ<br>(積極型)  | 役務の内容  |
|----------------------------|------|------------------|------------------|--|
| 支払先                        | 委託会社 | 税抜：年0.525%       |                  | ファンドの運用、基準価額の算出、ディスクロージャー等の対価                  |
|                            | 販売会社 | 税抜：年0.7%         |                  | 購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理及び事務手続き等の対価 |
|                            | 受託会社 | 税抜：年0.025%       |                  | 運用財産の管理、委託会社からの指図の実行等の対価                       |
| 投資対象ファンドの信託報酬 <sup>1</sup> |      | 年0.26%程度         | 年0.20%程度         | 投資対象とする投資信託証券の管理報酬等                            |
| 実質的な負担（概算値） <sup>2</sup>   |      | 年1.64%<br>(税込)程度 | 年1.58%<br>(税込)程度 |  |

上記各支払先への料率には、別途消費税等相当額がかかります。

投資顧問（助言）会社への報酬は委託会社報酬の中から支払われます。

投資者の皆様にご負担いただく手数料等の合計額については、ファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。上記の費用等については、本書作成日現在の情報であり、今後変更される場合があります。

1 基本投資比率で試算した信託報酬率であり、実際の組入れ状況により変動します。また、投資対象ファンドの変更等により、数値は変動する場合があります。

2 投資対象ファンドの信託報酬を加味した、投資者の皆様が実質的に負担する信託報酬率になります。

信託報酬は、毎計算期間の最初の6ヵ月終了日（休業日の場合は翌営業日。以下同じ。）及び毎計算期末または信託終了のとき信託財産中から支弁します。委託会社及び販売会社の報酬は本ファンドから委託会社に対して支弁され、販売会社の報酬は委託会社より販売会社に対して支払われます。受託会社の報酬は本ファンドから受託会社に対して支弁されます。

#### （４）【その他の手数料等】

信託財産にかかる監査費用及び当該監査費用にかかる消費税相当額は計算期間を通じて毎日計上し、毎計算期間の最初の6ヵ月終了日及び毎計算期末または信託終了のとき信託財産中から支弁します。

有価証券売買時の売買委託手数料、保管費用、信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する費用（法律・税務顧問への報酬、印刷費用、郵送費用、格付費用、受益権の管理事務に関連する費用等を含みます。）等及び受託者の立替えた立替金の利息は等が信託財産から差引かれます。なお、その他の費用は、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を示すことができません。

また、当該手数料等の合計額については、投資者の皆様がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

#### （５）【課税上の取扱い】

ファンドは、課税上、株式投資信託として取り扱われます。

収益分配時・換金（解約）・償還時に受益者が負担する税金は2023年6月末日現在、以下の通りです。なお、以下の内容は税法が改正された場合等には、変更となることがあります。

個人の受益者に対する課税

##### イ．収益分配金に対する課税

収益分配金のうち課税扱いとなる普通分配金は、配当所得として課税され、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%及び地方税5%）の税率による源泉徴収が行われ、申告不要制度が適用されます。なお、確定申告による総合課税（配当控除は適用されません。）もしくは申告分離課税のいずれかを選択することも可能です。

##### ロ．解約金及び償還金に対する課税

換金（解約）及び償還時の差益（個別元本超過額）は譲渡所得とみなされ、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%及び地方税5%）の税率により、申告分離課税が適用されます。

なお、源泉徴収口座（特定口座）を選択することも可能です。

##### ・少額投資非課税制度「愛称：NISA（ニーサ）」をご利用の場合

少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」は、少額上場株式等に関する非課税制度です。

NISAをご利用の場合、毎年、一定額の範囲で新たに購入した公募株式投資信託などから生じる配当所得及び譲渡所得が一定期間非課税となりますが、2024年1月1日以降は、一定の額を上限として、毎年、一定額の範囲で新たに購入した公募株式投資信託などから生じる配当所得及び譲渡所得が無期限で非課税となります。

ご利用になれるのは、販売会社で非課税口座を開設するなど、一定の条件に該当する方が対象となります。

また、2024年1月1日以降は、税法上の要件を満たした商品を購入した場合に限り、非課税の適用を受けることができます。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。

### 法人の投資者に対する課税

収益分配金のうち課税扱いとなる普通分配金ならびに換金（解約）及び償還時の差益（個別元本超過額）については配当所得として課税され、15.315%（所得税15%及び復興特別所得税0.315%）の税率で源泉徴収が行われます。地方税の源泉徴収はありません。収益分配金のうち所得税法上課税対象となるのは普通分配金のみであり、元本払戻金（特別分配金）には課税されません。

また、益金不算入制度の適用はありません。

### 確定拠出年金加入者に対する課税

確定拠出年金法に規定する資産管理機関の場合、収益分配金ならびに解約・償還益（個別元本超過額）については、所得税及び地方税は非課税となっております。

なお、確定拠出年金制度の加入者については、確定拠出年金の積立金の運用にかかる税制が適用されます。

### <注1> 個別元本について

受益者ごとの信託時の受益権の価額等（申込手数料及び当該申込手数料にかかる消費税等に相当する金額は含まれません。）が当該受益者の元本（個別元本）にあたります。

受益者が同一ファンドの受益権を複数回取得した場合、個別元本は、当該受益者が追加信託を行うつど当該受益者の受益権口数で加重平均することにより算出されます。

ただし、個別元本は、複数支店で同一ファンドをお申込の場合等により把握方法が異なる場合がありますので、販売会社にお問い合わせください。

受益者が元本払戻金（特別分配金）を受取った場合、収益分配金発生時にその個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の当該受益者の個別元本となります。

### <注2> 収益分配金の課税について

追加型証券投資信託の収益分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」（受益者ごとの元本の一部払戻しに相当する部分）の区分があります。

受益者が収益分配金を受取る際、イ．当該収益分配金落ち後の基準価額が当該受益者の個別元本と同額の場合または当該受益者の個別元本を上回っている場合には、当該収益分配金の全額が普通分配金となり、ロ．当該収益分配金落ち後の基準価額が当該受益者の個別元本を下回っている場合には、その下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）となり、当該収益分配金から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が普通分配金となります。

外国税額控除の適用となった場合には、分配時の税金が上記と異なる場合があります。

詳しくは、販売会社または税務署等にお問い合わせください。

税法が改正された場合等には、上記の内容が変更となる場合があります。

課税上の取扱いの詳細については、税務専門家に確認されることをお勧めします。

## 5【運用状況】

## (1)【投資状況】

## SBIグローバル・ラップファンド（安定型）

(2023年6月30日現在)

| 資産の種類               | 国名    | 時価合計<br>(円)   | 投資比率<br>(%) |
|---------------------|-------|---------------|-------------|
| 投資信託受益証券            | 日本    | 168,913,577   | 16.77       |
|                     | アメリカ  | 463,689,755   | 46.04       |
|                     | バミューダ | 344,179,674   | 34.17       |
|                     | 小計    | 976,783,006   | 96.98       |
| 現金・預金・その他の資産(負債控除後) |       | 30,435,502    | 3.02        |
| 合計(純資産総額)           |       | 1,007,218,508 | 100.00      |

(注)投資比率とは、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価比率をいいます。

## SBIグローバル・ラップファンド（積極型）

(2023年6月30日現在)

| 資産の種類               | 国名    | 時価合計<br>(円)   | 投資比率<br>(%) |
|---------------------|-------|---------------|-------------|
| 投資信託受益証券            | 日本    | 413,096,352   | 14.43       |
|                     | アメリカ  | 2,045,445,006 | 71.46       |
|                     | バミューダ | 322,068,908   | 11.25       |
|                     | 小計    | 2,780,610,266 | 97.14       |
| 現金・預金・その他の資産(負債控除後) |       | 81,815,303    | 2.86        |
| 合計(純資産総額)           |       | 2,862,425,569 | 100.00      |

(注)投資比率とは、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価比率をいいます。

## (2)【投資資産】

## 【投資有価証券の主要銘柄】

## SBIグローバル・ラップファンド（安定型）

(2023年6月30日現在)

| 国/<br>地域 | 種類       | 銘柄名   | 数量        | 帳簿価額<br>単価<br>(円) | 帳簿価額<br>金額<br>(円) | 評価額<br>単価<br>(円) | 評価額<br>金額<br>(円) | 投資<br>比率<br>(%) |
|----------|----------|---|-----------|-------------------|-------------------|------------------|------------------|-----------------|
| バミューダ    | 投資信託受益証券 | PIMCO Bermuda Income Fund AX                  | 30,879.21 | 11,264.62         | 347,842,714       | 11,146           | 344,179,674      | 34.17           |
| アメリカ     | 投資信託受益証券 | SCHWAB U.S. LARGE-CAP GROWTH                  | 15,381    | 8,583.40          | 132,021,398       | 10,707.51        | 164,692,234      | 16.35           |
| 日本       | 投資信託受益証券 | NEXT FUNDS JP BOND NOMURA - BPI               | 144,710   | 949               | 137,450,914       | 958.6            | 138,719,006      | 13.77           |
| アメリカ     | 投資信託受益証券 | ABRDN PHYSICAL GOLD SHARES ETF                | 36,657    | 2,551.82          | 93,542,212        | 2,646.06         | 96,996,896       | 9.63            |
| アメリカ     | 投資信託受益証券 | SPDR PORTFOLIO DEVELOPED WORLD EX-US ETF      | 17,809    | 4,485.99          | 79,891,007        | 4,665.77         | 83,092,844       | 8.25            |
| アメリカ     | 投資信託受益証券 | VANGUARD TOTAL INTL BOND ETF                  | 9,820     | 7,113.20          | 69,851,716        | 7,076.96         | 69,495,766       | 6.90            |
| 日本       | 投資信託受益証券 | ISHARES CORE TOPIX ETF                        | 12,639    | 2,031             | 25,669,809        | 2,389            | 30,194,571       | 3.00            |
| アメリカ     | 投資信託受益証券 | VANGUARD EMERGING MARKETS GOVERNMENT BOND ETF | 2,785     | 9,103.92          | 25,354,423        | 8,966.18         | 24,970,816       | 2.48            |



|      |          |   |       |          |            |          |            |      |
|------|----------|---|-------|----------|------------|----------|------------|------|
| アメリカ | 投資信託受益証券 | SPDR PORTFOLIO S&P EMERGING MARKETS ETF | 4,942 | 4,902.11 | 24,226,237 | 4,945.60 | 24,441,199 | 2.43 |
|------|----------|---|-------|----------|------------|----------|------------|------|

(注)投資比率とは、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価比率をいいます。

## 種類別投資比率

(2023年6月30日現在)

| 種 類      | 投資比率 (%) |
|----------|----------|
| 投資信託受益証券 | 96.98    |
| 合 計      | 96.98    |

(注)投資比率とは、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価比率をいいます。

## SBIグローバル・ラップファンド（積極型）

(2023年6月30日現在)

| 国/地域  | 種 類      | 銘 柄 名   | 数 量       | 帳簿価額<br>単価<br>(円) | 帳簿価額<br>金額<br>(円) | 評価額<br>単価<br>(円) | 評価額<br>金額<br>(円) | 投資<br>比率<br>(%) |
|-------|----------|---|-----------|-------------------|-------------------|------------------|------------------|-----------------|
| アメリカ  | 投資信託受益証券 | SCHWAB U.S. LARGE-CAP GROWTH                  | 70,174    | 8,583.40          | 602,332,073       | 10,707.51        | 751,388,912      | 26.25           |
| アメリカ  | 投資信託受益証券 | SPDR PORTFOLIO DEVELOPED WORLD EX-US ETF      | 94,117    | 4,485.99          | 422,207,977       | 4,665.77         | 439,129,047      | 15.34           |
| パミューダ | 投資信託受益証券 | PIMCO Bermuda Income Fund AX                  | 28,895.47 | 11,249.83         | 325,069,141       | 11,146           | 322,068,908      | 11.25           |
| アメリカ  | 投資信託受益証券 | ABRDN PHYSICAL GOLD SHARES ETF                | 92,626    | 2,576.62          | 238,662,692       | 2,646.06         | 245,094,648      | 8.56            |
| 日本    | 投資信託受益証券 | 中小型成長株ファンド ネクストジャパン（適格機関投資家専用）                | 4,256     | 47,386            | 201,677,735       | 48,091           | 204,675,296      | 7.15            |
| 日本    | 投資信託受益証券 | ISHARES CORE TOPIX ETF                        | 59,134    | 2,031             | 120,101,154       | 2,389            | 141,271,126      | 4.94            |
| アメリカ  | 投資信託受益証券 | VANGUARD SMALL CAP GROWTH ETF                 | 4,253     | 30,537.79         | 129,877,237       | 33,030.17        | 140,477,321      | 4.91            |
| アメリカ  | 投資信託受益証券 | FRANKLIN FTSE EUROZONE ETF                    | 39,364    | 3,816.13          | 150,218,409       | 3,460.92         | 136,235,882      | 4.76            |
| アメリカ  | 投資信託受益証券 | REAL ESTATE SELECT SECT SPDR                  | 20,365    | 5,649.91          | 115,060,545       | 5,437.12         | 110,727,050      | 3.87            |
| アメリカ  | 投資信託受益証券 | VANGUARD TOTAL INTL BOND ETF                  | 11,817    | 7,110.32          | 84,022,717        | 7,076.96         | 83,628,459       | 2.92            |
| アメリカ  | 投資信託受益証券 | VANGUARD EMERGING MARKETS GOVERNMENT BOND ETF | 7,822     | 9,097.70          | 71,162,225        | 8,966.18         | 70,133,472       | 2.45            |
| アメリカ  | 投資信託受益証券 | SPDR PORTFOLIO S&P EMERGING MARKETS ETF       | 13,877    | 4,864.41          | 67,503,480        | 4,945.60         | 68,630,215       | 2.40            |
| 日本    | 投資信託受益証券 | NEXT FUNDS JPB D NOMURA - BPI                 | 70,050    | 950               | 66,579,349        | 958.6            | 67,149,930       | 2.35            |

(注)投資比率とは、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価比率をいいます。

## 種類別投資比率

(2023年6月30日現在)

| 種 類      | 投資比率 (%) |
|----------|----------|
| 投資信託受益証券 | 97.14    |
| 合 計      | 97.14    |

(注)投資比率とは、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価比率をいいます。

### 【投資不動産物件】

## SBIグローバル・ラップファンド（安定型）

該当事項はありません。

### SBIグローバル・ラップファンド（積極型）

該当事項はありません。

#### 【その他投資資産の主要なもの】

### SBIグローバル・ラップファンド（安定型）

該当事項はありません。

### SBIグローバル・ラップファンド（積極型）

該当事項はありません。

## （3）【運用実績】

### 【純資産の推移】

### SBIグローバル・ラップファンド（安定型）

2023年6月30日（直近日）現在、同日前1年以内における各月末ならびに下記計算期間末の純資産の推移は次の通りです。

| 年 月 日                 | 純資産総額<br>(円)  |               | 1万口当たり純資産額<br>(円) |        |
|-----------------------|---------------|---------------|-------------------|--------|
|                       | (分配落)         | (分配付)         | (分配落)             | (分配付)  |
| 第1計算期間末 (2015年12月15日) | 3,034,747,494 | 3,034,747,494 | 9,826             | 9,826  |
| 第2計算期間末 (2016年12月15日) | 2,742,210,634 | 2,742,210,634 | 9,918             | 9,918  |
| 第3計算期間末 (2017年12月15日) | 1,921,290,334 | 1,921,290,334 | 10,328            | 10,328 |
| 第4計算期間末 (2018年12月17日) | 1,616,965,151 | 1,616,965,151 | 9,742             | 9,742  |
| 第5計算期間末 (2019年12月16日) | 1,342,763,665 | 1,342,763,665 | 10,305            | 10,305 |
| 第6計算期間末 (2020年12月15日) | 1,097,288,851 | 1,097,288,851 | 10,719            | 10,719 |
| 第7計算期間末 (2021年12月15日) | 1,041,957,883 | 1,041,957,883 | 11,685            | 11,685 |
| 第8計算期間末 (2022年12月15日) | 957,851,882   | 957,851,882   | 11,175            | 11,175 |
| 2022年 6月末日            | 991,005,847   | -             | 11,132            | -      |
| 7月末日                  | 1,010,173,609 | -             | 11,379            | -      |
| 8月末日                  | 1,005,008,034 | -             | 11,358            | -      |
| 9月末日                  | 968,015,426   | -             | 10,961            | -      |
| 10月末日                 | 977,674,715   | -             | 11,231            | -      |
| 11月末日                 | 963,514,398   | -             | 11,140            | -      |
| 12月末日                 | 926,276,986   | -             | 10,818            | -      |
| 2023年 1月末日            | 950,894,249   | -             | 11,104            | -      |
| 2月末日                  | 957,644,162   | -             | 11,153            | -      |
| 3月末日                  | 963,679,613   | -             | 11,300            | -      |
| 4月末日                  | 965,240,592   | -             | 11,392            | -      |
| 5月末日                  | 979,879,025   | -             | 11,682            | -      |
| 6月末日                  | 1,007,218,508 | -             | 12,037            | -      |

(注)表中の末日とはその月の最終営業日を指します。

## SBIグローバル・ラップファンド（積極型）

2023年6月30日（直近日）現在、同日前1年以内における各月末ならびに下記計算期間末の純資産の推移は次の通りです。

| 年 月 日                 | 純資産総額<br>（円）  |               | 1万口当たり純資産額<br>（円） |        |
|-----------------------|---------------|---------------|-------------------|--------|
|                       | （分配落）         | （分配付）         | （分配落）             | （分配付）  |
| 第1計算期間末 (2015年12月15日) | 6,899,664,883 | 6,899,664,883 | 9,771             | 9,771  |
| 第2計算期間末 (2016年12月15日) | 6,066,965,708 | 6,066,965,708 | 9,941             | 9,941  |
| 第3計算期間末 (2017年12月15日) | 4,587,265,347 | 4,587,265,347 | 11,188            | 11,188 |
| 第4計算期間末 (2018年12月17日) | 3,658,490,669 | 3,658,490,669 | 10,172            | 10,172 |
| 第5計算期間末 (2019年12月16日) | 3,201,942,814 | 3,201,942,814 | 11,118            | 11,118 |
| 第6計算期間末 (2020年12月15日) | 2,701,779,587 | 2,701,779,587 | 11,752            | 11,752 |
| 第7計算期間末 (2021年12月15日) | 2,796,499,056 | 2,796,499,056 | 13,740            | 13,740 |
| 第8計算期間末 (2022年12月15日) | 2,595,763,264 | 2,595,763,264 | 13,292            | 13,292 |
| 2022年 6月末日            | 2,600,995,987 | -             | 13,090            | -      |
| 7月末日                  | 2,691,964,636 | -             | 13,545            | -      |
| 8月末日                  | 2,682,625,498 | -             | 13,543            | -      |
| 9月末日                  | 2,549,569,196 | -             | 12,929            | -      |
| 10月末日                 | 2,655,886,764 | -             | 13,555            | -      |
| 11月末日                 | 2,608,281,232 | -             | 13,345            | -      |
| 12月末日                 | 2,464,577,595 | -             | 12,634            | -      |
| 2023年 1月末日            | 2,575,159,179 | -             | 13,190            | -      |
| 2月末日                  | 2,614,410,820 | -             | 13,424            | -      |
| 3月末日                  | 2,635,975,663 | -             | 13,535            | -      |
| 4月末日                  | 2,664,105,982 | -             | 13,727            | -      |
| 5月末日                  | 2,742,930,034 | -             | 14,334            | -      |
| 6月末日                  | 2,862,425,569 | -             | 15,114            | -      |

(注)表中の末日とはその月の最終営業日を指します。

## 【分配の推移】

## SBIグローバル・ラップファンド（安定型）

| 期 間    | 計算期間                    | 1万口当たりの分配金（円） |
|--------|-------------------------|---------------|
| 第1計算期間 | 2014年12月11日～2015年12月15日 | 0             |
| 第2計算期間 | 2015年12月16日～2016年12月15日 | 0             |
| 第3計算期間 | 2016年12月16日～2017年12月15日 | 0             |
| 第4計算期間 | 2017年12月16日～2018年12月17日 | 0             |
| 第5計算期間 | 2018年12月18日～2019年12月16日 | 0             |
| 第6計算期間 | 2019年12月17日～2020年12月15日 | 0             |
| 第7計算期間 | 2020年12月16日～2021年12月15日 | 0             |
| 第8計算期間 | 2021年12月16日～2022年12月15日 | 0             |

## SBIグローバル・ラップファンド（積極型）

| 期 間    | 計算期間                    | 1万口当たりの分配金（円） |
|--------|-------------------------|---------------|
| 第1計算期間 | 2014年12月11日～2015年12月15日 | 0             |
| 第2計算期間 | 2015年12月16日～2016年12月15日 | 0             |
| 第3計算期間 | 2016年12月16日～2017年12月15日 | 0             |
| 第4計算期間 | 2017年12月16日～2018年12月17日 | 0             |
| 第5計算期間 | 2018年12月18日～2019年12月16日 | 0             |
| 第6計算期間 | 2019年12月17日～2020年12月15日 | 0             |
| 第7計算期間 | 2020年12月16日～2021年12月15日 | 0             |
| 第8計算期間 | 2021年12月16日～2022年12月15日 | 0             |

## 【収益率の推移】

## SBIグローバル・ラップファンド（安定型）

| 期          | 計算期間                    | 収益率（％） |
|------------|-------------------------|--------|
| 第1計算期間     | 2014年12月11日～2015年12月15日 | 1.74   |
| 第2計算期間     | 2015年12月16日～2016年12月15日 | 0.94   |
| 第3計算期間     | 2016年12月16日～2017年12月15日 | 4.13   |
| 第4計算期間     | 2017年12月16日～2018年12月17日 | 5.67   |
| 第5計算期間     | 2018年12月18日～2019年12月16日 | 5.78   |
| 第6計算期間     | 2019年12月17日～2020年12月15日 | 4.02   |
| 第7計算期間     | 2020年12月16日～2021年12月15日 | 9.01   |
| 第8計算期間     | 2021年12月16日～2022年12月15日 | 4.36   |
| 第9計算期(中間期) | 2022年12月16日～2023年 6月15日 | 6.40   |

(注)各計算期間の収益率は、計算期間末の基準価額（分配落ち）に当該計算期間の分配金を加算し、当該計算期間の直前の計算期間末の基準価額（分配落ち。以下「前期末基準価額」といいます。）を控除した額を前期末基準価額で除して得た数に100を乗じた数を記載しております。

なお、第1計算期間の収益率は、前計算期間末（設定時）の基準価額を10,000円として計算しております。

## SBIグローバル・ラップファンド（積極型）

| 期          | 計算期間                    | 収益率（％） |
|------------|-------------------------|--------|
| 第1計算期間     | 2014年12月11日～2015年12月15日 | 2.29   |
| 第2計算期間     | 2015年12月16日～2016年12月15日 | 1.74   |
| 第3計算期間     | 2016年12月16日～2017年12月15日 | 12.54  |
| 第4計算期間     | 2017年12月16日～2018年12月17日 | 9.08   |
| 第5計算期間     | 2018年12月18日～2019年12月16日 | 9.30   |
| 第6計算期間     | 2019年12月17日～2020年12月15日 | 5.70   |
| 第7計算期間     | 2020年12月16日～2021年12月15日 | 16.92  |
| 第8計算期間     | 2021年12月16日～2022年12月15日 | 3.26   |
| 第9計算期(中間期) | 2022年12月16日～2023年 6月15日 | 11.51  |

(注)各計算期間の収益率は、計算期間末の基準価額（分配落ち）に当該計算期間の分配金を加算し、当該計算期間の直前の計算期間末の基準価額（分配落ち。以下「前期末基準価額」といいます。）を控除した額を前期末基準価額で除して得た数に100を乗じた数を記載しております。

なお、第1計算期間の収益率は、前計算期間末（設定時）の基準価額を10,000円として計算しております。

## (4) 【設定及び解約の実績】

## SBIグローバル・ラップファンド(安定型)

| 期          | 計算期間                    | 設定数量<br>(口)   | 解約数量<br>(口)   | 発行済み数量<br>(口) |
|------------|-------------------------|---------------|---------------|---------------|
| 第1計算期間     | 2014年12月11日～2015年12月15日 | 4,640,446,604 | 1,551,945,465 | 3,088,501,139 |
| 第2計算期間     | 2015年12月16日～2016年12月15日 | 218,570,336   | 542,084,777   | 2,764,986,698 |
| 第3計算期間     | 2016年12月16日～2017年12月15日 | 92,659,106    | 997,394,790   | 1,860,251,014 |
| 第4計算期間     | 2017年12月16日～2018年12月17日 | 132,546,541   | 333,039,013   | 1,659,758,542 |
| 第5計算期間     | 2018年12月18日～2019年12月16日 | 54,703,116    | 411,450,992   | 1,303,010,666 |
| 第6計算期間     | 2019年12月17日～2020年12月15日 | 29,187,330    | 308,541,643   | 1,023,656,353 |
| 第7計算期間     | 2020年12月16日～2021年12月15日 | 35,246,118    | 167,208,904   | 891,693,567   |
| 第8計算期間     | 2021年12月16日～2022年12月15日 | 28,523,997    | 63,042,488    | 857,175,076   |
| 第9計算期間(中間) | 2022年12月16日～2023年 6月15日 | 12,159,679    | 30,833,259    | 838,501,496   |

(注)本邦外における設定及び解約の実績はありません。

第1計算期間の設定口数には、当初設定口数を含みます。

## SBIグローバル・ラップファンド(積極型)

| 期          | 計算期間                    | 設定数量<br>(口)    | 解約数量<br>(口)   | 発行済み数量<br>(口) |
|------------|-------------------------|----------------|---------------|---------------|
| 第1計算期間     | 2014年12月11日～2015年12月15日 | 10,808,257,173 | 3,746,825,353 | 7,061,431,820 |
| 第2計算期間     | 2015年12月16日～2016年12月15日 | 610,447,440    | 1,568,887,495 | 6,102,991,765 |
| 第3計算期間     | 2016年12月16日～2017年12月15日 | 340,593,791    | 2,343,418,175 | 4,100,167,381 |
| 第4計算期間     | 2017年12月16日～2018年12月17日 | 228,929,382    | 732,536,485   | 3,596,560,278 |
| 第5計算期間     | 2018年12月18日～2019年12月16日 | 130,778,601    | 847,340,244   | 2,879,998,635 |
| 第6計算期間     | 2019年12月17日～2020年12月15日 | 125,147,537    | 706,185,539   | 2,298,960,633 |
| 第7計算期間     | 2020年12月16日～2021年12月15日 | 105,712,316    | 369,438,974   | 2,035,233,975 |
| 第8計算期間     | 2021年12月16日～2022年12月15日 | 85,411,137     | 167,801,978   | 1,952,843,134 |
| 第9計算期間(中間) | 2022年12月16日～2023年 6月15日 | 37,929,536     | 83,061,176    | 1,907,711,494 |

(注)本邦外における設定及び解約の実績はありません。

第1計算期間の設定口数には、当初設定口数を含みます。

(参考情報)

# 運用実績

## SBIグローバル・ラップファンド(安定型)

### 基準価額・純資産の推移

(基準日:2023年6月30日)

(設定日(2014年12月11日)~2023年6月30日)



※基準価額及び分配金再投資基準価額は運用管理費用(信託報酬)控除後の1万口当たりの値です。  
 ※分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算しています。

|              |         |
|--------------|---------|
| 基準価額(1万口当たり) | 12,037円 |
| 純資産総額        | 10.07億円 |

### 分配の推移(1万口当たり、税引前)

| 決算期              | 金額 |
|------------------|----|
| 第4期(2018年12月17日) | 0円 |
| 第5期(2019年12月16日) | 0円 |
| 第6期(2020年12月15日) | 0円 |
| 第7期(2021年12月15日) | 0円 |
| 第8期(2022年12月15日) | 0円 |
| 設定来累計            | 0円 |

### 主要な資産の状況

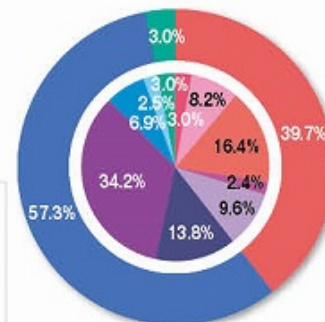
※比率は本ファンドの純資産総額に対する比率を表示しています。  
 ※比率は表示単位未満を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。

#### 《構成比率》

|        |        |
|--------|--------|
| 投資信託証券 | 97.0%  |
| 現金等    | 3.0%   |
| 合計     | 100.0% |

#### 《資産別構成比率》

|        |       |               |      |           |       |
|--------|-------|---------------|------|-----------|-------|
| 株式型資産  | 39.7% | 先進国(除く米国)大型株式 | 8.2% | コモディティ(金) | 9.6%  |
| 日本大型株式 | 34.2% | 新興国株式         | 2.4% | グローバル債券   | 13.8% |
| 米国大型株式 | 16.4% | 先進国(除く米国)債券   | 6.9% | 日本債券      | 3.0%  |
| 債券型資産  | 57.3% | 新興国債券         | 2.5% | 現金        | 3.0%  |



#### 《組入上位銘柄》

|   | 投資対象ファンドの名称                         | 比率    | 投資対象資産        | 通貨  |
|---|-------------------------------------|-------|---------------|-----|
| 1 | ヒムコ・バリュエーター・インカムファンドA クラスX(JPY)     | 34.2% | グローバル債券       | 円   |
| 2 | シュワブ・米国大型株グロース・ETF                  | 16.4% | 米国大型株式        | 米ドル |
| 3 | NEXT FUNDS 国内債券・NOMURA-BPI総合連動型上場投信 | 13.8% | 日本債券          | 円   |
| 4 | abrdn フィジカル・ゴールド・シェアーズETF           | 9.6%  | コモディティ(金)     | 米ドル |
| 5 | SPDR ポートフォリオ先進国株式(除く米国)ETF          | 8.2%  | 先進国(除く米国)大型株式 | 米ドル |
| 6 | バンガード・トータル・インターナショナル債券ETF(米ドルヘッジあり) | 6.9%  | 先進国(除く米国)債券   | 米ドル |
| 7 | iシェアーズ・コア TOPIX ETF                 | 3.0%  | 日本大型株式        | 円   |
| 8 | バンガード・米ドル建て 新興国政府債券ETF              | 2.5%  | 新興国債券         | 米ドル |
| 9 | SPDR ポートフォリオ・新興国株式 ETF              | 2.4%  | 新興国株式         | 米ドル |

※基準日(2023年6月30日)の状況です。直近の基本投資割合はP2、投資対象ファンドはP11、P12に記載しています。

### 年間収益率の推移(暦年ベース)

(%) 本ファンドにはベンチマークはありません。



※ファンドの年間収益率は、分配金再投資基準価額の騰落率です。

※2014年は設定日2014年12月11日(10,000円)から年末まで、2023年は年初から6月末までの騰落率です。

最新の運用実績は、委託会社のホームページまたは販売会社でご確認いただけます。

※ファンドの運用実績はあくまで過去の実績であり、将来の運用成果をお約束するものではありません。

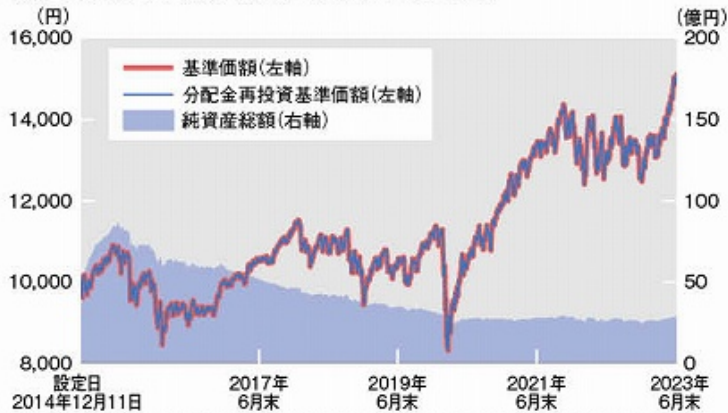
## 運用実績

## SBIグローバル・ラップファンド(積極型)

## 基準価額・純資産の推移

(基準日:2023年6月30日)

(設定日(2014年12月11日)~2023年6月30日)



※基準価額及び分配金再投資基準価額は運用管理費用(信託報酬)控除後の1万口当たりの値です。

※分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算しています。

|              |         |
|--------------|---------|
| 基準価額(1万口当たり) | 15,114円 |
| 純資産総額        | 28.62億円 |

## 分配の推移(1万口当たり、税引前)

| 決算期              | 金額 |
|------------------|----|
| 第4期(2018年12月17日) | 0円 |
| 第5期(2019年12月16日) | 0円 |
| 第6期(2020年12月15日) | 0円 |
| 第7期(2021年12月15日) | 0円 |
| 第8期(2022年12月15日) | 0円 |
| 設定来累計            | 0円 |

## 主要な資産の状況

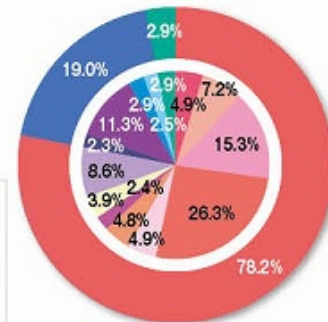
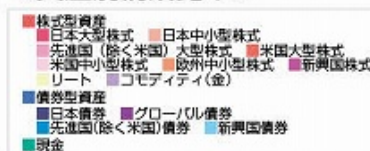
※比率は本ファンドの純資産総額に対する比率を表示しています。

※比率は表示単位未満を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。

## 《構成比率》

|        |        |
|--------|--------|
| 投資信託証券 | 97.1%  |
| 現金等    | 2.9%   |
| 合計     | 100.0% |

## 《資産別構成比率》



## 《組入上位10銘柄》

|    | 投資対象ファンドの名称                          | 比率    | 投資対象資産        | 通貨  |
|----|--------------------------------------|-------|---------------|-----|
| 1  | シュワブ・米国大型株グロース・ETF                   | 26.3% | 米国大型株式        | 米ドル |
| 2  | SPDR ポートフォリオ先進国株式(除く米国)ETF           | 15.3% | 先進国(除く米国)大型株式 | 米ドル |
| 3  | ビムコ・バミューダ・インカムファンドA クラスX(JPY)        | 11.3% | グローバル債券       | 円   |
| 4  | abrdn フィジカル・ゴールド・シェアーズETF            | 8.6%  | コモディティ(金)     | 米ドル |
| 5  | SBI中小型成長株ファンド ネットストックジャパン(適格機関投資家専用) | 7.2%  | 日本中小型株式       | 円   |
| 6  | iシェアーズ・コア TOPIX ETF                  | 4.9%  | 日本大型株式        | 円   |
| 7  | パンガード・スモールキャップ・グロースETF               | 4.9%  | 米国中小型株式       | 米ドル |
| 8  | フランクリン・FTSE ユーロゾーン ETF               | 4.8%  | 欧州中小型株式       | 米ドル |
| 9  | 不動産セレクト・セクター・SPDR ファンド               | 3.9%  | リート           | 米ドル |
| 10 | パンガード®・トータル・インターナショナル債券ETF(米ドルヘッジあり) | 2.9%  | 先進国(除く米国)債券   | 米ドル |

※基準日(2023年6月30日)の状況です。直近の基本投資割合はP2、投資対象ファンドはP11、P12に記載しています。

## 年間収益率の推移(暦年ベース)



※ファンドの年間収益率は、分配金再投資基準価額の騰落率です。

※2014年は設定日2014年12月11日(10,000円)から年末まで、2023年は年初から6月末までの騰落率です。

最新の運用実績は、委託会社のホームページまたは販売会社でご確認いただけます。  
※ファンドの運用実績はあくまで過去の実績であり、将来の運用成果をお約束するものではありません。

**(参考情報) ファンドの総経費率**

直近の運用報告書の作成対象期間は2021年12月16日～2022年12月15日です。

## &lt;SBIグローバル・ラップファンド(安定型)&gt;

| 総経費率 (①+②) | ①運用管理費用の比率 | ②その他費用の比率 |
|------------|------------|-----------|
| 1.80%      | 1.38%      | 0.42%     |

## &lt;SBIグローバル・ラップファンド(積極型)&gt;

| 総経費率 (①+②) | ①運用管理費用の比率 | ②その他費用の比率 |
|------------|------------|-----------|
| 1.58%      | 1.38%      | 0.20%     |

※対象期間中の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。)を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額(1口当たり)を乗じた数で除した値(年率)です。

※その他費用には、投資先ファンド(ファンドが組入れている投資信託証券)にかかる費用が含まれています。

※投資先ファンドの費用は、各月末の投資先ファンドの保有比率に当該投資先ファンドの運用管理費用の比率を乗じて算出した概算値です。なお、投資先ファンドの運用管理費用以外の費用を除いています。

※各比率は、年率換算した値です。なお、四捨五入の関係により、合計が一致しない場合があります。

※投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。

※これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

※詳細につきましては、対象期間の運用報告書(全体版)をご覧ください。



## 第2【管理及び運営】

### 1【申込（販売）手続等】

#### ( )お申込日

毎営業日お申込いただけます。

原則として、営業日の午後3時までに販売会社が受付けた分を当日のお申込みとします。

上記時間を過ぎての受付は、翌営業日の取扱いとなります。

ただし、各ファンドとも取得申込日当日が以下に該当する場合にはお申込みの受付を行いません。

- ・ニューヨークの証券取引所の休業日
- ・ロンドン証券取引所の休業日
- ・シカゴマーカンタイル取引所の休業日
- ・ニューヨークの商業銀行の休業日
- ・ロンドンの商業銀行の休業日

詳しくは販売会社へお問い合わせください。なお、下記照会先においてもご確認いただけます。

委託会社における照会先：

|   |
|---|
| SBIアセットマネジメント株式会社（委託会社）<br>電話番号 03 - 6229 - 0097（受付時間：毎営業日の午前9時～午後5時）<br>ホームページ <a href="http://www.sbi-am.co.jp/">http://www.sbi-am.co.jp/</a> |
|---|

#### ( )お申込単位

お申込単位は、各販売会社が定めるものとします。（当初1口＝1円）

詳しくは販売会社にお問い合わせください。なお、上記( )に記載の照会先においてもご確認いただけます。

#### ( )お申込価額

取得申込受付日の翌営業日に算出される基準価額とします。

#### ( )お申込手数料

通常のお申込み

取得申込受付日の翌営業日の基準価額に、3.3%（税抜3.0%）を上限として販売会社が独自に定める手数料率を乗じて得た額とします。

お申込手数料は、販売会社によって異なる場合がありますので、販売会社にご確認ください。

なお、上記( )の照会先においてもご確認いただけます。

（注）申込手数料とは、購入時の商品説明、情報提供及び事務手続き等にかかる対価のことをいいます。

確定拠出年金制度に基づくお申込み

申込手数料はかかりません。

本ファンドの受益権は、振替制度の適用を受けており、取得申込者は販売会社に、取得申込と同時にまたは予め、自己のために開設されたファンドの当該取得申込者が受益権の振替を行うための振替機関等の口座を示すものとし、当該口座に当該取得申込者にかかる口数の増加の記載または記録が行われます。なお、販売会社は、当該取得申込の代金の支払いと引き換えに、当該口座に当該取得申込者にかかる口数の増加の記載または記録を行うことができます。

委託会社は、追加信託により分割された受益権について、振替機関等の振替口座簿への新たな記載または記録をするため社振法に定める事項の振替機関への通知を行うものとします。振替機関等は、委託会社から振替機関への通知があった場合、社振法の規定にしたがい、その備える振替口座簿への新たな記載または記録を行います。受託会社は、追加信託により生じた受益権につ

いては追加信託のつど、振替機関の定める方法により、振替機関へ当該受益権にかかる信託を設定した旨の通知を行います。

上記にかかわらず、委託会社は、取得申込者の取得申込総額が多額な場合、投資信託財産の効率的な運用が妨げられると委託会社が合理的に判断する場合、または金融商品取引所（金融商品取引法第2条第16項に規定する金融商品取引所及び金融商品取引法第2条第8項第3号口に規定する外国金融商品市場をいいます。以下同じ。なお、金融商品取引所を単に「取引所」という場合があり、取引所のうち、有価証券の売買または金融商品取引法第28条第8項第3号もしくは同項第5号の取引を行う市場ないしは当該市場を開設するものを「証券取引所」という場合があります。）等における取引の停止、外国為替取引の停止、決済機能の停止、その他やむを得ない事情があるときは、販売会社は、受益権の取得申込みの受付を中止すること、及びすでに受付けた取得申込みを取消することができます。

なお、取得申込みの受付が中止または取消された場合には、受益者は当該受付中止または取消し以前に行った当日の取得申込みを撤回できます。ただし、受益者がその取得申込みを撤回しない場合には、当該受益権の取得の価額は、当該受付中止を解除した後の最初の基準価額の計算日に取得申込みを受付けたものとし、上記の規定に準じて算出した価額とします。

## 2【換金（解約）手続等】

### a. 換金の受付

毎営業日お申込みいただけます。

原則として営業日の午後3時までに販売会社が受付けた分を当日のお申込みとします。

上記時間を過ぎての受付は、翌営業日のお取扱いとなります。

ただし、各ファンドとも取得申込日当日が以下に該当する場合にはお申込みの受付を行いません。

- ・ニューヨークの証券取引所の休業日
- ・ロンドン証券取引所の休業日
- ・シカゴマーカンタイル取引所の休業日
- ・ニューヨークの商業銀行の休業日
- ・ロンドンの商業銀行の休業日

詳しくは販売会社へお問い合わせください。なお、下記照会先においてもご確認いただけます。

委託会社における照会先：

SBIアセットマネジメント株式会社（委託会社）

電話番号 03 - 6229 - 0097（受付時間：毎営業日の午前9時～午後5時）

ホームページ <http://www.sbi-am.co.jp/>

### b. 換金単位

最低単位を1円単位または1口単位として、販売会社が定める単位をもって一部解約の実行を請求することができます。

換金単位は販売会社により異なる場合がありますので、販売会社にご確認ください。

なお、上記に記載の照会先においてもご確認いただけます。

### c. 換金価額

解約請求受付日の翌営業日に算出される基準価額から信託財産留保額（基準価額に対し0.1%）を控除した価額となります。

換金手数料はありません。基準価額については、上記a.の照会先においてもご確認いただけます。

（注）信託財産留保額とは、換金に伴う有価証券売買委託手数料等の費用のことをいいます。

### d. 換金代金のお支払い

原則として、換金代金は、受益者の一部解約の実行の請求を受付けた日から起算して7営業日目からお支払いします。

## e. その他

信託財産の資金管理を円滑に行うため、大口解約または換金の請求金額が多額となる場合には制限を設ける場合があります。

上記にかかわらず、委託会社は、金融商品取引所における取引の停止、外国為替取引の停止、その他やむを得ない事情があるときは、一部解約の実行の請求の受付を中止すること及びすでに受付けた一部解約の実行の請求の受付を取消すことができます。

なお、一部解約の実行の請求の受付が中止された場合には、受益者は当該受付中止以前に行った当日の一部解約の実行の請求を撤回できます。ただし、受益者が当該一部解約の実行の請求を撤回しない場合には、当該受益権の一部解約の価額は、当該受付中止を解除した後の最初の解約請求受付期間に一部解約の実行の請求を受付けたものとし、上記の規定に準じて計算された価額とします。

## 3【資産管理等の概要】

## (1)【資産の評価】

## ( ) 基準価額の算出方法

基準価額とは、信託財産に属する資産（受入担保金代用有価証券を除きます。）を法令及び一般社団法人投資信託協会規則にしたがって時価評価して得た信託財産の資産総額から負債総額を控除した金額（以下「純資産総額」といいます。）を計算日における受益権総口数で除した金額をいいます。ただし、便宜上1万口当たりで表示されます。

## ( ) 主な投資対象資産の評価方法

|                    |   |
|--------------------|---|
| 投資信託または外国投資信託の受益証券 | 原則として、投資信託証券の基準価額計算時に知り得る直近の日の基準価額で評価します。 |
| 外貨建資産              | 原則として、基準価額計算日の対顧客相場の仲値で円換算を行います。          |
| 為替予約取引             | 原則として、基準価額計算日の対顧客先物売買相場の仲値で評価します。         |

## ( ) 基準価額の算出頻度・照会方法等

本ファンドの基準価額は毎営業日算出されます。最新の基準価額（1万口当たり）は最寄りの取扱販売会社にお問い合わせいただければ、いつでもお知らせいたします。また、日本経済新聞にも原則として計算日の翌日付の朝刊に基準価額（1万口当たり）が掲載されています。なお、下記照会先においてもご確認いただけます。

委託会社における照会先：

|   |
|---|
| SBIアセットマネジメント株式会社（委託会社）<br>電話番号 03 - 6229 - 0097（受付時間：毎営業日の午前9時～午後5時）<br>ホームページ <a href="http://www.sbi-am.co.jp/">http://www.sbi-am.co.jp/</a> |
|---|

## (2)【保管】

本ファンドの受益権は社振法の規定の適用を受け、受益権の帰属は振替機関等の振替口座簿に記載または記録されることにより定まるため、原則として受益証券は発行されません。したがって、受益証券の保管に関する該当事項はありません。

## (3)【信託期間】

本ファンドの信託期間は2014年12月11日から開始し、原則として無期限です。

ただし、後記の「(5)その他」の規定等によりファンドを償還させることがあります。

#### （４）【計算期間】

この信託の計算期間は、毎年12月16日から翌年12月15日までとすることを原則とします。各計算期間終了日に該当する日が休業日のとき、各計算期間終了日は翌営業日とし、その翌日より次の計算期間が開始されるものとします。

#### （５）【その他】

##### （ ）信託の終了

委託会社は、信託期間中において、信託契約の一部を解約することにより受益権の口数が10億口を下回る事となった場合、またはこの信託契約を解約することが受益者のため有利であると認めるとき、もしくはやむを得ない事情が発生したときは、受託会社と合意のうえ、この信託契約を解約し、信託を終了させることができます。この場合において、委託会社は、あらかじめ、解約しようとする旨を監督官庁に届出ます。

委託会社は、前記の事項について、書面による決議（以下「書面決議」といいます。）を行います。この場合において、あらかじめ、書面決議の日ならびに信託契約の解約の理由などの事項を定め、当該決議の日の2週間前までに、この信託契約にかかる知れている受益者に対し、書面をもってこれらの事項を記載した書面決議の通知を発送します。

前記の書面決議において、受益者（委託会社及びこの信託の信託財産にこの信託の受益権が属するときの当該受益権にかかる受益者としての受託会社を除きます。以下同じ。）は受益権の口数に応じて、議決権を有し、これを行行使することができます。なお、知れている受益者が議決権を行行使しないときは、当該知れている受益者は書面決議について賛成するものとみなします。

前記の書面決議は議決権を行行使することができる受益者の議決権の3分の2以上にあたる多数をもって行います。

前記からまでの規定は、委託会社が信託契約の解約について提案をした場合において、当該提案につき、この信託契約にかかるすべての受益者が書面または電磁的記録により同意の意思表示をしたときには適用しません。また、信託財産の状況に照らし真にやむを得ない事情が生じている場合であって、前記からまでに規定する手続きを行うことが困難な場合にも適用しません。

##### （ ）その他の事由による信託の終了

委託会社は、監督官庁より、この信託契約の解約の命令を受けたときは、その命令にしたがい、信託契約を解約し信託を終了させます。

委託会社が監督官庁より登録の取消しを受けたとき、解散したときまたは業務を廃止したときは委託会社は、この信託契約を解約し信託を終了させます。ただし、監督官庁がこの信託契約に関する委託会社の業務を他の投資信託委託会社に引継ぐことを命じたときは、下記「（ ）約款変更」の書面決議で否決された場合を除き、当該投資信託委託会社と受託会社との間において存続します。

受託会社が辞任した場合または裁判所が受託会社を解任した場合において、委託会社が新受託会社を選任できないときは、委託会社は信託契約を解約し、信託を終了させます。

##### （ ）約款変更

委託会社は、受益者の利益のため必要と認めるときまたはやむを得ない事情が発生したときは、受託会社と合意のうえ、この信託約款を変更することまたはこの信託と他の信託との併合（投資信託及び投資法人に関する法律第16条第2号に規定する「委託者指図型投資信託の併合」）をいいます。以下同じ。）を行うことができるものとし、あらかじめ

め、変更または併合しようとする旨及びその内容を監督官庁に届出ます。なお、この信託約款は本条に定める以外の方法によって変更することができないものとします。

委託会社は、前記の事項(前記の変更事項にあっては、その内容が重大なものに該当する場合に限り、前項の併合にあっては、投資信託及び投資法人に関する法律施行規則第29条の2に規定する「軽微な併合」を除きます。以下、併合と合わせて「重大な約款の変更等」といいます。)について、書面決議を行います。この場合において、あらかじめ、書面決議の日及びその理由などの事項を定め、当該決議の日の2週間前までに、この信託約款にかかる知れている受益者に対し、書面をもってこれらの事項を記載した書面決議の通知を発送します。

前記の書面決議において、受益者は受益権の口数に応じて、議決権を有し、これを行使用することができます。なお、知れている受益者が議決権を行使用しないときは、当該知れている受益者は書面決議について賛成するものとみなします。

前記の書面決議は議決権が行使できる受益者の議決権の3分の2以上に当たる多数をもって行います。

書面決議の効力は、この信託のすべての受益者に対してその効力を生じます。

前記からまでの規定は、委託会社が重大な約款の変更等について提案をした場合において、当該提案につき、この信託契約にかかるすべての受益者が書面または電磁的記録により同意の意思表示をしたときには適用しません。

前記からの規定にかかわらず、この投資信託において併合の書面決議が可決された場合にあっても、当該併合にかかる1つまたは複数の他の投資信託において当該併合の書面決議が否決された場合は、当該他の投資信託との併合を行うことはできません。

#### ( ) 公告

委託会社が受益者に対して行う公告は、電子公告の方法により行い、次のアドレスに掲載します。

<http://www.sbi-am.co.jp/>

なお、電子公告による公告をすることができない事故その他やむを得ない事由が生じた場合の公告は、日刊工業新聞に掲載します。

#### ( ) 反対受益者の受益権買取請求の不適用

この信託は、受益者が第38条の規定による一部解約請求を行なったときは、委託者が信託契約の一部の解約をすることにより当該請求に応じ、当該受益権の公正な価格が当該受益者に一部解約金として支払われることとなる委託者指図型投資信託に該当するため、第39条に規定する信託契約の解約または前条に規定する重大な信託約款の変更等を行なう場合において、投資信託及び投資法人に関する法律第18条第1項に定める反対受益者による受益権買取請求の規定の適用を受けません。

#### ( ) 運用報告書の作成

本ファンドは、毎計算期末(毎年12月15日。ただし、当該日が休業日の場合は翌営業日。)及び信託終了時に期中の運用経過、信託財産の内容、有価証券売買状況などを記載した交付運用報告書を作成し、販売会社を通じて知れている受益者に交付します。運用報告書(全体版)は、委託会社のホームページに掲載します。ただし、受益者から運用報告書(全体版)の請求があった場合には、これを交付します。

#### ( ) 関係法人との契約の更改

##### 募集・販売契約

委託会社と販売会社との間の募集・販売契約は、当事者の別段の意思表示のない限り、1年ごとに自動的に更新されます。募集・販売契約は、当事者間の合意により変更することができます。

#### 4【受益者の権利等】

受益者の有する主な権利は次の通りです。

( ) 収益分配金・償還金の請求権

受益者は、ファンドの収益分配金・償還金を所有する受益権の口数に応じて委託会社に請求する権利を有します。収益分配金の請求権は支払開始日から5年間、償還金の請求権は支払開始日から10年間その支払いを請求しないときはその権利を失い、委託会社が受託会社から交付を受けた金銭は、委託会社に帰属します。

(注) 本ファンドの受益権は、振替制度の適用を受けており、その場合の分配金は、決算日において振替機関等の振替口座簿に記載または記録されている受益者に、原則として決算日から起算して5営業日目までに支払いを開始します。

( ) 換金請求権

受益者は、保有する受益権について販売会社に換金を請求する権利を有します。

( ) 帳簿閲覧権

受益者は委託会社に対し、その営業時間内に本ファンドの信託財産に関する帳簿書類の閲覧・謄写を請求することができます。

### 第3【ファンドの経理状況】

1) 本ファンドの財務諸表は、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」（昭和38年大蔵省令第59号）並びに同規則第2条の2の規定により、「投資信託財産の計算に関する規則」（平成12年総理府令第133号）に基づいて作成しております。

なお、財務諸表に記載している金額は、円単位で表示しております。

2) 本ファンドは、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第8期計算期間（2021年12月16日から2022年12月15日まで）の財務諸表について、監査法人ナカチによる監査を受けております。

## 1【財務諸表】

## 【SBIグローバル・ラップファンド(安定型)】

## (1)【貸借対照表】

(単位:円)

|                 | 第7期<br>2021年12月15日現在 | 第8期<br>2022年12月15日現在 |
|-----------------|----------------------|----------------------|
| <b>資産の部</b>     |                      |                      |
| 流動資産            |                      |                      |
| 預金              | 482,689              | 508,700              |
| コール・ローン         | 20,833,833           | 28,261,689           |
| 投資信託受益証券        | 1,029,464,425        | 937,361,399          |
| 流動資産合計          | 1,050,780,947        | 966,131,788          |
| <b>資産合計</b>     |                      |                      |
|                 | 1,050,780,947        | 966,131,788          |
| <b>負債の部</b>     |                      |                      |
| 流動負債            |                      |                      |
| 未払解約金           | 1,061,148            | 953,646              |
| 未払受託者報酬         | 146,101              | 136,062              |
| 未払委託者報酬         | 7,158,818            | 6,667,181            |
| 未払利息            | 57                   | 77                   |
| その他未払費用         | 456,940              | 522,940              |
| 流動負債合計          | 8,823,064            | 8,279,906            |
| <b>負債合計</b>     |                      |                      |
|                 | 8,823,064            | 8,279,906            |
| <b>純資産の部</b>    |                      |                      |
| 元本等             |                      |                      |
| 元本              | 891,693,567          | 857,175,076          |
| 剰余金             |                      |                      |
| 期末剰余金又は期末欠損金( ) | 150,264,316          | 100,676,806          |
| 元本等合計           | 1,041,957,883        | 957,851,882          |
| <b>純資産合計</b>    |                      |                      |
|                 | 1,041,957,883        | 957,851,882          |
| <b>負債純資産合計</b>  |                      |                      |
|                 | 1,050,780,947        | 966,131,788          |



## （２）【損益及び剰余金計算書】

（単位：円）

|   | 第7期 |                              | 第8期 |                              |
|---|-----|------------------------------|-----|------------------------------|
|   | 自   | 2020年12月16日<br>至 2021年12月15日 | 自   | 2021年12月16日<br>至 2022年12月15日 |
| <b>営業収益</b>                               |     |                              |     |                              |
| 受取配当金                                     |     | 5,722,181                    |     | 9,722,719                    |
| 受取利息                                      |     | -                            |     | 13,265                       |
| 有価証券売買等損益                                 |     | 61,773,578                   |     | 127,555,309                  |
| 為替差損益                                     |     | 39,945,374                   |     | 87,247,226                   |
| その他収益                                     |     | 122,492                      |     | 529,872                      |
| <b>営業収益合計</b>                             |     | <b>107,563,625</b>           |     | <b>30,042,227</b>            |
| <b>営業費用</b>                               |     |                              |     |                              |
| 支払利息                                      |     | 28,127                       |     | 28,849                       |
| 受託者報酬                                     |     | 291,552                      |     | 275,366                      |
| 委託者報酬                                     |     | 14,285,799                   |     | 13,493,166                   |
| その他費用                                     |     | 1,297,593                    |     | 1,555,508                    |
| <b>営業費用合計</b>                             |     | <b>15,903,071</b>            |     | <b>15,352,889</b>            |
| 営業利益又は営業損失（ ）                             |     | 91,660,554                   |     | 45,395,116                   |
| 経常利益又は経常損失（ ）                             |     | 91,660,554                   |     | 45,395,116                   |
| 当期純利益又は当期純損失（ ）                           |     | 91,660,554                   |     | 45,395,116                   |
| 一部解約に伴う当期純利益金額の分配額又は一部解約に伴う当期純損失金額の分配額（ ） |     | 7,565,045                    |     | 2,612,765                    |
| 期首剰余金又は期首欠損金（ ）                           |     | 73,632,498                   |     | 150,264,316                  |
| 剰余金増加額又は欠損金減少額                            |     | 4,557,009                    |     | 3,730,389                    |
| 当期追加信託に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額                   |     | 4,557,009                    |     | 3,730,389                    |
| 剰余金減少額又は欠損金増加額                            |     | 12,020,700                   |     | 10,535,548                   |
| 当期一部解約に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額                   |     | 12,020,700                   |     | 10,535,548                   |
| 分配金                                       |     | -                            |     | -                            |
| 期末剰余金又は期末欠損金（ ）                           |     | 150,264,316                  |     | 100,676,806                  |

## (3)【注記表】

## (重要な会計方針に係る事項に関する注記)

|                        |   |
|------------------------|---|
| 1. 有価証券の評価基準及び評価方法     | 投資信託受益証券<br>移動平均法に基づき、計算期間末日の基準価額で評価しております。   |
| 2. 外貨建資産・負債の本邦通貨への換算基準 | 信託財産に属する外貨建資産・負債の円換算は、原則として、わが国における計算日の対顧客電信売買相場の仲値によって計算しております。  |
| 3. その他                 | 外貨建資産等の会計処理<br>外貨建資産等については、投資信託財産の計算に関する規則第60条の規定に基づき、通貨の種類ごとに勘定を設けて、邦貨建資産等と区別する方法を採用しております。従って、外貨の売買については、同規則第61条の規定により処理し、為替差損益を算定しております。 |

## (貸借対照表に関する注記)

| 項目                               | 第7期                  | 第8期                  |
|----------------------------------|----------------------|----------------------|
|                                  | 2021年12月15日現在        | 2022年12月15日現在        |
| 1. 当該計算期間の末日における受益権の総数           | 891,693,567口         | 857,175,076口         |
| 2. 1口当たり純資産額<br>(10,000口当たり純資産額) | 1.1685円<br>(11,685円) | 1.1175円<br>(11,175円) |

## (損益及び剰余金計算書に関する注記)

| 第7期<br>自 2020年12月16日<br>至 2021年12月15日  |              | 第8期<br>自 2021年12月16日<br>至 2022年12月15日 |              |
|--|--------------|---------------------------------------|--------------|
| 1. 分配金の計算過程  |              | 1. 分配金の計算過程                           |              |
| 費用控除後の配当等 A  | 4,652,034円   | 費用控除後の配当等 A                           | - 円          |
| 収益額  |              | 収益額                                   |              |
| 費用控除後・繰越欠 B  | 79,443,475円  | 費用控除後・繰越欠 B                           | - 円          |
| 損金補填後の有価証券等損益額   |              | 損金補填後の有価証券等損益額                        |              |
| 収益調整金額 C   | 8,325,690円   | 収益調整金額 C                              | 12,610,473円  |
| 分配準備積立金額 D   | 60,908,659円  | 分配準備積立金額 D                            | 135,009,110円 |
| 本ファンドの分配対象収益額 E=A+B+C+D  | 153,329,858円 | 本ファンドの分配対象収益額 E=A+B+C+D               | 147,619,583円 |
| 本ファンドの期末残存口数 F   | 891,693,567口 | 本ファンドの期末残存口数 F                        | 857,175,076口 |
| 10,000口当たり収益 G=E/F×10,000  | 1,719.50円    | 10,000口当たり収益 G=E/F×10,000             | 1,722.14円    |
| 分配対象額  |              | 分配対象額                                 |              |
| 10,000口当たり分配金額 H   | - 円          | 10,000口当たり分配金額 H                      | - 円          |
| 収益分配金金額 I=F×H/10,000   | - 円          | 収益分配金金額 I=F×H/10,000                  | - 円          |
| 2. 追加情報  |              | 2. 追加情報                               |              |
| 2016年1月29日の日本銀行による「マイナス金利付き量的・質的金融緩和」の導入発表後、国内短期金融市場では利回り水準が低下しております。この影響により、利息に相当する額を本ファンドが実質的に負担する場合には受取利息のマイナスまたは支払利息として表示しております。 |              | 同左                                    |              |

## (金融商品に関する注記)

## 金融商品の状況に関する事項

| 項目                   | 第7期<br>自 2020年12月16日<br>至 2021年12月15日   | 第8期<br>自 2021年12月16日<br>至 2022年12月15日   |
|----------------------|---|---|
| 1. 金融商品に対する取組方針      | 本ファンドは、投資信託および投資法人に関する法律第2条第4項に定める証券投資信託であり、信託約款に規定する運用の基本方針に従い、有価証券等の金融商品に対して投資として運用することを目的としております。            | 同左  |
| 2. 金融商品の内容及び商品に係るリスク | 本ファンドが保有する金融商品の種類は、有価証券、コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務であります。これらは、価格変動リスク、金利変動リスクなどの市場リスク、信用リスク及び流動性リスクにさらされております。          | 同左  |
| 3. 金融商品に係るリスクの管理体制   | 常勤役員、審査室長、商品企画部長、運用部長及び運用部マネジャーをもって構成する運用審査会議にて、ファンドのリスク特性分析、パフォーマンスの要因分析の報告及び改善勧告を行い、運用者の意思決定方向を調整・相互確認しております。 | 常勤取締役、最高運用責任者、リスク管理部長、商品企画部長、マーケティング部長、運用部長及び運用部マネジャーをもって構成するリスク管理委員会にて、ファンドのリスク特性分析、パフォーマンスの要因分析の報告及び監視を行い、運用者の意思決定方向を調整・相互確認しております。 |
|                      | <p>市場リスクの管理</p> <p>市場リスクに関しては、資産配分等の状況を常時、分析・把握し、投資方針に沿っているか等の管理を行っております。</p>                                   | 同左  |
|                      | <p>信用リスクの管理</p> <p>信用リスクに関しては、発行体や取引先の財務状況等に関する情報収集・分析を常時、継続し、格付等の信用度に応じた組入制限等の管理を行っております。</p>                  | 同左  |
|                      | <p>流動性リスクの管理</p> <p>流動性リスクに関しては、必要に応じて市場流動性の状況を把握し、取引量や組入比率等の管理を行っております。</p>                                    | 同左  |

## 金融商品の時価等に関する事項

| 項目                        | 第7期  | 第8期           |
|---------------------------|--|---------------|
|                           | 2021年12月15日現在  | 2022年12月15日現在 |
| 1.貸借対照表計上額、時価及びその差額       | 貸借対照表上の金融商品は原則としてすべて時価で評価しているため、貸借対照表計上額と時価との差額はありません。               | 同左            |
| 2.時価の算定方法                 | 投資信託受益証券<br>(重要な会計方針に係る事項に関する注記)に記載しております。                           | 同左            |
|                           | 上記以外の金融商品<br>これらの商品は短期間で決済されるため、帳簿価額は時価と近似していることから、当該帳簿価額を時価としております。 | 同左            |
| 3.金融商品の時価等に関する事項についての補足説明 | 金融商品の時価の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。     | 同左            |

## (有価証券に関する注記)

## 売買目的有価証券

| 種類       | 第7期                            | 第8期                            |
|----------|--------------------------------|--------------------------------|
|          | 自 2020年12月16日<br>至 2021年12月15日 | 自 2021年12月16日<br>至 2022年12月15日 |
|          | 最終の計算期間の損益に含まれた評価差額<br>(円)     | 最終の計算期間の損益に含まれた評価差額<br>(円)     |
| 投資信託受益証券 | 47,116,663                     | 116,604,402                    |
| 合計       | 47,116,663                     | 116,604,402                    |

## (デリバティブ取引等に関する注記)

## 取引の時価等に関する事項

該当事項はありません。

## (関連当事者との取引に関する注記)

| 第7期                            | 第8期                            |
|--------------------------------|--------------------------------|
| 自 2020年12月16日<br>至 2021年12月15日 | 自 2021年12月16日<br>至 2022年12月15日 |
| 該当事項はありません。                    | 該当事項はありません。                    |

## (その他の注記)

## 本ファンドの当該計算期間における元本額の変動

| 項目             | 第7期                            | 第8期                            |
|----------------|--------------------------------|--------------------------------|
|                | 自 2020年12月16日<br>至 2021年12月15日 | 自 2021年12月16日<br>至 2022年12月15日 |
| 投資信託財産に係る元本の状況 |                                |                                |
| 期首元本額          | 1,023,656,353円                 | 891,693,567円                   |
| 期中追加設定元本額      | 35,246,118円                    | 28,523,997円                    |
| 期中一部解約元本額      | 167,208,904円                   | 63,042,488円                    |

## (4) 【附属明細表】

## 第1 有価証券明細表

## (1) 株式

該当事項はありません。

## (2) 株式以外の有価証券

| 通貨    | 種類       | 銘柄  | 券面総額(口) | 評価額                           | 備考 |
|-------|----------|---|---------|-------------------------------|----|
| 日本円   | 投資信託受益証券 | ISHARES CORE TOPIX ETF                        | 16,394  | 33,296,214                    |    |
|       |          | NEXT FUNDS JP BD NOMUR A - BPI                | 143,250 | 136,015,875                   |    |
|       |          | PIMCO Bermuda Income Fund AX                  | 30,015  | 338,269,050                   |    |
| 日本円合計 |          |   | 189,659 | 507,581,139                   |    |
| 米ドル   | 投資信託受益証券 | abrdrn Physical Gold Shares ETF               | 30,297  | 524,138.10                    |    |
|       |          | SCHWAB U.S. LARGE-CAP GROWTH                  | 19,532  | 1,156,294.40                  |    |
|       |          | SPDR PORTFOLIO DEVELOPED WORLD EX-US ETF      | 22,474  | 695,345.56                    |    |
|       |          | SPDR PORTFOLIO S&P EMERGING MARKETS ETF       | 4,033   | 137,726.95                    |    |
|       |          | VANGUARD EMERGING MARKETS GOVERNMENT BOND ETF | 2,770   | 174,011.40                    |    |
|       |          | VANGUARD TOTAL INTL BOND ETF                  | 9,881   | 484,761.86                    |    |
| 米ドル合計 |          |   | 88,987  | 3,172,278.27<br>(429,780,260) |    |
| 合計    |          |   |         | 937,361,399<br>(429,780,260)  |    |

(注1)通貨種類毎の小計欄の( )内は、邦貨換算額(単位:円)であります。

(注2)合計金額欄の( )内は、外貨建有価証券に係わるもので、内書であります。

## 外貨建有価証券の内訳

| 種類  | 銘柄数          | 組入投資信託<br>受益証券<br>時価比率 | 合計金額に<br>対する比率 |
|-----|--------------|------------------------|----------------|
| 米ドル | 投資信託受益証券 6銘柄 | 44.9%                  | 45.9%          |

## 第2 信用取引契約残高明細表

該当事項はありません。

## 第3 デリバティブ取引及び為替予約取引の契約額等及び時価の状況表

該当事項はありません。

## 【SBIグローバル・ラップファンド（積極型）】

## （１）【貸借対照表】

（単位：円）

|                 | 第7期<br>2021年12月15日現在 | 第8期<br>2022年12月15日現在 |
|-----------------|----------------------|----------------------|
| <b>資産の部</b>     |                      |                      |
| 流動資産            |                      |                      |
| 預金              | 1,376,414            | 1,338,058            |
| コール・ローン         | 113,418,039          | 104,167,682          |
| 投資信託受益証券        | 2,702,191,305        | 2,512,453,137        |
| 未収配当金           | 3,135,991            | -                    |
| 流動資産合計          | 2,820,121,749        | 2,617,958,877        |
| 資産合計            | 2,820,121,749        | 2,617,958,877        |
| <b>負債の部</b>     |                      |                      |
| 流動負債            |                      |                      |
| 未払解約金           | 3,896,651            | 3,495,633            |
| 未払受託者報酬         | 385,373              | 363,540              |
| 未払委託者報酬         | 18,883,419           | 17,813,215           |
| 未払利息            | 310                  | 285                  |
| その他未払費用         | 456,940              | 522,940              |
| 流動負債合計          | 23,622,693           | 22,195,613           |
| 負債合計            | 23,622,693           | 22,195,613           |
| <b>純資産の部</b>    |                      |                      |
| 元本等             |                      |                      |
| 元本              | 2,035,233,975        | 1,952,843,134        |
| 剰余金             |                      |                      |
| 期末剰余金又は期末欠損金（ ） | 761,265,081          | 642,920,130          |
| 元本等合計           | 2,796,499,056        | 2,595,763,264        |
| 純資産合計           | 2,796,499,056        | 2,595,763,264        |
| 負債純資産合計         | 2,820,121,749        | 2,617,958,877        |

## （２）【損益及び剰余金計算書】

（単位：円）

|   | 第7期 |                              | 第8期 |                              |
|---|-----|------------------------------|-----|------------------------------|
|   | 自   | 2020年12月16日<br>至 2021年12月15日 | 自   | 2021年12月16日<br>至 2022年12月15日 |
| <b>営業収益</b>                               |     |                              |     |                              |
| 受取配当金                                     |     | 23,815,612                   |     | 34,770,223                   |
| 受取利息                                      |     | -                            |     | 46,970                       |
| 有価証券売買等損益                                 |     | 286,581,143                  |     | 446,615,021                  |
| 為替差損益                                     |     | 151,573,456                  |     | 360,590,222                  |
| その他収益                                     |     | 129,857                      |     | 603,397                      |
| 営業収益合計                                    |     | 462,100,068                  |     | 50,604,209                   |
| <b>営業費用</b>                               |     |                              |     |                              |
| 支払利息                                      |     | 112,140                      |     | 104,318                      |
| 受託者報酬                                     |     | 752,327                      |     | 731,779                      |
| 委託者報酬                                     |     | 36,864,233                   |     | 35,856,888                   |
| その他費用                                     |     | 1,467,233                    |     | 1,757,573                    |
| 営業費用合計                                    |     | 39,195,933                   |     | 38,450,558                   |
| 営業利益又は営業損失（ ）                             |     | 422,904,135                  |     | 89,054,767                   |
| 経常利益又は経常損失（ ）                             |     | 422,904,135                  |     | 89,054,767                   |
| 当期純利益又は当期純損失（ ）                           |     | 422,904,135                  |     | 89,054,767                   |
| 一部解約に伴う当期純利益金額の分配額又は一部解約に伴う当期純損失金額の分配額（ ） |     | 32,122,806                   |     | 4,539,363                    |
| 期首剰余金又は期首欠損金（ ）                           |     | 402,818,954                  |     | 761,265,081                  |
| 剰余金増加額又は欠損金減少額                            |     | 32,589,690                   |     | 28,661,028                   |
| 当期追加信託に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額                   |     | 32,589,690                   |     | 28,661,028                   |
| 剰余金減少額又は欠損金増加額                            |     | 64,924,892                   |     | 62,490,575                   |
| 当期一部解約に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額                   |     | 64,924,892                   |     | 62,490,575                   |
| 分配金                                       |     | -                            |     | -                            |
| 期末剰余金又は期末欠損金（ ）                           |     | 761,265,081                  |     | 642,920,130                  |

## (3)【注記表】

## (重要な会計方針に係る事項に関する注記)

|                        |   |
|------------------------|---|
| 1. 有価証券の評価基準及び評価方法     | 投資信託受益証券<br>移動平均法に基づき、計算期間末日の基準価額で評価しております。   |
| 2. 外貨建資産・負債の本邦通貨への換算基準 | 信託財産に属する外貨建資産・負債の円換算は、原則として、わが国における計算日の対顧客電信売買相場の仲値によって計算しております。  |
| 3. その他                 | 外貨建資産等の会計処理<br>外貨建資産等については、投資信託財産の計算に関する規則第60条の規定に基づき、通貨の種類ごとに勘定を設けて、邦貨建資産等と区別する方法を採用しております。従って、外貨の売買については、同規則第61条の規定により処理し、為替差損益を算定しております。 |

## (貸借対照表に関する注記)

| 項目                               | 第7期<br>2021年12月15日現在 | 第8期<br>2022年12月15日現在 |
|----------------------------------|----------------------|----------------------|
| 1. 当該計算期間の末日における受益権の総数           | 2,035,233,975口       | 1,952,843,134口       |
| 2. 1口当たり純資産額<br>(10,000口当たり純資産額) | 1.3740円<br>(13,740円) | 1.3292円<br>(13,292円) |

## (損益及び剰余金計算書に関する注記)

| 第7期<br>自 2020年12月16日<br>至 2021年12月15日  | 第8期<br>自 2021年12月16日<br>至 2022年12月15日 |
|--|---------------------------------------|
| 1. 分配金の計算過程  | 1. 分配金の計算過程                           |
| 費用控除後の配当等 A 20,755,534円  | 費用控除後の配当等 A - 円                       |
| 収益額  | 収益額                                   |
| 費用控除後・繰越欠 B 370,025,795円   | 費用控除後・繰越欠 B - 円                       |
| 損金補填後の有価証券等損益額   | 損金補填後の有価証券等損益額                        |
| 収益調整金額 C 64,672,796円   | 収益調整金額 C 83,621,631円                  |
| 分配準備積立金額 D 305,810,956円  | 分配準備積立金額 D 640,479,190円               |
| 本ファンドの分配対 E=A+B+C+D 761,265,081円   | 本ファンドの分配対 E=A+B+C+D 724,100,821円      |
| 象収益額   | 象収益額                                  |
| 本ファンドの期末残 F 2,035,233,975口   | 本ファンドの期末残 F 1,952,843,134口            |
| 存口数  | 存口数                                   |
| 10,000口当たり収益 G=E/F×10,000 3,740.39円  | 10,000口当たり収益 G=E/F×10,000 3,707.92円   |
| 分配対象額  | 分配対象額                                 |
| 10,000口当たり分配 H - 円   | 10,000口当たり分配 H - 円                    |
| 金額   | 金額                                    |
| 収益分配金金額 I=F×H/10,000 - 円   | 収益分配金金額 I=F×H/10,000 - 円              |
| 2. 追加情報  | 2. 追加情報                               |
| 2016年1月29日の日本銀行による「マイナス金利付き量的・質的金融緩和」の導入発表後、国内短期金融市場では利回り水準が低下しております。この影響により、利息に相当する額を本ファンドが実質的に負担する場合には受取利息のマイナスまたは支払利息として表示しております。 | 同左                                    |



## （金融商品に関する注記）

## 金融商品の状況に関する事項

| 項目                   | 第7期<br>自 2020年12月16日<br>至 2021年12月15日  | 第8期<br>自 2021年12月16日<br>至 2022年12月15日  |
|----------------------|--|--|
| 1. 金融商品に対する取組方針      | 本ファンドは、投資信託および投資法人に関する法律第2条第4項に定める証券投資信託であり、信託約款に規定する運用の基本方針に従い、有価証券等の金融商品に対して投資として運用することを目的としております。   | 同左   |
| 2. 金融商品の内容及び商品に係るリスク | 本ファンドが保有する金融商品の種類は、有価証券、コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務であります。これらは、価格変動リスク、金利変動リスクなどの市場リスク、信用リスク及び流動性リスクにさらされております。   | 同左   |
| 3. 金融商品に係るリスクの管理体制   | <p>常勤役員、審査室長、商品企画部長、運用部長及び運用部マネジャーをもって構成する運用考査会議にて、ファンドのリスク特性分析、パフォーマンスの要因分析の報告及び改善勧告を行い、運用者の意思決定方向を調整・相互確認しております。</p> <p>市場リスクの管理<br/>市場リスクに関しては、資産配分等の状況を常時、分析・把握し、投資方針に沿っているか等の管理を行なっております。</p> <p>信用リスクの管理<br/>信用リスクに関しては、発行体や取引先の財務状況等に関する情報収集・分析を常時、継続し、格付等の信用度に応じた組入制限等の管理を行なっております。</p> <p>流動性リスクの管理<br/>流動性リスクに関しては、必要に応じて市場流動性の状況を把握し、取引量や組入比率等の管理を行なっております。</p> | <p>常勤取締役、最高運用責任者、リスク管理部長、商品企画部長、マーケティング部長、運用部長及び運用部マネジャーをもって構成するリスク管理委員会にて、ファンドのリスク特性分析、パフォーマンスの要因分析の報告及び監視を行い、運用者の意思決定方向を調整・相互確認しております。</p> <p>同左</p> <p>同左</p> <p>同左</p> |

## 金融商品の時価等に関する事項

| 項目                        | 第7期<br>2021年12月15日現在   | 第8期<br>2022年12月15日現在 |
|---------------------------|--|----------------------|
| 1.貸借対照表計上額、時価及びその差額       | 貸借対照表上の金融商品は原則としてすべて時価で評価しているため、貸借対照表計上額と時価との差額はありません。   | 同左                   |
| 2.時価の算定方法                 | 投資信託受益証券<br>(重要な会計方針に係る事項に関する注記)に記載しております。<br>上記以外の金融商品<br>これらの商品は短期間で決済されるため、帳簿価額は時価と近似していることから、当該帳簿価額を時価としております。 | 同左<br><br>同左         |
| 3.金融商品の時価等に関する事項についての補足説明 | 金融商品の時価の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。   | 同左                   |

## (有価証券に関する注記)

## 売買目的有価証券

| 種類       | 第7期<br>自 2020年12月16日<br>至 2021年12月15日 | 第8期<br>自 2021年12月16日<br>至 2022年12月15日 |
|----------|---------------------------------------|---------------------------------------|
|          | 最終の計算期間の損益に含まれた評価差額<br>(円)            | 最終の計算期間の損益に含まれた評価差額<br>(円)            |
| 投資信託受益証券 | 205,435,079                           | 405,590,950                           |
| 合計       | 205,435,079                           | 405,590,950                           |

## (デリバティブ取引等に関する注記)

## 取引の時価等に関する事項

該当事項はありません。

## (関連当事者との取引に関する注記)

| 第7期<br>自 2020年12月16日<br>至 2021年12月15日 | 第8期<br>自 2021年12月16日<br>至 2022年12月15日 |
|---------------------------------------|---------------------------------------|
| 該当事項はありません。                           | 該当事項はありません。                           |

## (その他の注記)

## 本ファンドの当該計算期間における元本額の変動

| 項目             | 第7期<br>自 2020年12月16日<br>至 2021年12月15日 | 第8期<br>自 2021年12月16日<br>至 2022年12月15日 |
|----------------|---------------------------------------|---------------------------------------|
| 投資信託財産に係る元本の状況 |                                       |                                       |
| 期首元本額          | 2,298,960,633円                        | 2,035,233,975円                        |
| 期中追加設定元本額      | 105,712,316円                          | 85,411,137円                           |
| 期中一部解約元本額      | 369,438,974円                          | 167,801,978円                          |

## (4)【附属明細表】

## 第1 有価証券明細表

## (1)株式

該当事項はありません。

## (2)株式以外の有価証券

| 通貨    | 種類       | 銘柄  | 券面総額(口)    | 評価額                              | 備考 |
|-------|----------|---|------------|----------------------------------|----|
| 日本円   | 投資信託受益証券 | 中小型成長株ファンド ネクストジャパン（適格機関投資家専用）                | 4,223      | 200,347,566                      |    |
|       |          | ISHARES CORE TOPIX ETF                        | 69,259     | 140,665,029                      |    |
|       |          | NEXT FUNDS JP BD NOMURA - BPI                 | 92,950     | 88,256,025                       |    |
|       |          | PIMCO Bermuda Income Fund AX                  | 24,658.93  | 277,906,141                      |    |
| 日本円合計 |          |   | 191,090.93 | 707,174,761                      |    |
| 米ドル   | 投資信託受益証券 | abrdrn Physical Gold Shares ETF               | 65,159     | 1,127,250.70                     |    |
|       |          | FRANKLIN FTSE EUROPE HEDGED                   | 34,342     | 928,195.57                       |    |
|       |          | REAL ESTATE SELECT SECT SPDR                  | 19,207     | 750,801.63                       |    |
|       |          | SCHWAB U.S. LARGE-CAP GROWTH                  | 83,397     | 4,937,102.40                     |    |
|       |          | SPDR PORTFOLIO DEVELOPED WORLD EX-US ETF      | 108,754    | 3,364,848.76                     |    |
|       |          | SPDR PORTFOLIO S&P EMERGING MARKETS ETF       | 8,134      | 277,776.10                       |    |
|       |          | VANGUARD EMERGING MARKETS GOVERNMENT BOND ETF | 7,449      | 467,946.18                       |    |
|       |          | VANGUARD SMALL CAP GROWTH ETF                 | 4,331      | 912,585.01                       |    |
|       |          | VANGUARD TOTAL INTL BOND ETF                  | 11,385     | 558,548.10                       |    |
| 米ドル合計 |          |   | 342,158    | 13,325,054.45<br>(1,805,278,376) |    |
| 合計    |          |   |            | 2,512,453,137<br>(1,805,278,376) |    |

(注1)通貨種類毎の小計欄の( )内は、邦貨換算額（単位：円）であります。

(注2)合計金額欄の( )内は、外貨建有価証券に係わるもので、内書であります。

## 外貨建有価証券の内訳

| 種類  | 銘柄数          | 組入投資信託<br>受益証券<br>時価比率 | 合計金額に<br>対する比率 |
|-----|--------------|------------------------|----------------|
| 米ドル | 投資信託受益証券 9銘柄 | 69.5%                  | 71.9%          |

## 第2 信用取引契約残高明細表

該当事項はありません。

## 第3 デリバティブ取引及び為替予約取引の契約額等及び時価の状況表

該当事項はありません。

SBIグローバル・ラップファンド（安定型）

- 1) 本ファンドの中間財務諸表は、「中間財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」（昭和52年大蔵省令第38号）並びに、同規則第38条の3及び同規則第57条の2の規定により、「投資信託財産の計算に関する規則」（平成12年総理府令第133号）に基づいて作成しております。  
なお、中間財務諸表に記載している金額は、円単位で表示しております。
  
- 2) 本ファンドは、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第9期中間計算期間（2022年12月16日から2023年6月15日まで）の中間財務諸表について、監査法人ナカチによる中間監査を受けております。

## 中間財務諸表

## 【SBIグローバル・ラップファンド（安定型）】

## （１）【中間貸借対照表】

（単位：円）

|                 | 第8期<br>2022年12月15日現在 | 第9期中間計算期間<br>2023年 6月15日現在 |
|-----------------|----------------------|----------------------------|
| <b>資産の部</b>     |                      |                            |
| 流動資産            |                      |                            |
| 預金              | 508,700              | 154,266                    |
| コール・ローン         | 28,261,689           | 38,597,589                 |
| 投資信託受益証券        | 937,361,399          | 965,646,625                |
| 流動資産合計          | 966,131,788          | 1,004,398,480              |
| 資産合計            | 966,131,788          | 1,004,398,480              |
| <b>負債の部</b>     |                      |                            |
| 流動負債            |                      |                            |
| 未払解約金           | 953,646              | 72,937                     |
| 未払受託者報酬         | 136,062              | 131,467                    |
| 未払委託者報酬         | 6,667,181            | 6,441,679                  |
| 未払利息            | 77                   | 121                        |
| その他未払費用         | 522,940              | 783,706                    |
| 流動負債合計          | 8,279,906            | 7,429,910                  |
| 負債合計            | 8,279,906            | 7,429,910                  |
| <b>純資産の部</b>    |                      |                            |
| 元本等             |                      |                            |
| 元本              | 857,175,076          | 838,501,496                |
| 剰余金             |                      |                            |
| 中間剰余金又は中間欠損金（ ） | 100,676,806          | 158,467,074                |
| 元本等合計           | 957,851,882          | 996,968,570                |
| 純資産合計           | 957,851,882          | 996,968,570                |
| 負債純資産合計         | 966,131,788          | 1,004,398,480              |

## （２）【中間損益及び剰余金計算書】

（単位：円）

|   | 第8期中間計算期間<br>自 2021年12月16日<br>至 2022年 6月15日 | 第9期中間計算期間<br>自 2022年12月16日<br>至 2023年 6月15日 |
|---|---|---|
| <b>営業収益</b>                               |   |   |
| 受取配当金                                     | 5,383,066                                   | 3,514,216                                   |
| 受取利息                                      | -   | 29,782                                      |
| 有価証券売買等損益                                 | 148,128,233                                 | 49,099,557                                  |
| 為替差損益                                     | 84,477,526                                  | 15,222,012                                  |
| その他収益                                     | 528,034                                     | -   |
| <b>営業収益合計</b>                             | <b>57,739,607</b>                           | <b>67,865,567</b>                           |
| <b>営業費用</b>                               |   |   |
| 支払利息                                      | 14,652                                      | 16,298                                      |
| 受託者報酬                                     | 139,304                                     | 131,467                                     |
| 委託者報酬                                     | 6,825,985                                   | 6,441,679                                   |
| その他費用                                     | 969,181                                     | 834,452                                     |
| <b>営業費用合計</b>                             | <b>7,949,122</b>                            | <b>7,423,896</b>                            |
| 営業利益又は営業損失（ ）                             | 65,688,729                                  | 60,441,671                                  |
| 経常利益又は経常損失（ ）                             | 65,688,729                                  | 60,441,671                                  |
| 中間純利益又は中間純損失（ ）                           | 65,688,729                                  | 60,441,671                                  |
| 一部解約に伴う中間純利益金額の分配額又は一部解約に伴う中間純損失金額の分配額（ ） | 447,061                                     | 583,780                                     |
| 期首剰余金又は期首欠損金（ ）                           | 150,264,316                                 | 100,676,806                                 |
| 剰余金増加額又は欠損金減少額                            | 2,078,608                                   | 1,524,838                                   |
| 中間追加信託に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額                   | 2,078,608                                   | 1,524,838                                   |
| 剰余金減少額又は欠損金増加額                            | 3,515,431                                   | 3,592,461                                   |
| 中間一部解約に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額                   | 3,515,431                                   | 3,592,461                                   |
| 分配金                                       | -   | -   |
| 中間剰余金又は中間欠損金（ ）                           | 83,585,825                                  | 158,467,074                                 |

## (3) 【中間注記表】

## (重要な会計方針に係る事項に関する注記)

|                        |   |
|------------------------|---|
| 1. 有価証券の評価基準及び評価方法     | 投資信託受益証券<br>移動平均法に基づき、中間計算期間末日の基準価額で評価しております。   |
| 2. 外貨建資産・負債の本邦通貨への換算基準 | 信託財産に属する外貨建資産・負債の円換算は、原則として、わが国における計算日の対顧客電信売買相場の仲値によって計算しております。  |
| 3. その他                 | 外貨建資産等の会計処理<br>外貨建資産等については、投資信託財産の計算に関する規則第60条の規定に基づき、通貨の種類ごとに勘定を設けて、邦貨建資産等と区別する方法を採用しております。従って、外貨の売買については、同規則第61条の規定により処理し、為替差損益を算定しております。 |

## (中間貸借対照表に関する注記)

| 項目                               | 第8期<br>2022年12月15日現在 | 第9期中間計算期間<br>2023年 6月15日現在 |
|----------------------------------|----------------------|----------------------------|
| 1. 当該計算期間の末日における受益権の総数           | 857,175,076口         | 838,501,496口               |
| 2. 1口当たり純資産額<br>(10,000口当たり純資産額) | 1.1175円<br>(11,175円) | 1.1890円<br>(11,890円)       |

## (中間損益及び剰余金計算書に関する注記)

第8期中間計算期間（自 2021年12月16日 至 2022年 6月15日）

該当事項はありません。

第9期中間計算期間（自 2022年12月16日 至 2023年 6月15日）

該当事項はありません。

## (金融商品に関する注記)

## 金融商品の時価等に関する事項

| 項目                         | 第8期<br>2022年12月15日現在   | 第9期中間計算期間<br>2023年 6月15日現在                                 |
|----------------------------|--|--|
| 1. 貸借対照表計上額、時価及びその差額       | 貸借対照表上の金融商品は原則としてすべて時価で評価しているため、貸借対照表計上額と時価との差額はありません。   | 中間貸借対照表上の金融商品は原則としてすべて時価で評価しているため、中間貸借対照表計上額と時価との差額はありません。 |
| 2. 時価の算定方法                 | 投資信託受益証券<br>(重要な会計方針に係る事項に関する注記)に記載しております。<br>上記以外の金融商品<br>これらの商品は短期間で決済されるため、帳簿価額は時価と近似していることから、当該帳簿価額を時価としております。 | 同左<br><br>同左   |
| 3. 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明 | 金融商品の時価の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。   | 同左   |

（デリバティブ取引等に関する注記）

取引の時価等に関する事項

該当事項はありません。

（その他の注記）

本ファンドの当該中間計算期間における元本額の変動

| 項目             | 第8期                            | 第9期中間計算期間                      |
|----------------|--------------------------------|--------------------------------|
|                | 自 2021年12月16日<br>至 2022年12月15日 | 自 2022年12月16日<br>至 2023年 6月15日 |
| 投資信託財産に係る元本の状況 |                                |                                |
| 期首元本額          | 891,693,567円                   | 857,175,076円                   |
| 期中追加設定元本額      | 28,523,997円                    | 12,159,679円                    |
| 期中一部解約元本額      | 63,042,488円                    | 30,833,259円                    |



SBIグローバル・ラップファンド(積極型)

- 1) 本ファンドの中間財務諸表は、「中間財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」(昭和52年大蔵省令第38号)並びに、同規則第38条の3及び同規則第57条の2の規定により、「投資信託財産の計算に関する規則」(平成12年総理府令第133号)に基づいて作成しております。  
なお、中間財務諸表に記載している金額は、円単位で表示しております。
  
- 2) 本ファンドは、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第9期中間計算期間(2022年12月16日から2023年6月15日まで)の中間財務諸表について、監査法人ナカチによる中間監査を受けております。

## 【SBIグローバル・ラップファンド（積極型）】

## （１）【中間貸借対照表】

（単位：円）

|                 | 第8期<br>2022年12月15日現在 | 第9期中間計算期間<br>2023年 6月15日現在 |
|-----------------|----------------------|----------------------------|
| <b>資産の部</b>     |                      |                            |
| 流動資産            |                      |                            |
| 預金              | 1,338,058            | 147,415                    |
| コール・ローン         | 104,167,682          | 112,907,541                |
| 投資信託受益証券        | 2,512,453,137        | 2,735,241,736              |
| 流動資産合計          | 2,617,958,877        | 2,848,296,692              |
| 資産合計            | 2,617,958,877        | 2,848,296,692              |
| <b>負債の部</b>     |                      |                            |
| 流動負債            |                      |                            |
| 未払解約金           | 3,495,633            | 1,908,914                  |
| 未払受託者報酬         | 363,540              | 359,072                    |
| 未払委託者報酬         | 17,813,215           | 17,594,535                 |
| 未払利息            | 285                  | 355                        |
| その他未払費用         | 522,940              | 810,183                    |
| 流動負債合計          | 22,195,613           | 20,673,059                 |
| 負債合計            | 22,195,613           | 20,673,059                 |
| <b>純資産の部</b>    |                      |                            |
| 元本等             |                      |                            |
| 元本              | 1,952,843,134        | 1,907,711,494              |
| 剰余金             |                      |                            |
| 中間剰余金又は中間欠損金（ ） | 642,920,130          | 919,912,139                |
| 元本等合計           | 2,595,763,264        | 2,827,623,633              |
| 純資産合計           | 2,595,763,264        | 2,827,623,633              |
| 負債純資産合計         | 2,617,958,877        | 2,848,296,692              |

## （２）【中間損益及び剰余金計算書】

（単位：円）

|   | 第8期中間計算期間<br>自 2021年12月16日<br>至 2022年 6月15日 | 第9期中間計算期間<br>自 2022年12月16日<br>至 2023年 6月15日 |
|---|---|---|
| <b>営業収益</b>                               |   |   |
| 受取配当金                                     | 16,638,871                                  | 23,251,203                                  |
| 受取利息                                      | -   | 294,468                                     |
| 有価証券売買等損益                                 | 547,839,392                                 | 214,843,806                                 |
| 為替差損益                                     | 350,802,158                                 | 63,737,169                                  |
| その他収益                                     | 601,303                                     | 12,006,316                                  |
| <b>営業収益合計</b>                             | <b>179,797,060</b>                          | <b>314,132,962</b>                          |
| <b>営業費用</b>                               |   |   |
| 支払利息                                      | 49,544                                      | 73,622                                      |
| 受託者報酬                                     | 368,239                                     | 359,072                                     |
| 委託者報酬                                     | 18,043,673                                  | 17,594,535                                  |
| その他費用                                     | 1,085,680                                   | 938,871                                     |
| <b>営業費用合計</b>                             | <b>19,547,136</b>                           | <b>18,966,100</b>                           |
| 営業利益又は営業損失（ ）                             | 199,344,196                                 | 295,166,862                                 |
| 経常利益又は経常損失（ ）                             | 199,344,196                                 | 295,166,862                                 |
| 中間純利益又は中間純損失（ ）                           | 199,344,196                                 | 295,166,862                                 |
| 一部解約に伴う中間純利益金額の分配額又は一部解約に伴う中間純損失金額の分配額（ ） | 2,114,549                                   | 4,023,105                                   |
| 期首剰余金又は期首欠損金（ ）                           | 761,265,081                                 | 642,920,130                                 |
| 剰余金増加額又は欠損金減少額                            | 16,169,781                                  | 13,099,848                                  |
| 中間追加信託に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額                   | 16,169,781                                  | 13,099,848                                  |
| 剰余金減少額又は欠損金増加額                            | 36,147,233                                  | 27,251,596                                  |
| 中間一部解約に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額                   | 36,147,233                                  | 27,251,596                                  |
| 分配金                                       | -   | -   |
| 中間剰余金又は中間欠損金（ ）                           | 544,057,982                                 | 919,912,139                                 |

## (3)【中間注記表】

## (重要な会計方針に係る事項に関する注記)

|                        |   |
|------------------------|---|
| 1. 有価証券の評価基準及び評価方法     | 投資信託受益証券<br>移動平均法に基づき、中間計算期間末日の基準価額で評価しております。   |
| 2. 外貨建資産・負債の本邦通貨への換算基準 | 信託財産に属する外貨建資産・負債の円換算は、原則として、わが国における計算日の対顧客電信売買相場の仲値によって計算しております。  |
| 3. その他                 | 外貨建資産等の会計処理<br>外貨建資産等については、投資信託財産の計算に関する規則第60条の規定に基づき、通貨の種類ごとに勘定を設けて、邦貨建資産等と区別する方法を採用しております。従って、外貨の売買については、同規則第61条の規定により処理し、為替差損益を算定しております。 |

## (中間貸借対照表に関する注記)

| 項目                               | 第8期<br>2022年12月15日現在 | 第9期中間計算期間<br>2023年 6月15日現在 |
|----------------------------------|----------------------|----------------------------|
| 1. 当該計算期間の末日における受益権の総数           | 1,952,843,134口       | 1,907,711,494口             |
| 2. 1口当たり純資産額<br>(10,000口当たり純資産額) | 1.3292円<br>(13,292円) | 1.4822円<br>(14,822円)       |

## (中間損益及び剰余金計算書に関する注記)

第8期中間計算期間（自 2021年12月16日 至 2022年 6月15日）

該当事項はありません。

第9期中間計算期間（自 2022年12月16日 至 2023年 6月15日）

該当事項はありません。

## (金融商品に関する注記)

## 金融商品の時価等に関する事項

| 項目                         | 第8期<br>2022年12月15日現在   | 第9期中間計算期間<br>2023年 6月15日現在                                 |
|----------------------------|--|--|
| 1. 貸借対照表計上額、時価及びその差額       | 貸借対照表上の金融商品は原則としてすべて時価で評価しているため、貸借対照表計上額と時価との差額はありません。   | 中間貸借対照表上の金融商品は原則としてすべて時価で評価しているため、中間貸借対照表計上額と時価との差額はありません。 |
| 2. 時価の算定方法                 | 投資信託受益証券<br>(重要な会計方針に係る事項に関する注記)に記載しております。<br>上記以外の金融商品<br>これらの商品は短期間で決済されるため、帳簿価額は時価と近似していることから、当該帳簿価額を時価としております。 | 同左<br><br>同左   |
| 3. 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明 | 金融商品の時価の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。   | 同左   |

（デリバティブ取引等に関する注記）

取引の時価等に関する事項

該当事項はありません。

（その他の注記）

本ファンドの当該中間計算期間における元本額の変動

| 項目             | 第8期                            | 第9期中間計算期間                      |
|----------------|--------------------------------|--------------------------------|
|                | 自 2021年12月16日<br>至 2022年12月15日 | 自 2022年12月16日<br>至 2023年 6月15日 |
| 投資信託財産に係る元本の状況 |                                |                                |
| 期首元本額          | 2,035,233,975円                 | 1,952,843,134円                 |
| 期中追加設定元本額      | 85,411,137円                    | 37,929,536円                    |
| 期中一部解約元本額      | 167,801,978円                   | 83,061,176円                    |

## 2【ファンドの現況】

## 【純資産額計算書】

・ SBIグローバル・ラップファンド（安定型）

2023年6月30日現在

|                |                |
|----------------|----------------|
| 資産総額           | 1,008,615,735円 |
| 負債総額           | 1,397,227円     |
| 純資産総額（ - ）     | 1,007,218,508円 |
| 発行済口数          | 836,739,824口   |
| 1口当たり純資産額（ / ） | 1.2037円        |
| （1万口当たり純資産額）   | （12,037円）      |

・ SBIグローバル・ラップファンド（積極型）

2023年6月30日現在

|                |                |
|----------------|----------------|
| 資産総額           | 2,871,445,095円 |
| 負債総額           | 9,019,526円     |
| 純資産総額（ - ）     | 2,862,425,569円 |
| 発行済口数          | 1,893,832,804口 |
| 1口当たり純資産額（ / ） | 1.5114円        |
| （1万口当たり純資産額）   | （15,114円）      |

## 第4【内国投資信託受益証券事務の概要】

(1) 名義書換についてその手続、取扱場所、取次所、代理人の名称及び住所並びに手数料  
該当事項はありません。

(2) 受益者に対する特典  
該当事項はありません。

(3) 受益権の譲渡

受益権の譲渡制限は設けておりません。

受益者は、その保有する受益権を譲渡する場合には、当該受益者の譲渡の対象とする受益権が記載または記録されている振替口座簿にかかる振替機関等（振替の申請をするもの）とします。

前記の申請のある場合には、振替機関等は、当該譲渡にかかる譲渡人の保有する受益権の口数の減少及び譲受人の保有する受益権の口数の増加につき、その備える振替口座簿に記載または記録するものとし、ただし、前記の振替機関等が振替先口座を開設したものでない場合には、譲受人の振替先口座を開設した他の振替機関等（当該他の振替機関等の上位機関を含みます。）に社振法の規定にしたがい、譲受人の振替先口座に受益権の口数の増加の記載または記録が行われるよう通知するものとし、

前記の振替について、委託会社は、当該受益者の譲渡の対象とする受益権が記載または記録されている振替口座簿にかかる振替機関等と譲受人の振替先口座を開設した振替機関等が異なる場合等において、委託会社が必要と認めるときまたはやむを得ない事情があると判断したときは、振替停止日や振替停止期間を設けることができます。

(4) 受益権の譲渡の対抗要件

受益権の譲渡は、振替口座簿への記載または記録によらなければ、委託会社及び受託会社に対抗することができません。

(5) 受益権の再分割

委託会社は受託会社と協議のうえ、社振法に定めるところにしたがい、一定日現在の受益権を均等に再分割できるものとします。

(6) 償還金

償還金は、償還日において振替機関等の振替口座簿に記載または記録されている受益者(償還日以前において一部解約が行われた受益権にかかる受益者を除きます。また、当該償還日以前に設定された受益権で取得申込代金支払前のため販売会社の名義で記載または記録されている受益権については原則として取得申込者として)に支払います。

(7) 質権口記載または記録の受益権の取扱いについて

振替機関等の振替口座簿の質権口に記載または記録されている受益権にかかる収益分配金の支払い、一部解約の実行の請求の受付、一部解約金及び償還金の支払い等については、信託約款の規定によるほか、民法その他の法令等にしたがって取扱われます。

## 第三部 【委託会社等の情報】

### 第1 【委託会社等の概況】

#### 1 【委託会社等の概況】

資本金の額(2023年6月末日現在)

- ( ) 資本金の額  
委託会社の資本金の額は金4億20万円です。
- ( ) 発行する株式の総数  
委託会社の発行する株式の総数は146万4,000株です。
- ( ) 発行済株式の総数  
委託会社がこれまでに発行した株式の総数は1,408,348株です。
- (iv) 最近5年間ににおける主な資本金の額の増減  
2022年1月31日に資本金を10億5,020万円に増資しました。  
2022年3月23日に資本金を4億20万円に減資しました。  
2023年4月1日に吸収合併に係る資本金4億9,500万円を引き継ぎ、同日に同額を減資しました。

委託会社の機構

#### (i) 会社の意思決定機構

経営の意思決定機関として取締役会をおきます。取締役会は、委託会社の業務執行の基本方針を決定し、取締役の職務を監督します。代表取締役である社長は、委託会社を代表し、全般の業務執行について指揮統括します。取締役は、委嘱された業務の執行にあたり、また、社長に事故有るときにその職務を代行します。委託会社の一切の活動における法令遵守に関して管理監督する機関としてコンプライアンス委員会をおきます。コンプライアンス委員会は、委託会社が法律上・規制上の一切の要件と社内の方針とを遵守するという目的に関し、法律により許可されているすべての権限を行使することができます。監査役は、委託会社の会計監査及び業務監査を行います。

#### ( ) 投資運用の意思決定機構

##### ア) 市場環境分析・企業分析

ファンドマネジャー、アナリストによる市場環境、業種、個別企業などの調査・分析及び基本投資戦略の協議・策定を行います。

##### イ) 投資基本方針の策定

最高運用責任者のもとで開催される「運用会議」において、市場動向・投資行動・市場見通し・投資方針等を策定します。

##### ウ) 運用基本方針の決定

「運用会議」の策定内容を踏まえ、常勤取締役、最高運用責任者、運用部長及び運用部マネジャーをもって構成される「投資戦略委員会」において運用の基本方針が決定されます。

##### エ) 投資銘柄の策定、ポートフォリオの構築

ファンドマネジャーは、この運用の基本方針に沿って、各ファンドの運用計画書を策定し、最高運用責任者の承認後、売買の指図を行います。ただし、未公開株及び組合への投資を行う場合は、それぞれ「未公開株投資委員会」、「組合投資委員会」での承認後、売買の指図等を行います。

##### オ) パフォーマンス分析、リスク分析・評価

ファンドのリスク特性分析、パフォーマンスの要因分析の報告及び監視を行い、運用方針の確認・見直しを行います。

上記体制は、今後、変更となる場合があります。



## 2 【事業の内容及び営業の概況】

「投資信託及び投資法人に関する法律」に定める投資信託委託会社である委託者は、証券投資信託の設定を行うとともに「金融商品取引法」に定める金融商品取引業者としてその運用(投資運用業)を行っています。また「金融商品取引法」に定める投資一任契約に係る業務(投資運用業)、投資助言業務(投資助言・代理業)及び第二種金融商品取引業に係る業務の一部を行っています。

2023年6月末日現在、委託会社が運用を行っている投資信託(マザーファンドは除きます)は以下の通りです。

(2023年6月末日現在)

| ファンドの種類    | 本数  | 純資産総額(百万円) |
|------------|-----|------------|
| 追加型株式投資信託  | 303 | 2,182,344  |
| 単位型株式投資信託  | 609 | 1,754,294  |
| 単位型公社債投資信託 | 77  | 197,322    |
| 合計         | 989 | 4,133,960  |

### 3 【委託会社等の経理状況】

#### (1) 財務諸表の作成方法について

委託会社であるSBIアセットマネジメント株式会社(以下「当社」という)の財務諸表は、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」(昭和38年大蔵省令第59号)ならびに同規則第2条の規定に基づき、「金融商品取引業等に関する内閣府令」(平成19年8月6日内閣府令第52号)により作成しております。

なお、財務諸表の金額については、千円未満の端数を切り捨てて表示しております。

#### (2) 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、当事業年度(2022年4月1日から2023年3月31日まで)の財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる監査を受けております。

## (1) 【貸借対照表】

(単位：千円)

|            | 前事業年度<br>(2022年3月31日) | 当事業年度<br>(2023年3月31日) |
|------------|-----------------------|-----------------------|
| 資産の部       |                       |                       |
| 流動資産       |                       |                       |
| 現金・預金      | 569,638               | 801,610               |
| 関係会社短期貸付金  |                       | 2,900,000             |
| 前払費用       | 22,597                | 47,781                |
| 未収委託者報酬    | 572,712               | 930,483               |
| 未収運用受託報酬   | 6,634                 | 27,192                |
| その他        | 25,626                | 2,35,928              |
| 流動資産合計     | 1,197,210             | 4,742,996             |
| 固定資産       |                       |                       |
| 有形固定資産     |                       |                       |
| 建物         | 12,234                | 1,26,185              |
| 器具備品       | 2,499                 | 1,2,592               |
| 有形固定資産合計   | 14,734                | 28,778                |
| 無形固定資産     |                       |                       |
| 商標権        | 1,203                 | 1,261                 |
| ソフトウェア     | 1,309                 | 61,598                |
| その他        | 67                    | 67                    |
| 無形固定資産合計   | 2,579                 | 62,926                |
| 投資その他の資産   |                       |                       |
| 投資有価証券     | 1,051,219             | 688,191               |
| 関係会社株式     | 22,031                | 22,031                |
| 繰延税金資産     | 170,818               | 115,138               |
| その他        | 11,469                | 30,247                |
| 投資その他の資産合計 | 1,255,540             | 855,609               |
| 固定資産合計     | 1,272,854             | 947,314               |
| 繰延資産       |                       |                       |
| 株式交付費      | 4,170                 | 2,654                 |
| 繰延資産合計     | 4,170                 | 2,654                 |
| 資産合計       | 2,474,235             | 2,5,692,964           |

(単位：千円)

|              | 前事業年度<br>(2022年3月31日) | 当事業年度<br>(2023年3月31日) |
|--------------|-----------------------|-----------------------|
| 負債の部         |                       |                       |
| 流動負債         |                       |                       |
| 預り金          | 1,926                 | 118,440               |
| 未払金          | 384,755               | 647,383               |
| 未払手数料        | 331,045               | 446,336               |
| その他未払金       | 53,709                | 201,047               |
| 未払法人税等       | 105,725               | 159,134               |
| 未払消費税等       | 26,630                | 22,860                |
| 流動負債合計       | 519,036               | 947,819               |
| 負債合計         | 519,036               | 947,819               |
| 純資産の部        |                       |                       |
| 株主資本         |                       |                       |
| 資本金          | 400,200               | 400,200               |
| 資本剰余金        |                       |                       |
| その他資本剰余金     | 1,350,000             | 3,352,137             |
| 資本剰余金合計      | 1,350,000             | 3,352,137             |
| 利益剰余金        |                       |                       |
| 利益準備金        | 100,050               | 100,050               |
| その他利益剰余金     |                       |                       |
| 繰越利益剰余金      | 240,094               | 853,521               |
| 利益剰余金合計      | 340,144               | 953,571               |
| 自己株式         |                       | 63                    |
| 株主資本合計       | 2,090,344             | 4,705,845             |
| 評価・換算差額等     |                       |                       |
| その他有価証券評価差額金 | 135,145               | 39,299                |
| 評価・換算差額等合計   | 135,145               | 39,299                |
| 純資産合計        | 1,955,198             | 4,745,145             |
| 負債純資産合計      | 2,474,235             | 5,692,964             |

## (2) 【損益計算書】

(単位：千円)

|           | 前事業年度<br>(自 2021年 4月 1日<br>至 2022年 3月31日) | 当事業年度<br>(自 2022年 4月 1日<br>至 2023年 3月31日) |
|-----------|---|---|
| 営業収益      |   |   |
| 委託者報酬     | 2,468,525                                 | 3,810,647                                 |
| 運用受託報酬    | 10,623                                    | 77,528                                    |
| 投資助言報酬    |   | 20  |
| 営業収益計     | 2,479,148                                 | 3,888,196                                 |
| 営業費用      |   |   |
| 支払手数料     | 1,557,540                                 | 1,786,085                                 |
| 広告宣伝費     | 7,417                                     | 4,516                                     |
| 調査費       | 38,368                                    | 129,242                                   |
| 委託計算費     | 147,361                                   | 403,078                                   |
| 営業雑経費     | 24,534                                    | 33,949                                    |
| 通信費       | 727                                       | 715                                       |
| 印刷費       | 21,008                                    | 25,129                                    |
| 協会費       | 2,630                                     | 8,050                                     |
| 諸会費       | 167                                       | 54  |
| 営業費用計     | 1,775,222                                 | 2,356,872                                 |
| 一般管理費     |   |   |
| 給料        | 123,426                                   | 268,902                                   |
| 役員報酬      | 23,837                                    | 41,915                                    |
| 給料・手当     | 99,438                                    | 215,025                                   |
| 賞与        | 150                                       | 11,961                                    |
| 福利厚生費     | 17,716                                    | 33,604                                    |
| 交際費       |   | 15  |
| 寄付金       | 4,402                                     | 2,352                                     |
| 旅費交通費     | 98  | 1,182                                     |
| 租税公課      | 17,336                                    | 28,732                                    |
| 不動産賃借料    | 10,160                                    | 20,989                                    |
| 退職給付費用    | 2,820                                     | 5,529                                     |
| 固定資産減価償却費 | 5,219                                     | 10,208                                    |
| 事務委託費     | 12,484                                    | 54,710                                    |
| 消耗品費      | 767                                       | 2,298                                     |
| 諸経費       | 13,098                                    | 18,323                                    |
| 一般管理費計    | 207,532                                   | 446,850                                   |
| 営業利益      | 496,394                                   | 1,084,473                                 |
| 営業外収益     |   |   |
| 受取利息      | 4   | 21,136                                    |
| 受取配当金     | 32,400                                    | 80,435                                    |
| 雑収入       | 175                                       | 847                                       |
| 営業外収益計    | 32,579                                    | 102,419                                   |
| 営業外費用     |   |   |
| 為替差損      | 69  | 121                                       |
| 株式交付費償却   | 379                                       | 1,516                                     |
| 雑損失       | 36  |   |
| 営業外費用計    | 485                                       | 1,638                                     |
| 経常利益      | 528,489                                   | 1,185,254                                 |
| 特別損失      |   |   |
| 投資有価証券売却損 |   | 297,096                                   |
| 投資有価証券評価損 | 326,300                                   | 2,562                                     |
| 特別損失合計    | 326,300                                   | 299,658                                   |

|              |         |         |
|--------------|---------|---------|
| 税引前当期純利益     | 202,189 | 885,596 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 163,769 | 276,030 |
| 法人税等調整額      | 100,993 | 3,861   |
| 法人税等合計       | 62,775  | 272,169 |
| 当期純利益        | 139,413 | 613,427 |

## (3) 【株主資本等変動計算書】

前事業年度（自 2021年4月1日 至 2022年3月31日）

（単位：千円）

|                         | 株主資本    |           |                  |                 |           |                             |             | 株主資本<br>合計 |
|-------------------------|---------|-----------|------------------|-----------------|-----------|-----------------------------|-------------|------------|
|                         | 資本金     | 資本剰余金     |                  |                 | 利益剰余金     |                             |             |            |
|                         |         | 資本<br>準備金 | その他<br>資本<br>剰余金 | 資本<br>剰余金<br>合計 | 利益<br>準備金 | その他利益<br>剰余金<br>繰越利益<br>剰余金 | 利益剰余金<br>合計 |            |
| 当期首残高                   | 400,200 |           |                  |                 | 30,012    | 2,310,952                   | 2,340,964   | 2,741,164  |
| 当期変動額                   |         |           |                  |                 |           |                             |             |            |
| 合併による増加                 |         |           | 50,000           | 50,000          |           | 256,295                     | 256,295     | 306,295    |
| 準備金の積立                  |         |           |                  |                 | 70,038    | 70,038                      |             |            |
| 剰余金の配当                  |         |           |                  |                 |           | 2,396,530                   | 2,396,530   | 2,396,530  |
| 新株の発行                   | 650,000 | 650,000   |                  | 650,000         |           |                             |             | 1,300,000  |
| 資本金から剰余金への振替            | 650,000 |           | 650,000          | 650,000         |           |                             |             |            |
| 準備金から剰余金への振替            |         | 650,000   | 650,000          |                 |           |                             |             |            |
| 当期純利益                   |         |           |                  |                 |           | 139,413                     | 139,413     | 139,413    |
| 株主資本以外の項目の<br>当期変動額（純額） |         |           |                  |                 |           |                             |             |            |
| 当期変動額合計                 |         |           | 1,350,000        | 1,350,000       | 70,038    | 2,070,858                   | 2,000,820   | 650,820    |
| 当期末残高                   | 400,200 |           | 1,350,000        | 1,350,000       | 100,050   | 240,094                     | 340,144     | 2,090,344  |

|                         | 評価・換算差額等         |                | 純資産合計     |
|-------------------------|------------------|----------------|-----------|
|                         | その他有価証券<br>評価差額金 | 評価・換算差額等<br>合計 |           |
| 当期首残高                   | 295,400          | 295,400        | 2,445,764 |
| 当期変動額                   |                  |                |           |
| 合併による増加                 |                  |                | 306,295   |
| 準備金の積立                  |                  |                |           |
| 剰余金の配当                  |                  |                | 2,396,530 |
| 新株の発行                   |                  |                | 1,300,000 |
| 資本金から剰余金への振替            |                  |                |           |
| 準備金から剰余金への振替            |                  |                |           |
| 当期純利益                   |                  |                | 139,413   |
| 株主資本以外の項目の<br>当期変動額（純額） | 160,254          | 160,254        | 160,254   |
| 当期変動額合計                 | 160,254          | 160,254        | 490,565   |
| 当期末残高                   | 135,145          | 135,145        | 1,955,198 |

当事業年度（自 2022年4月1日 至 2023年3月31日）

（単位：千円）

|                         | 株主資本    |                  |                 |           |                             |             |      | 株主資本<br>合計 |
|-------------------------|---------|------------------|-----------------|-----------|-----------------------------|-------------|------|------------|
|                         | 資本金     | 資本剰余金            |                 | 利益剰余金     |                             |             | 自己株式 |            |
|                         |         | その他<br>資本<br>剰余金 | 資本<br>剰余金<br>合計 | 利益<br>準備金 | その他利益<br>剰余金<br>繰越利益<br>剰余金 | 利益剰余金<br>合計 |      |            |
| 当期首残高                   | 400,200 | 1,350,000        | 1,350,000       | 100,050   | 240,094                     | 340,144     |      | 2,090,344  |
| 当期変動額                   |         |                  |                 |           |                             |             |      |            |
| 合併による増加                 |         | 2,002,137        | 2,002,137       |           |                             |             |      | 2,002,137  |
| 当期純利益                   |         |                  |                 |           | 613,427                     | 613,427     |      | 613,427    |
| 自己株式の取得                 |         |                  |                 |           |                             |             | 63   | 63         |
| 株主資本以外の項目の<br>当期変動額（純額） |         |                  |                 |           |                             |             |      |            |
| 当期変動額合計                 |         | 2,002,137        | 2,002,137       |           | 613,427                     | 613,427     | 63   | 2,615,501  |
| 当期末残高                   | 400,200 | 3,352,137        | 3,352,137       | 100,050   | 853,521                     | 953,571     | 63   | 4,705,845  |

|                         | 評価・換算差額等         |                | 純資産合計     |
|-------------------------|------------------|----------------|-----------|
|                         | その他有価証券<br>評価差額金 | 評価・換算差額等<br>合計 |           |
| 当期首残高                   | 135,145          | 135,145        | 1,955,198 |
| 当期変動額                   |                  |                |           |
| 合併による増加                 |                  |                | 2,002,137 |
| 当期純利益                   |                  |                | 613,427   |
| 自己株式の取得                 |                  |                | 63        |
| 株主資本以外の項目の<br>当期変動額（純額） | 174,445          | 174,445        | 174,445   |
| 当期変動額合計                 | 174,445          | 174,445        | 2,789,946 |
| 当期末残高                   | 39,299           | 39,299         | 4,745,145 |



## 【注記事項】

## （重要な会計方針）

## 1．有価証券の評価基準及び評価方法

## (1)子会社株式

移動平均法による原価法を採用しております。

## (2)その他有価証券

市場価格のない株式等以外のもの

時価法（評価差額は全部純資産直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定）を採用しております。

## 2．デリバティブの評価基準及び評価方法

時価法を採用しております。

## 3．固定資産の減価償却の方法

## 有形固定資産

主として定額法を採用しております。なお主な耐用年数は、建物が8-18年、器具備品が3-15年であります。

## 無形固定資産

定額法を採用しております。自社利用のソフトウェアについては社内における利用可能期間（5年）に基づく定額法によっております。

## 4．繰延資産の処理方法

## 株式交付費

3年間で均等償却しております。

## 5．収益及び費用の計上基準

当社の事業である投資運用業における主な履行義務の内容及び当該履行義務を充足する通常の時点（収益を認識する通常の時点）は、以下のとおりであります。

|        |  |
|--------|--|
| 委託者報酬  | 委託者報酬は投資信託約款に基づく信託報酬として、投資信託約款に基づく公募・私募の投資信託財産の運用指図を行うことが履行義務であり、投資信託約款に基づく信託報酬で、ファンド設定以降、日々の純資産残高に一定率を乗じて算出された額が、当該ファンドの運用期間に渡り収益として認識されます。 |
| 運用受託報酬 | 運用受託報酬は投資家である対象顧客と投資一任契約を締結し、資産の運用を行うことが主な履行義務の内容であり、投資一任契約ごとに定められた運用対象資産、残高、期間、料率等の条件に基づき算出された額が、運用を受託した期間に渡り収益として認識されません。                  |
| 投資助言報酬 | 投資助言報酬は対象顧客と投資顧問（助言）契約を締結し、当該顧客の資産運用に係る助言を行うことが主な履行義務の内容であり、投資助言（顧問）契約ごとに定められた助言対象資産、残高、期間、料率等の条件に基づき算出された額が、助言期間に渡り収益として認識されます。             |

## (会計方針の変更)

## (時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。）を当事業年度の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27 - 2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。これによる財務諸表に与える影響はありません。

なお、「金融商品関係」注記の金融商品の時価のレベルごとの内訳等に関する事項における投資信託に関する注記事項においては、時価算定会計基準第27 - 3項に従って、前事業年度に係るものについては記載しておりません。

## (貸借対照表関係)

| 前事業年度<br>(2022年3月31日)       | 当事業年度<br>(2023年3月31日)              |
|-----------------------------|------------------------------------|
| 有形固定資産の減価償却累計額は以下のとおりであります。 | 1 有形固定資産の減価償却累計額は以下のとおりであります。      |
| 建物 4,972千円                  | 建物 9,215千円                         |
| 器具備品 5,714千円                | 器具備品 5,643千円                       |
| 合計 10,686千円                 | 合計 14,859千円                        |
|                             | 2 関係会社との取引に基づいて発生した債権は以下のとおりであります。 |
|                             | 関係会社短期貸付金 2,900,000千円              |
|                             | その他流動資産 23,099千円                   |
|                             | 合計 2,923,099千円                     |

## (損益計算書関係)

## 顧客との契約から生じる収益

営業収益は全て顧客との契約から生じる収益であり、その他の収益に該当するものではありません。

## (株主資本等変動計算書関係)

前事業年度（自 2021年4月1日 至 2022年3月31日）

## 1. 発行済株式に関する事項

| 株式の種類   | 当事業年度期首株式数 | 増加     | 減少 | 当事業年度末株式数 |
|---------|------------|--------|----|-----------|
| 普通株式(株) | 36,600     | 20,800 |    | 57,400    |

(注)普通株式の増加20,800株は、第三者割当による新株の発行による増加であります。

## 2. 自己株式に関する事項

該当事項はありません。

## 3. 新株予約権等に関する事項

該当事項はありません。

## 4. 配当に関する事項

## (1)配当金支払額

| (決議)               | 株式の種類 | 配当金の総額<br>(千円) | 1株当たり<br>配当額(円) | 基準日        | 効力発生日      |
|--------------------|-------|----------------|-----------------|------------|------------|
| 2021年8月25日<br>株主総会 | 普通株式  | 1,090,680      | 29,800          | 2021年8月25日 | 2021年8月26日 |
| 2022年2月14日<br>株主総会 | 普通株式  | 1,305,850      | 22,750          | 2022年2月14日 | 2022年2月15日 |

## (2)基準日が当事業年度に属する配当のうち、配当の効力発生日が翌事業年度となるもの

該当事項はありません。

当事業年度（自 2022年4月1日 至 2023年3月31日）

## 1. 発行済株式に関する事項

| 株式の種類   | 当事業年度期首株式数 | 増加        | 減少 | 当事業年度末株式数 |
|---------|------------|-----------|----|-----------|
| 普通株式(株) | 57,400     | 1,042,011 |    | 1,099,411 |

(注1)当社は、2022年7月28日付で普通株式1株につき10株の割合で株式分割を行っております。

これに伴い、普通株式の発行済株式総数は、516,600株増加いたしました。

(注2)2022年8月1日を効力発生とする吸収合併に伴い、結合当事企業の既存株主に対し、存続会社である当社普通株式の割当交付を行ったことにより、525,411株増加しております。

## 2. 自己株式に関する事項

| 株式の種類   | 当事業年度期首株式数 | 増加 | 減少 | 当事業年度末株式数 |
|---------|------------|----|----|-----------|
| 普通株式(株) |            | 18 |    | 18        |

(注)普通株式の自己株式の株式数の増加18株は、単元未満株式の買取りによる増加18株であります。

## 3. 新株予約権等に関する事項

該当事項はありません。

#### 4. 配当に関する事項

該当事項はありません。

##### （金融商品関係）

前事業年度（自 2021年4月1日 至 2022年3月31日）

##### 1. 金融商品の状況に関する事項

###### (1) 金融商品に対する取組方針

当社は、自社が運用する投資信託の商品性維持を目的として、当該投資信託を投資有価証券として保有しております。また、デリバティブ取引については、保有する特定の投資有価証券の価格変動リスクを低減させる目的で利用しており、投機的な取引は行わない方針であります。その他、一時的な余剰資金の運用については短期的な預金等に限定しております。なお、事業及び設備投資に必要な自己資金を有しているため、外部からの資金調達の計画はありません。

###### (2) 金融商品の内容及びそのリスク

営業債権である未収委託者報酬及び未収運用受託報酬は、顧客の信用リスクに晒されておりますが、これらの債権は、受託銀行にて分別管理されている信託財産及び年金資産より生じる信託報酬債権であり、その信用リスクは軽微であります。投資有価証券はファンドの自己設定に関連する投資信託であり、基準価額の変動リスクに晒されております。この自己設定投資信託の一部につきましては、指数先物によるデリバティブ取引にてリスクの低減を図っております。営業債務である未払手数料等は、1年以内の支払期日であります。

###### (3) 金融商品に係るリスク管理体制

信用リスク（取引先の契約不履行等に係るリスク）の管理

営業債権については経理規程に従い、取引先ごとに期日及び残高を管理しております。

市場リスク（価格、為替や金利等の変動リスク）の管理

投資有価証券については、定期的に基準価額を把握することにより管理しております。

デリバティブ取引は、取引執行部門とヘッジ有効性の評価部門を分離し、日々評価額及び評価損益の管理を行っております。

###### (4) 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明

金融商品の時価の算定においては変動要因を織り込んでいるため、異なる前提条件等を採用することにより、当該価額が変動することもあります。また、「デリバティブ取引関係」注記におけるデリバティブ取引に関する契約額等については、その金額自体がデリバティブ取引に係る市場リスクを示すものではありません。

## 2. 金融商品の時価等に関する事項

2022年3月31日における貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりであります。

前事業年度（2022年3月31日）

|              | 貸借対照表<br>計上額<br>(千円) | 時価<br>(千円) | 差額<br>(千円) |
|--------------|----------------------|------------|------------|
| 投資有価証券       | 1,051,219            | 1,051,219  |            |
| 資産計          | 1,051,219            | 1,051,219  |            |
| デリバティブ取引(*3) | 41                   | 41         |            |

(\*1) 「現金・預金」「未収委託者報酬」「未収運用受託報酬」「未払金」は、短期間で決済されるため時価が帳簿価額に近似するものであることから、記載を省略しております。

(\*2) 市場価格のない株式等は、「投資有価証券」には含まれておりません。当該金融商品の貸借対照表計上額は以下のとおりであります。

| 区分              | 貸借対照表計上額<br>(千円) |
|-----------------|------------------|
| 関係会社株式<br>子会社株式 | 22,031           |

(\*3) デリバティブ取引によって生じた正味の債権・債務は、純額で表示しております。

(注) 金銭債権の決算日後の償還予定額

(単位：千円)

|          | 1年以内      |
|----------|-----------|
| 現金・預金    | 569,638   |
| 未収委託者報酬  | 572,712   |
| 未収運用受託報酬 | 6,634     |
| 合計       | 1,148,985 |

## 3. 金融商品の時価のレベルごとの内訳に関する事項

金融商品の時価を、時価の算定に係るインプットの観察可能性及び重要性に応じて、以下の3つのレベルに分類しております。

レベル1の時価： 観察可能な時価の算定に係るインプットのうち、活発な市場において形成される当該時価の算定の対象となる資産又は負債に関する相場価格により算定した時価

レベル2の時価： 観察可能な時価の算定に係るインプットのうち、レベル1のインプット以外の時価の算定に係るインプットを用いて算定した時価

レベル3の時価： 観察できない時価の算定に係るインプットを使用して算定した時価

時価の算定に重要な影響を与えるインプットを複数使用している場合には、それらのインプットがそれぞれ属するレベルのうち、時価の算定における優先順位が最も低いレベルに時価を分類しております。

## 時価で貸借対照表に計上している金融商品

前事業年度（2022年3月31日）

| 区分                 | 時価（千円） |      |      |    |
|--------------------|--------|------|------|----|
|                    | レベル1   | レベル2 | レベル3 | 合計 |
| デリバティブ取引<br>指数先物関連 |        | 41   |      | 41 |
| 資産計                |        | 41   |      | 41 |

(注1)時価の算定に用いた評価技法及び時価の算定に係るインプットの説明

## デリバティブ取引

取引先金融機関から提示された価格等に基づき算定しており、レベル2の時価に分類しております。

(注2)「時価の算定に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第31号 2019年7月4日）

第26項に定める経過措置を適用した投資信託については、上記の表には含めておりません。貸借対照表における当該投資信託の金額は1,051,219千円であります。

当事業年度（自 2022年4月1日 至 2023年3月31日）

## 1. 金融商品の状況に関する事項

### (1) 金融商品に対する取組方針

当社は、自社が運用する投資信託の商品性維持を目的として、当該投資信託を投資有価証券として保有しております。また、デリバティブ取引については、保有する特定の投資有価証券の価格変動リスクを低減させる目的で利用しており、投機的な取引は行わない方針であります。その他、一時的な余剰資金の運用については短期的な預金等に限定しております。なお、事業及び設備投資に必要な自己資金を有しているため、外部からの資金調達の計画はありません。

### (2) 金融商品の内容及びそのリスク

営業債権である未収委託者報酬及び未収運用受託報酬は、顧客の信用リスクに晒されておりますが、これらの債権は、受託銀行にて分別管理されている信託財産及び年金資産より生じる信託報酬債権であり、その信用リスクは軽微であります。投資有価証券はファンドの自己設定に関連する投資信託であり、基準価額の変動リスクに晒されております。この自己設定投資信託の一部につきましては、指数先物によるデリバティブ取引にてリスクの低減を図っております。このほか、親会社に対し短期貸付を行っております。

営業債務である未払手数料等は、1年以内の支払期日であります。

### (3) 金融商品に係るリスク管理体制

信用リスク（取引先の契約不履行等に係るリスク）の管理

営業債権については経理規程に従い、取引先ごとに期日及び残高を管理しております。

市場リスク（価格、為替や金利等の変動リスク）の管理

投資有価証券については、定期的に基準価額を把握することにより管理しております。

デリバティブ取引は、取引執行部門とヘッジ有効性の評価部門を分離し、日々評価額及び評価損益の管理を行っております。

### (4) 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明

金融商品の時価の算定においては変動要因を織り込んでいるため、異なる前提条件等を採用することにより、当該価額が変動することもあります。また、「デリバティブ取引関係」注記におけるデリバティブ取引に関する契約額等については、その金額自体がデリバティブ取引に係る市場リスクを示すものではありません。

## 2. 金融商品の時価等に関する事項

2023年3月31日における貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりであります。なお、「現金・預金」「関係会社短期貸付金」「未収委託者報酬」「未収運用受託報酬」「未払金」は、短期間で決済されるため時価が帳簿価額に近似するものであることから、記載を省略しております。

当事業年度（2023年3月31日）

|              | 貸借対照表<br>計上額<br>(千円) | 時価<br>(千円) | 差額<br>(千円) |
|--------------|----------------------|------------|------------|
| 投資有価証券       | 688,191              | 688,191    |            |
| 資産計          | 688,191              | 688,191    |            |
| デリバティブ取引(注1) | 203                  | 203        |            |

(注1) デリバティブ取引によって生じた正味の債権・債務は、純額で表示しております。

(注2) 市場価格のない株式等は、「投資有価証券」には含まれておりません。当該金融商品の貸借対照表計上額は以下のとおりであります。

| 区分              | 貸借対照表計上額<br>(千円) |
|-----------------|------------------|
| 関係会社株式<br>子会社株式 | 22,031           |

(注3) 金銭債権及び満期がある有価証券の決算日後の償還予定額

(単位：千円)

|           | 1年以内      | 1年超<br>5年以内 | 5年超<br>10年以内 | 10年超 |
|-----------|-----------|-------------|--------------|------|
| 現金・預金     | 801,610   |             |              |      |
| 関係会社短期貸付金 | 2,900,000 |             |              |      |
| 未収委託者報酬   | 930,483   |             |              |      |
| 未収運用受託報酬  | 27,192    |             |              |      |
| 投資有価証券    | 2,246     |             |              |      |
| 合計        | 4,661,531 |             |              |      |



### 3. 金融商品の時価のレベルごとの内訳に関する事項

金融商品の時価を、時価の算定に係るインプットの観察可能性及び重要性に応じて、以下の3つのレベルに分類しております。

レベル1の時価： 観察可能な時価の算定に係るインプットのうち、活発な市場において形成される当該時価の算定の対象となる資産又は負債に関する相場価格により算定した時価

レベル2の時価： 観察可能な時価の算定に係るインプットのうち、レベル1のインプット以外の時価の算定に係るインプットを用いて算定した時価

レベル3の時価： 観察できない時価の算定に係るインプットを使用して算定した時価

時価の算定に重要な影響を与えるインプットを複数使用している場合には、それらのインプットがそれぞれ属するレベルのうち、時価の算定における優先順位が最も低いレベルに時価を分類しております。

時価で貸借対照表に計上している金融商品

当事業年度（2023年3月31日）

| 区分       | 時価（千円） |         |      |         |
|----------|--------|---------|------|---------|
|          | レベル1   | レベル2    | レベル3 | 合計      |
| 投資有価証券   |        |         |      |         |
| 投資信託     |        | 688,191 |      | 688,191 |
| デリバティブ取引 |        |         |      |         |
| 指数先物関連   |        | 203     |      | 203     |
| 資産計      |        | 687,988 |      | 687,988 |

(注)時価の算定に用いた評価技法及び時価の算定に係るインプットの説明

#### 投資信託

市場における取引価格が存在せず、かつ、解約等に関して市場参加者からリスクの対価を求められるほどの重要な制限がないことから、基準価額を時価としており、その時価をレベル2の時価に分類しております。

#### デリバティブ取引

取引先金融機関から提示された価格等に基づき算定しており、レベル2の時価に分類しております。

## （有価証券関係）

## 1. 子会社株式

前事業年度(2022年3月31日)

市場価格のない株式等の貸借対照表計上額

| 区分    | 貸借対照表計上額<br>(千円) |
|-------|------------------|
| 子会社株式 | 22,031           |

当事業年度(2023年3月31日)

市場価格のない株式等の貸借対照表計上額

| 区分    | 貸借対照表計上額<br>(千円) |
|-------|------------------|
| 子会社株式 | 22,031           |

## 2. その他有価証券

前事業年度(2022年3月31日)

(単位：千円)

| 区分                   |        | 貸借対照表計上額  | 取得原価      | 差額      |
|----------------------|--------|-----------|-----------|---------|
| 貸借対照表計上額が取得原価を超えるもの  | (1)株式  |           |           |         |
|                      | (2)債券  |           |           |         |
|                      | (3)その他 | 1,641     | 1,000     | 641     |
|                      | 小計     | 1,641     | 1,000     | 641     |
| 貸借対照表計上額が取得原価を超えないもの | (1)株式  |           |           |         |
|                      | (2)債券  |           |           |         |
|                      | (3)その他 | 1,049,578 | 1,245,010 | 195,431 |
|                      | 小計     | 1,049,578 | 1,245,010 | 195,431 |
| 合計                   |        | 1,051,219 | 1,246,010 | 194,790 |

(注)表中の「取得原価」は減損処理後の帳簿価額であります。

当事業年度(2023年3月31日)

(単位：千円)

| 区分                   |        | 貸借対照表計上額 | 取得原価    | 差額     |
|----------------------|--------|----------|---------|--------|
| 貸借対照表計上額が取得原価を超えるもの  | (1)株式  |          |         |        |
|                      | (2)債券  |          |         |        |
|                      | (3)その他 | 684,519  | 627,800 | 56,719 |
|                      | 小計     | 684,519  | 627,800 | 56,719 |
| 貸借対照表計上額が取得原価を超えないもの | (1)株式  |          |         |        |
|                      | (2)債券  |          |         |        |
|                      | (3)その他 | 3,672    | 3,747   | 75     |
|                      | 小計     | 3,672    | 3,747   | 75     |
| 合計                   |        | 688,191  | 631,547 | 56,644 |

(注)表中の「取得原価」は減損処理後の帳簿価額であります。

## 3. 売却したその他有価証券

前事業年度(2022年3月31日)  
該当事項はありません。

当事業年度(2023年3月31日)

(単位：千円)

| 区分     | 売却額     | 売却益の合計額 | 売却損の合計額 |
|--------|---------|---------|---------|
| (1)株式  |         |         |         |
| (2)債券  |         |         |         |
| (3)その他 | 311,403 |         | 297,096 |
| 合計     | 311,403 |         | 297,096 |

## 4. 減損処理を行ったその他有価証券

当事業年度において、投資有価証券（その他有価証券の投資信託）について2,562千円の減損処理を行っております。なお、減損処理にあたっては、期末における時価が取得原価に比べ50%以上下落した場合には全て減損処理を行い、30～50%程度下落した場合には、回復可能性等を考慮して必要と認められた額について減損処理を行っております。

## (デリバティブ取引関係)

前事業年度（2022年3月31日）

## 1. ヘッジ会計が適用されていないデリバティブ取引

## 株式関連

| 区分   | 取引の種類        | 契約額等<br>(千円) | 契約額等<br>のうち1年超<br>(千円) | 時価<br>(千円) | 評価損益<br>(千円) |
|------|--------------|--------------|------------------------|------------|--------------|
| 市場取引 | 指数先物取引<br>買建 | 10,356       |                        | 41         | 41           |
| 合計   |              | 10,356       |                        | 41         | 41           |

(注) 時価の算定方法

取引先金融機関から提示された価格等に基づいております。

## 2. ヘッジ会計が適用されているデリバティブ取引

該当事項はありません。

当事業年度（2023年3月31日）

## 1. ヘッジ会計が適用されていないデリバティブ取引

## 株式関連

| 区分   | 取引の種類        | 契約額等<br>(千円) | 契約額等<br>のうち1年超<br>(千円) | 時価<br>(千円) | 評価損益<br>(千円) |
|------|--------------|--------------|------------------------|------------|--------------|
| 市場取引 | 指数先物取引<br>買建 | 7,735        |                        | 203        | 203          |
| 合計   |              | 7,735        |                        | 203        | 203          |

(注) 時価の算定方法

取引先金融機関から提示された価格等に基づいております。

## 2. ヘッジ会計が適用されているデリバティブ取引

該当事項はありません。

## (退職給付関係)

## 1. 採用している退職給付制度の概要

当社は、確定拠出型年金制度を採用しております。

## 2. 確定拠出制度

当社の確定拠出制度への要拠出額は、前事業年度（自2021年4月1日至2022年3月31日）2,820千円、当事業年度（自2022年4月1日至2023年3月31日）5,529千円であります。

## (税効果会計関係)

| 前事業年度<br>(2022年3月31日)   | 当事業年度<br>(2023年3月31日)   |       |           |        |       |       |         |       |              |        |     |       |                 |                |        |  |                 |                |                 |                |                  |                |  |       |       |           |         |       |       |         |       |     |        |                 |                |        |  |                 |                |              |        |                 |               |                  |                |
|---|---|-------|-----------|--------|-------|-------|---------|-------|--------------|--------|-----|-------|-----------------|----------------|--------|--|-----------------|----------------|-----------------|----------------|------------------|----------------|--|-------|-------|-----------|---------|-------|-------|---------|-------|-----|--------|-----------------|----------------|--------|--|-----------------|----------------|--------------|--------|-----------------|---------------|------------------|----------------|
| <p>1. 繰延税金資産及び繰延税金負債の発生の主な原因別の内訳</p> <p>繰延税金資産</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">電話加入権</td> <td style="text-align: right;">438千円</td> </tr> <tr> <td>投資有価証券評価損</td> <td style="text-align: right;">99,913</td> </tr> <tr> <td>未払事業税</td> <td style="text-align: right;">3,406</td> </tr> <tr> <td>その他未払税金</td> <td style="text-align: right;">3,817</td> </tr> <tr> <td>その他有価証券評価差額金</td> <td style="text-align: right;">59,644</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td style="text-align: right;">3,598</td> </tr> <tr> <td><b>繰延税金資産小計</b></td> <td style="text-align: right;"><b>170,818</b></td> </tr> <tr> <td>評価性引当額</td> <td></td> </tr> <tr> <td><b>繰延税金資産合計</b></td> <td style="text-align: right;"><b>170,818</b></td> </tr> </table> <p>繰延税金負債</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;"><b>繰延税金負債合計</b></td> <td style="text-align: right;"><b>170,818</b></td> </tr> <tr> <td><b>繰延税金資産の純額</b></td> <td style="text-align: right;"><b>170,818</b></td> </tr> </table> | 電話加入権   | 438千円 | 投資有価証券評価損 | 99,913 | 未払事業税 | 3,406 | その他未払税金 | 3,817 | その他有価証券評価差額金 | 59,644 | その他 | 3,598 | <b>繰延税金資産小計</b> | <b>170,818</b> | 評価性引当額 |  | <b>繰延税金資産合計</b> | <b>170,818</b> | <b>繰延税金負債合計</b> | <b>170,818</b> | <b>繰延税金資産の純額</b> | <b>170,818</b> | <p>1. 繰延税金資産及び繰延税金負債の発生の主な原因別の内訳</p> <p>繰延税金資産</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">電話加入権</td> <td style="text-align: right;">438千円</td> </tr> <tr> <td>投資有価証券評価損</td> <td style="text-align: right;">100,697</td> </tr> <tr> <td>未払事業税</td> <td style="text-align: right;">7,131</td> </tr> <tr> <td>その他未払税金</td> <td style="text-align: right;">5,470</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td style="text-align: right;">18,744</td> </tr> <tr> <td><b>繰延税金資産小計</b></td> <td style="text-align: right;"><b>132,482</b></td> </tr> <tr> <td>評価性引当額</td> <td></td> </tr> <tr> <td><b>繰延税金資産合計</b></td> <td style="text-align: right;"><b>132,482</b></td> </tr> </table> <p>繰延税金負債</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">その他有価証券評価差額金</td> <td style="text-align: right;">17,339</td> </tr> <tr> <td><b>繰延税金負債合計</b></td> <td style="text-align: right;"><b>17,339</b></td> </tr> <tr> <td><b>繰延税金資産の純額</b></td> <td style="text-align: right;"><b>115,142</b></td> </tr> </table> | 電話加入権 | 438千円 | 投資有価証券評価損 | 100,697 | 未払事業税 | 7,131 | その他未払税金 | 5,470 | その他 | 18,744 | <b>繰延税金資産小計</b> | <b>132,482</b> | 評価性引当額 |  | <b>繰延税金資産合計</b> | <b>132,482</b> | その他有価証券評価差額金 | 17,339 | <b>繰延税金負債合計</b> | <b>17,339</b> | <b>繰延税金資産の純額</b> | <b>115,142</b> |
| 電話加入権   | 438千円   |       |           |        |       |       |         |       |              |        |     |       |                 |                |        |  |                 |                |                 |                |                  |                |  |       |       |           |         |       |       |         |       |     |        |                 |                |        |  |                 |                |              |        |                 |               |                  |                |
| 投資有価証券評価損   | 99,913  |       |           |        |       |       |         |       |              |        |     |       |                 |                |        |  |                 |                |                 |                |                  |                |  |       |       |           |         |       |       |         |       |     |        |                 |                |        |  |                 |                |              |        |                 |               |                  |                |
| 未払事業税   | 3,406   |       |           |        |       |       |         |       |              |        |     |       |                 |                |        |  |                 |                |                 |                |                  |                |  |       |       |           |         |       |       |         |       |     |        |                 |                |        |  |                 |                |              |        |                 |               |                  |                |
| その他未払税金   | 3,817   |       |           |        |       |       |         |       |              |        |     |       |                 |                |        |  |                 |                |                 |                |                  |                |  |       |       |           |         |       |       |         |       |     |        |                 |                |        |  |                 |                |              |        |                 |               |                  |                |
| その他有価証券評価差額金  | 59,644  |       |           |        |       |       |         |       |              |        |     |       |                 |                |        |  |                 |                |                 |                |                  |                |  |       |       |           |         |       |       |         |       |     |        |                 |                |        |  |                 |                |              |        |                 |               |                  |                |
| その他   | 3,598   |       |           |        |       |       |         |       |              |        |     |       |                 |                |        |  |                 |                |                 |                |                  |                |  |       |       |           |         |       |       |         |       |     |        |                 |                |        |  |                 |                |              |        |                 |               |                  |                |
| <b>繰延税金資産小計</b>   | <b>170,818</b>  |       |           |        |       |       |         |       |              |        |     |       |                 |                |        |  |                 |                |                 |                |                  |                |  |       |       |           |         |       |       |         |       |     |        |                 |                |        |  |                 |                |              |        |                 |               |                  |                |
| 評価性引当額  |   |       |           |        |       |       |         |       |              |        |     |       |                 |                |        |  |                 |                |                 |                |                  |                |  |       |       |           |         |       |       |         |       |     |        |                 |                |        |  |                 |                |              |        |                 |               |                  |                |
| <b>繰延税金資産合計</b>   | <b>170,818</b>  |       |           |        |       |       |         |       |              |        |     |       |                 |                |        |  |                 |                |                 |                |                  |                |  |       |       |           |         |       |       |         |       |     |        |                 |                |        |  |                 |                |              |        |                 |               |                  |                |
| <b>繰延税金負債合計</b>   | <b>170,818</b>  |       |           |        |       |       |         |       |              |        |     |       |                 |                |        |  |                 |                |                 |                |                  |                |  |       |       |           |         |       |       |         |       |     |        |                 |                |        |  |                 |                |              |        |                 |               |                  |                |
| <b>繰延税金資産の純額</b>  | <b>170,818</b>  |       |           |        |       |       |         |       |              |        |     |       |                 |                |        |  |                 |                |                 |                |                  |                |  |       |       |           |         |       |       |         |       |     |        |                 |                |        |  |                 |                |              |        |                 |               |                  |                |
| 電話加入権   | 438千円   |       |           |        |       |       |         |       |              |        |     |       |                 |                |        |  |                 |                |                 |                |                  |                |  |       |       |           |         |       |       |         |       |     |        |                 |                |        |  |                 |                |              |        |                 |               |                  |                |
| 投資有価証券評価損   | 100,697   |       |           |        |       |       |         |       |              |        |     |       |                 |                |        |  |                 |                |                 |                |                  |                |  |       |       |           |         |       |       |         |       |     |        |                 |                |        |  |                 |                |              |        |                 |               |                  |                |
| 未払事業税   | 7,131   |       |           |        |       |       |         |       |              |        |     |       |                 |                |        |  |                 |                |                 |                |                  |                |  |       |       |           |         |       |       |         |       |     |        |                 |                |        |  |                 |                |              |        |                 |               |                  |                |
| その他未払税金   | 5,470   |       |           |        |       |       |         |       |              |        |     |       |                 |                |        |  |                 |                |                 |                |                  |                |  |       |       |           |         |       |       |         |       |     |        |                 |                |        |  |                 |                |              |        |                 |               |                  |                |
| その他   | 18,744  |       |           |        |       |       |         |       |              |        |     |       |                 |                |        |  |                 |                |                 |                |                  |                |  |       |       |           |         |       |       |         |       |     |        |                 |                |        |  |                 |                |              |        |                 |               |                  |                |
| <b>繰延税金資産小計</b>   | <b>132,482</b>  |       |           |        |       |       |         |       |              |        |     |       |                 |                |        |  |                 |                |                 |                |                  |                |  |       |       |           |         |       |       |         |       |     |        |                 |                |        |  |                 |                |              |        |                 |               |                  |                |
| 評価性引当額  |   |       |           |        |       |       |         |       |              |        |     |       |                 |                |        |  |                 |                |                 |                |                  |                |  |       |       |           |         |       |       |         |       |     |        |                 |                |        |  |                 |                |              |        |                 |               |                  |                |
| <b>繰延税金資産合計</b>   | <b>132,482</b>  |       |           |        |       |       |         |       |              |        |     |       |                 |                |        |  |                 |                |                 |                |                  |                |  |       |       |           |         |       |       |         |       |     |        |                 |                |        |  |                 |                |              |        |                 |               |                  |                |
| その他有価証券評価差額金  | 17,339  |       |           |        |       |       |         |       |              |        |     |       |                 |                |        |  |                 |                |                 |                |                  |                |  |       |       |           |         |       |       |         |       |     |        |                 |                |        |  |                 |                |              |        |                 |               |                  |                |
| <b>繰延税金負債合計</b>   | <b>17,339</b>   |       |           |        |       |       |         |       |              |        |     |       |                 |                |        |  |                 |                |                 |                |                  |                |  |       |       |           |         |       |       |         |       |     |        |                 |                |        |  |                 |                |              |        |                 |               |                  |                |
| <b>繰延税金資産の純額</b>  | <b>115,142</b>  |       |           |        |       |       |         |       |              |        |     |       |                 |                |        |  |                 |                |                 |                |                  |                |  |       |       |           |         |       |       |         |       |     |        |                 |                |        |  |                 |                |              |        |                 |               |                  |                |
| <p>2. 法定実効税率と税効果会計適用後の法人税等の負担率との間に重要な差異があるときの、当該差異原因となった主要な項目別の内訳</p> <p>当事業年度は、法定実効税率と税効果会計適用後の法人税等の負担率との間の差異が法定実効税率の100分の5以下であるため注記を省略しております。</p>   | <p>2. 法定実効税率と税効果会計適用後の法人税等の負担率との間に重要な差異があるときの、当該差異原因となった主要な項目別の内訳</p> <p style="text-align: center;">同左</p> |       |           |        |       |       |         |       |              |        |     |       |                 |                |        |  |                 |                |                 |                |                  |                |  |       |       |           |         |       |       |         |       |     |        |                 |                |        |  |                 |                |              |        |                 |               |                  |                |

## （企業結合等関係）

## （共通支配下の取引等）

当社は、2022年7月29日の臨時株主総会において、当社を吸収合併存続会社とし、同一の親会社を持つ会社であるSBI bonds・インベストメント・マネジメント株式会社ならびにSBI地方創生アセットマネジメント株式会社を吸収合併消滅会社とする吸収合併契約の締結を承認決議し、効力発生日である2022年8月1日付をもって吸収合併いたしました。

## 1．取引の概要

## (1) 結合当事企業の名称及び当該事業の内容

存続会社：当社

消滅会社：SBI bonds・インベストメント・マネジメント株式会社  
SBI地方創生アセットマネジメント株式会社

なお、事業の内容は、いずれも投資運用業を主とする金融商品取引業であります。

## (2) 企業結合日

2022年8月1日

## (3) 企業結合の法的形式

当社を吸収合併存続会社とし、SBI bonds・インベストメント・マネジメント株式会社ならびにSBI地方創生アセットマネジメント株式会社を吸収合併消滅会社とする吸収合併。

## (4) 結合後企業の名称

SBIアセットマネジメント株式会社

## (5) 取引の目的

アセットマネジメント事業3社の経営資源を統合することにより、業務の効率化と収益力および組織体制の一層の強化を図ることを目的としております。

## 2．実施した会計処理の概要

「企業結合に関する会計基準」及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」に基づき、共通支配下の取引として会計処理を行いました。

（収益認識関係）

- 1．顧客との契約から生じる収益を分解した情報  
重要性が乏しいため、記載を省略しております。
- 2．顧客との契約から生じる収益を理解するための基礎となる情報  
「重要な会計方針5．収益及び費用の計上基準」記載のとおりであります。
- 3．顧客との契約に基づく履行義務の充足と当該契約から生じるキャッシュ・フローとの関係並びに当事業年度末において存在する顧客との契約から翌事業年度以降に認識すると見込まれる収益の金額及び時期に関する情報  
重要性が乏しいため、記載を省略しております。

（セグメント情報）

前事業年度(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

（セグメント情報）

当社の事業は、投資運用業及び投資助言業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

（関連情報）

- 1．製品及びサービスごとの情報  
単一の製品・サービスの区分の外部顧客への営業収益が損益計算書の営業収益の90%を超えるため、記載を省略しております。
- 2．地域ごとの情報
  - (1)営業収益  
本邦の外部顧客への営業収益に区分した金額が損益計算書の営業収益の90%を超えるため、地域ごとの営業収益の記載を省略しております。
  - (2)有形固定資産  
本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。
- 3．主要な顧客ごとの情報

（単位：千円）

| 顧客の名称                              | 営業収益    |
|------------------------------------|---------|
| SBI中小型割安成長株ファンドジェイリパイプ<br>(年2回決算型) | 339,734 |

（報告セグメントごとの減損損失に関する情報）

該当事項はありません。

（報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報）

該当事項はありません。

（報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報）

該当事項はありません。

当事業年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

（セグメント情報）

当社の事業は、投資運用業及び投資助言・代理業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

（関連情報）

1．製品及びサービスごとの情報

単一の製品・サービスの区分の外部顧客への営業収益が損益計算書の営業収益の90%を超えるため、記載を省略しております。

2．地域ごとの情報

(1)営業収益

本邦の外部顧客への営業収益に区分した金額が損益計算書の営業収益の90%を超えるため、地域ごとの営業収益の記載を省略しております。

(2)有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

3．主要な顧客ごとの情報

特定の顧客に対する営業収益のうち、損益計算書の営業収益の10%以上を占める相手先がないため、記載を省略しております。

（報告セグメントごとの減損損失に関する情報）

該当事項はありません。

（報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報）

該当事項はありません。

（報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報）

該当事項はありません。



## (関連当事者情報)

前事業年度(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

## 1. 関連当事者との取引

## 財務諸表提出会社と関連当事者との取引

## (ア) 財務諸表提出会社の親会社

| 種類  | 会社等の名称<br>又は氏名   | 所在地   | 資本金又は<br>出資金<br>(百万円) | 事業の内容<br>又は職業 | 議決権等<br>の所有<br>(被所有)<br>割合(%) | 関連当事者との関係                 | 取引の<br>内容 | 取引<br>金額<br>(千円) | 科目 | 期末<br>残高<br>(千円) |
|-----|------------------|-------|-----------------------|---------------|-------------------------------|---------------------------|-----------|------------------|----|------------------|
| 親会社 | モーニングスター<br>株式会社 | 東京都港区 | 3,363                 | 金融情報<br>サービス業 | (被所有)<br>間接<br>100.0%         | 役員の兼任<br>データ購入<br>人員出向・受入 | 増資の引<br>受 | 1,300,000        |    |                  |

(注) 当社の行った株主割当による増資(普通株式20,800株)を引き受けたものです。

## (イ) 財務諸表提出会社と同一の親会社を持つ会社等

| 種類                      | 会社等の名称<br>又は氏名 | 所在地   | 資本金又は<br>出資金<br>(百万円) | 事業の内容<br>又は職業 | 議決権等<br>の所有<br>(被所有)<br>割合(%) | 関連当事者との関係 | 取引の<br>内容     | 取引<br>金額<br>(千円) | 科目  | 期末<br>残高<br>(千円) |
|-------------------------|----------------|-------|-----------------------|---------------|-------------------------------|-----------|---------------|------------------|-----|------------------|
| 同一の<br>親会社<br>を持つ<br>会社 | 株式会社SBI証券      | 東京都港区 | 48,323                | 証券業           |                               | 販売委託      | 販売委託<br>支払手数料 | 640,268          | 未払金 | 167,508          |

(注) 販売委託の条件は、市場価格を勘案し、取引先との協議によって決定しております。

## 2. 親会社に関する注記

## 親会社情報

SBIアセットマネジメント・グループ株式会社(非上場)

モーニングスター株式会社(東京証券取引所プライム市場に上場)

SBIグローバルアセットマネジメント株式会社(非上場)

SBIホールディングス株式会社(東京証券取引所プライム市場に上場)

当事業年度（自 2022年4月1日 至 2023年3月31日）

## 1. 関連当事者との取引

## 財務諸表提出会社と関連当事者との取引

## (ア)財務諸表提出会社の親会社

| 種類  | 会社等の名称<br>又は氏名                         | 所在地   | 資本金又は<br>出資金<br>(百万円) | 事業の内容<br>又は職業                            | 議決権等<br>の所有<br>(被所有)<br>割合(%) | 関連当事者との関係                                  | 取引の<br>内容 | 取引<br>金額<br>(千円) | 科目                | 期末<br>残高<br>(千円) |
|-----|--|-------|-----------------------|--|-------------------------------|--|-----------|------------------|-------------------|------------------|
| 親会社 | SBIグローバル<br>アセットマネジ<br>メント株式会社<br>(注1) | 東京都港区 | 3,363                 | 資産運用<br>業、金融情<br>報サービス<br>事業子会社<br>の持株会社 | (被所有)<br>間接<br>93.3%          | 役員の兼任<br>データ購入<br>人員出向・受入<br>資金の貸付<br>(注2) | 資金の貸<br>付 | 2,300,000        | 関係会<br>社短期<br>貸付金 | 2,300,000        |
|     |  |       |                       |  |                               |  | 貸付利息      | 16,111           | 未収利<br>息          | 17,188           |

(注1) SBIグローバルアセットマネジメント株式会社（旧商号モーニングスター株式会社）は、2023年3月30日付で商号を変更しております。

(注2) 資金貸付は、市場金利を勘案した合理的な利率を定め、その返済条件を協議によって決定しております。

## (イ)財務諸表提出会社と同一の親会社を持つ会社等

| 種類                      | 会社等の名称<br>又は氏名             | 所在地   | 資本金又は<br>出資金<br>(百万円) | 事業の内容<br>又は職業                | 議決権等<br>の所有<br>(被所有)<br>割合(%) | 関連当事者との関係               | 取引の<br>内容     | 取引<br>金額<br>(千円) | 科目                | 期末<br>残高<br>(千円) |
|-------------------------|----------------------------|-------|-----------------------|------------------------------|-------------------------------|-------------------------|---------------|------------------|-------------------|------------------|
| 同一の<br>親会社<br>を持つ<br>会社 | ウエルスアドバイザー<br>株式会社<br>(注1) | 東京都港区 | 30                    | 投資助言<br>業、金融情<br>報サービス<br>事業 |                               | 運用への助言<br>資金の貸付<br>(注2) | 資金の貸<br>付     | 600,000          | 関係会<br>社短期<br>貸付金 | 600,000          |
|                         |                            |       |                       |                              |                               |                         | 貸付利息          | 5,019            | 未収利<br>息          | 5,019            |
|                         | 株式会社SBI証券                  | 東京都港区 | 48,323                | 証券業                          |                               | 販売委託(注3)                | 販売委託<br>支払手数料 | 770,398          | 未払金               | 186,563          |

(注1) ウエルスアドバイザー株式会社（旧商号モーニングスター・アセット・マネジメント株式会社）は、2023年3月30日付で商号を変更しております。また、同日付で同一の親会社をもつイー・アドバイザー株式会社と吸収合併しております。

(注2) 資金貸付は、市場金利を勘案した合理的な利率を定め、その返済条件を協議によって決定しております。

(注3) 販売委託の条件は、市場価格を勘案し、取引先との協議によって決定しております。

## 2. 親会社に関する注記

## 親会社情報

- SBIグローバルアセットマネジメント株式会社  
(旧商号モーニングスター株式会社。東京証券取引所プライム市場に上場)
- SBIアセットマネジメント・グループ株式会社  
(旧商号SBIグローバルアセットマネジメント株式会社。非上場)
- SBIホールディングス株式会社  
(東京証券取引所プライム市場に上場)

## (1株当たり情報)

|            | 前事業年度  | 当事業年度  |
|------------|--|--|
|            | 自 2021年4月1日<br>至 2022年3月31日                        | 自 2022年4月1日<br>至 2023年3月31日                        |
| 1株当たり純資産額  | 3,406円27銭  | 4,316円15銭  |
| 1株当たり当期純利益 | 348円36銭  | 664円03銭  |
|            | なお、潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。 | なお、潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。 |

(注) 当社は、2022年7月28日付で普通株式1株につき10株の割合で株式分割を行っております。

前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株あたり純資産及び1株当たり当期純利益を算定しております。

1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

|                  | 前事業年度                       | 当事業年度                       |
|------------------|-----------------------------|-----------------------------|
|                  | 自 2021年4月1日<br>至 2022年3月31日 | 自 2022年4月1日<br>至 2023年3月31日 |
| 当期純利益(千円)        | 139,413                     | 613,427                     |
| 普通株主に帰属しない金額(千円) |                             |                             |
| 普通株式に係る当期純利益(千円) | 139,413                     | 613,427                     |
| 期中平均株式数(株)       | 400,192                     | 923,786                     |

(注) 当社は、2022年7月28日付で普通株式1株につき10株の割合で株式分割を行っております。

前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、前事業年度の期中平均株式数を算定しております。

## （重要な後発事象）

### （共通支配下の取引等）

2023年3月30日の当社臨時株主総会において、当社を吸収合併存続会社とし、同一の親会社を持つ会社である新生インベストメント・マネジメント株式会社を吸収合併消滅会社とする吸収合併契約締結の決議が承認可決され、効力発生日である2023年4月1日付をもって吸収合併いたしました。

### 1．取引の概要

#### (1)結合当事企業の名称及びその事業の内容

存続会社：当社

消滅会社：新生インベストメント・マネジメント株式会社

なお、事業の内容は、いずれも投資運用業を主とする金融商品取引業であります。

#### (2)企業結合日

2023年4月1日

#### (3)企業結合の法的形式

当社を存続会社とし、新生インベストメント・マネジメント株式会社を消滅会社とする吸収合併。

#### (4)結合後企業の名称

SBIアセットマネジメント株式会社

#### (5)取引の目的

経営資源の有効活用及び最適化を図ることを目的としております。

### 2．実施した会計処理の概要

「企業結合に関する会計基準」及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」に基づき、共通支配下の取引として会計処理を行います。

### （資本金の額の減少）

2023年3月30日の当社臨時株主総会において、2023年4月1日付で効力を生ずる新生インベストメント・マネジメント株式会社との吸収合併に伴い増加した資本金を同日付で減少させ、その他資本剰余金とすることの決議が承認可決されました。

#### (1)目的

今後の資本政策の柔軟性及び機動性の確保を目的として、会社法第447条第1項の規定に基づき資本金の額を減少するものであります。

#### (2)資本金の額の減少の方法

払戻を行わない無償減資とし、発行済株式総数を変更することなく資本金の額を減少するものであり、減少する資本金の額の全額をその他資本剰余金に振り替えるものであります。

#### (3)減少する資本金の額 495,000千円（減少後の資本金の額 400,200千円）

#### (4)資本金の額の減少の日程

債権者異議申述公告日 2023年2月21日

債権者異議申述最終日 2023年3月22日

効力発生日 2023年4月1日

(参考) 新生インベストメント・マネジメント株式会社の経理状況

当該(参考)において新生インベストメント・マネジメント株式会社を「委託会社」または「当社」といいます。

(1) 財務諸表の作成方法について

委託会社である新生インベストメント・マネジメント株式会社(以下「当社」という)の財務諸表は、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則(昭和38年大蔵省令第59号)」(以下「財務諸表等規則」という)第2条の規定により、財務諸表等規則及び「金融商品取引業等に関する内閣府令(平成19年内閣府令第52号)」に基づき作成されております。

財務諸表の金額については、千円未満の端数を切り捨てて記載しております。

(2) 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第22期事業年度(自2022年4月1日 至2023年3月31日)の財務諸表については、有限責任監査法人トーマツによる監査を受けております。

## 独立監査人の監査報告書

2023年6月6日

SBIアセットマネジメント株式会社  
(旧社名 新生インベストメント・マネジメント株式会社)  
取締役会 御中

有限責任監査法人トーマツ  
東京事務所

指定有限責任社員 公認会計士 百瀬和政  
業務執行社員

### 監査意見

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「委託会社等の経理状況」に掲げられているSBIアセットマネジメント株式会社（旧社名 新生インベストメント・マネジメント株式会社）の2022年4月1日から2023年3月31日までの第22期事業年度の財務諸表、すなわち、貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書、重要な会計方針及びその他の注記について監査を行った。

当監査法人は、上記の財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、SBIアセットマネジメント株式会社（旧社名 新生インベストメント・マネジメント株式会社）の2023年3月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する事業年度の経営成績を、全ての重要な点において適正に表示しているものと認める。

### 監査意見の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準における当監査法人の責任は、「財務諸表監査における監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、会社から独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

### 強調事項

重要な後発事象に関する注記に記載されているとおり、2023年3月30日の新生インベストメント・マネジメント株式会社の臨時株主総会において、新生インベストメント・マネジメント株式会社と同一の親会社を持つSBIアセットマネジメント株式会社を存続会社、新生インベストメント・マネジメント株式会社を消滅会社とする吸収合併契約締結の決議が承認され、効力発生日である2023年4月1日付をもって吸収合併した。

当該事項は、当監査法人の意見に影響を及ぼすものではない。

### その他の記載内容

その他の記載内容は、監査した財務諸表を含む開示書類に含まれる情報のうち、財務諸表及びその監査報告書以外の情報である。

当監査法人は、その他の記載内容が存在しないと判断したため、その他の記載内容に対するいかなる作業も実施していない。

### 財務諸表に対する経営者及び監査役の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

財務諸表を作成するに当たり、経営者は、継続企業の前提に基づき財務諸表を作成することが適切であるかどうか

を評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に基づいて継続企業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

監査役の責任は、財務報告プロセスの整備及び運用における取締役の職務の執行を監視することにある。

#### 財務諸表監査における監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した監査に基づいて、全体としての財務諸表に不正又は誤謬による重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得て、監査報告書において独立の立場から財務諸表に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正又は誤謬により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、財務諸表の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に従って、監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・ 不正又は誤謬による重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽表示リスクに対応した監査手続を立案し、実施する。監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。さらに、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。
- ・ 財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、監査に関連する内部統制を検討する。
- ・ 経営者が採用した会計方針及びその適用方法の適切性、並びに経営者によって行われた会計上の見積りの合理性及び関連する注記事項の妥当性を評価する。
- ・ 経営者が継続企業を前提として財務諸表を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められるかどうか結論付ける。継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、監査報告書において財務諸表の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する財務諸表の注記事項が適切でない場合は、財務諸表に対して除外事項付意見を表明することが求められている。監査人の結論は、監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、企業は継続企業として存続できなくなる可能性がある。
- ・ 財務諸表の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠しているかどうかとともに、関連する注記事項を含めた財務諸表の表示、構成及び内容、並びに財務諸表が基礎となる取引や会計事象を適正に表示しているかどうかを評価する。

監査人は、監査役に対して、計画した監査の範囲とその実施時期、監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む監査上の重要な発見事項、及び監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。

監査人は、監査役に対して、独立性についての我が国における職業倫理に関する規定を遵守したこと、並びに監査人の独立性に影響を与えると合理的に考えられる事項、及び阻害要因を除去又は軽減するためにセーフガードを講じている場合はその内容について報告を行う。

#### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

- 
- ※ 1. 上記は監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社が別途保管しております。
2. XBRLデータは監査の対象に含まれておりません。

## 財務諸表

## (1) 【貸借対照表】

| 期別       |          | 第21期<br>(2022年3月31日現在) |  | 第22期<br>(2023年3月31日現在) |  |
|----------|----------|------------------------|--|------------------------|--|
| 科目       | 注記<br>番号 | 金額（千円）                 |  | 金額（千円）                 |  |
| (資産の部)   |          |                        |  |                        |  |
| 流動資産     |          |                        |  |                        |  |
| 預金       | ※3       | 1,119,746              |  | 283,845                |  |
| 短期貸付金    | ※3       | -                      |  | 950,000                |  |
| 前払費用     |          | 8,219                  |  | 5,034                  |  |
| 未収委託者報酬  |          | 392,027                |  | 311,298                |  |
| 未収運用受託報酬 |          | 7,791                  |  | 7,635                  |  |
| 未収収益     | ※3       | 4,951                  |  | 8,227                  |  |
| 立替金      |          | 17,635                 |  | 21,311                 |  |
| 流動資産計    |          | 1,550,370              |  | 1,587,351              |  |
| 固定資産     |          |                        |  |                        |  |
| 有形固定資産   |          |                        |  |                        |  |
| 建物       | ※1       | 8,611                  |  | 7,715                  |  |
| 器具備品     | ※1       | 4,738                  |  | 105                    |  |
| 無形固定資産   |          |                        |  |                        |  |
| ソフトウェア   | ※2       | 1,425                  |  | 1,125                  |  |
| 投資その他の資産 |          |                        |  |                        |  |
| 差入保証金    | ※3       | 25,451                 |  | 23,816                 |  |
| 繰延税金資産   |          | 29,879                 |  | 18,719                 |  |
| 固定資産計    |          | 70,106                 |  | 51,482                 |  |
| 資産合計     |          | 1,620,476              |  | 1,638,833              |  |



| 期別       |          | 第21期<br>(2022年3月31日現在) |           | 第22期<br>(2023年3月31日現在) |           |
|----------|----------|------------------------|-----------|------------------------|-----------|
| 科目       | 注記<br>番号 | 金額（千円）                 |           | 金額（千円）                 |           |
| (負債の部)   |          |                        |           |                        |           |
| 流動負債     |          |                        |           |                        |           |
| 未払金      |          |                        | 318,954   |                        | 196,926   |
| 未払手数料    | ※3       | 207,242                |           | 171,052                |           |
| その他未払金   | ※3       | 111,711                |           | 25,874                 |           |
| 未払費用     |          |                        | 14,869    |                        | 72,669    |
| 未払法人税等   |          |                        | 17,853    |                        | 13,477    |
| 未払消費税等   |          |                        | 17,951    |                        | 10,230    |
| 賞与引当金    |          |                        | 41,308    |                        | 41,008    |
| 役員賞与引当金  |          |                        | 6,713     |                        | —         |
| 預り金      |          |                        | 18,127    |                        | 15,590    |
| 損失補填引当金  |          |                        | 16,863    |                        | —         |
| 流動負債計    |          |                        | 452,641   |                        | 349,903   |
| 固定負債     |          |                        |           |                        |           |
| 資産除去債務   |          |                        | 18,418    |                        | —         |
| 固定負債計    |          |                        | 18,418    |                        | —         |
| 負債合計     |          |                        | 471,060   |                        | 349,903   |
| (純資産の部)  |          |                        |           |                        |           |
| 株主資本     |          |                        |           |                        |           |
| 資本金      |          |                        | 495,000   |                        | 495,000   |
| 利益剰余金    |          |                        |           |                        |           |
| その他利益剰余金 |          | 654,416                |           | 793,930                |           |
| 繰越利益剰余金  |          |                        |           |                        |           |
| 利益剰余金合計  |          |                        | 654,416   |                        | 793,930   |
| 株主資本合計   |          |                        | 1,149,416 |                        | 1,288,930 |
| 純資産合計    |          |                        | 1,149,416 |                        | 1,288,930 |
| 負債・純資産合計 |          |                        | 1,620,476 |                        | 1,638,833 |

| (2) 【損益計算書】 |          | 第21期<br>(2022年3月31日現在) |           | 第22期<br>(2023年3月31日現在) |           |
|-------------|----------|------------------------|-----------|------------------------|-----------|
| 期別          |          | 金額（千円）                 |           | 金額（千円）                 |           |
| 科目          | 注記<br>番号 | 金額（千円）                 |           | 金額（千円）                 |           |
| 営業収益        |          |                        |           |                        |           |
| 委託者報酬       |          | 1,850,193              |           | 1,705,305              |           |
| 運用受託報酬      |          | 70,345                 |           | 72,800                 |           |
| その他営業収益     |          | 18,581                 |           | 17,502                 |           |
| 営業収益計       |          |                        | 1,939,121 |                        | 1,795,608 |
| 営業費用        |          |                        |           |                        |           |
| 支払手数料       | ※1       | 898,322                |           | 854,274                |           |
| 広告宣伝費       |          | 6,316                  |           | 7,403                  |           |
| 調査費         |          |                        |           |                        |           |
| 図書費         |          | 321                    |           | 322                    |           |
| 調査費         |          | 261,578                |           | 236,012                |           |
| 委託計算費       |          | 86,715                 |           | 65,303                 |           |
| 営業雑経費       |          |                        |           |                        |           |
| 通信費         |          | 1,198                  |           | 1,728                  |           |
| 印刷費         |          | 9,326                  |           | 11,099                 |           |
| 協会費         |          | 2,127                  |           | 2,413                  |           |
| その他営業雑経費    |          | 18,475                 |           | 13,469                 |           |
| 営業費用計       |          |                        | 1,284,381 |                        | 1,192,026 |
| 一般管理費       |          |                        |           |                        |           |
| 給料          |          |                        |           |                        |           |
| 役員報酬        |          | 29,100                 |           | 30,370                 |           |
| 給料・手当       |          | 162,688                |           | 169,794                |           |
| 賞与引当金繰入額    |          | 38,468                 |           | 39,702                 |           |
| 役員賞与引当金繰入額  |          | 6,476                  |           | —                      |           |
| 退職給付費用      |          | 28,534                 |           | 23,874                 |           |
| 交際費         |          | 13                     |           | —                      |           |
| 旅費交通費       |          | 2,367                  |           | 2,891                  |           |
| 租税公課        |          | 37,562                 |           | 32,771                 |           |
| 不動産賃借料      |          | 39,857                 |           | 24,357                 |           |
| 固定資産減価償却費   |          | 1,493                  |           | 1,851                  |           |
| 資産除去債務利息費用  |          | 619                    |           | 382                    |           |
| 諸経費         |          | 86,623                 |           | 84,289                 |           |
| 一般管理費計      |          |                        | 433,805   |                        | 410,287   |
| 営業利益        |          |                        | 220,934   |                        | 193,295   |

|              |    |         |         |        |         |
|--------------|----|---------|---------|--------|---------|
| 営業外収益        |    |         |         |        |         |
| 受取利息         | ※1 | 2       |         | 4,166  |         |
| 為替差益         |    | 264     |         | —      |         |
| 役員賞与引当金戻入益   |    | —       |         | 277    |         |
| 資産除去債務履行差額   |    | —       |         | 18,481 |         |
| 営業外収益計       |    |         | 266     |        | 22,924  |
| 営業外費用        |    |         |         |        |         |
| 為替差損         |    | —       |         | 347    |         |
| 過怠金          |    | —       |         | 14,000 |         |
| 損失補填引当金繰入額   |    | 1,346   |         | —      |         |
| 損失補填金        |    | —       |         | 1,902  |         |
| 営業外費用計       |    |         | 1,346   |        | 16,250  |
| 経常利益         |    |         | 219,853 |        | 199,969 |
| 特別利益         |    |         |         |        |         |
| 固定資産売却益      |    | —       |         | 85     |         |
| 特別利益計        |    |         | —       |        | 85      |
| 特別損失         |    |         |         |        |         |
| 固定資産除却損      |    | 112     |         | 0      |         |
| 組織再編費用       |    | —       |         | 28,288 |         |
| 特別損失計        |    |         | 112     |        | 28,288  |
| 税引前当期純利益     |    |         | 219,740 |        | 171,766 |
| 法人税、住民税及び事業税 | ※1 | 70,373  |         | 21,092 |         |
| 法人税等調整額      |    | △ 9,146 | 61,227  | 11,160 | 32,252  |
| 当期純利益        |    |         | 158,513 |        | 139,513 |

## (3) 【株主資本等変動計算書】

第21期（自 2021年4月1日 至 2022年3月31日）

（単位：千円）

|         | 株主資本    |                     |         |           | 株主資本合計    | 純資産合計 |
|---------|---------|---------------------|---------|-----------|-----------|-------|
|         | 資本金     | 利益剰余金               |         |           |           |       |
|         |         | その他利益剰余金<br>繰越利益剰余金 | 利益剰余金合計 |           |           |       |
| 当期首残高   | 495,000 | 495,903             | 495,903 | 990,903   | 990,903   |       |
| 当期変動額   |         |                     |         |           |           |       |
| 当期純利益   |         | 158,513             | 158,513 | 158,513   | 158,513   |       |
| 当期変動額合計 | -       | 158,513             | 158,513 | 158,513   | 158,513   |       |
| 当期末残高   | 495,000 | 654,416             | 654,416 | 1,149,416 | 1,149,416 |       |

第22期（自 2022年4月1日 至 2023年3月31日）

（単位：千円）

|         | 株主資本    |                     |         |           | 株主資本合計    | 純資産合計 |
|---------|---------|---------------------|---------|-----------|-----------|-------|
|         | 資本金     | 利益剰余金               |         |           |           |       |
|         |         | その他利益剰余金<br>繰越利益剰余金 | 利益剰余金合計 |           |           |       |
| 当期首残高   | 495,000 | 654,416             | 654,416 | 1,149,416 | 1,149,416 |       |
| 当期変動額   |         |                     |         |           |           |       |
| 当期純利益   |         | 139,513             | 139,513 | 139,513   | 139,513   |       |
| 当期変動額合計 | -       | 139,513             | 139,513 | 139,513   | 139,513   |       |
| 当期末残高   | 495,000 | 793,930             | 793,930 | 1,288,930 | 1,288,930 |       |

## 〔重要な会計方針〕

| 項 目                        | 内 容   |    |       |      |    |
|----------------------------|---|----|-------|------|----|
| 1. 固定資産の減価償却の方法            | <p>有形固定資産<br/>定率法を採用しております。ただし、2016年4月以降取得の建物<br/>附属設備については定額法を採用しております。なお、主な耐用<br/>年数は下記のとおりであります。</p> <table border="0"> <tr> <td>建物</td> <td>8～38年</td> </tr> <tr> <td>器具備品</td> <td>5年</td> </tr> </table> <p>無形固定資産<br/>定額法によっております。なお、自社利用のソフトウェアにつ<br/>いては、社内における利用可能期間（5年）に基づいております。</p>  | 建物 | 8～38年 | 器具備品 | 5年 |
| 建物                         | 8～38年   |    |       |      |    |
| 器具備品                       | 5年  |    |       |      |    |
| 2. 引当金の計上基準                | <p>賞与引当金<br/>従業員に対して支給する賞与の支出に備えるため、従業員に対<br/>する賞与の支給見込額のうち、当会計年度に帰属する額を計上し<br/>ております。</p>  |    |       |      |    |
| 3. 収益及び費用の計上基準             | <p>顧客との契約から生じる収益に関する主要な収益における主要<br/>な履行義務の内容及び当該履行義務を充足する通常の時点（収益<br/>を認識する通常の時点）は以下のとおりであります。</p> <p>(1) 委託者報酬<br/>投資信託の信託約款に基づき信託財産の運用指図等を行っており、<br/>委託者報酬は日々の純資産総額に対する一定の報酬率を乗じて<br/>計算され、毎計算期間の最初の6カ月終了日および毎計算期末ま<br/>たは信託終了のときに受け取ります。当該報酬は信託期間の経過<br/>とともに履行義務が充足されるという前提に基づき、投資信託の<br/>運用期間にわたり収益として認識しております。</p> <p>(2) 運用受託報酬<br/>顧客との投資一任契約に基づき運用業務等を行っており、運用受<br/>託報酬は日々の契約期間の純資産総額等に対する一定の報酬率を<br/>乗じて計算され、契約で定められた6カ月毎または12カ月毎の履行<br/>期間の翌月末までに受け取ります。当該報酬は契約期間の経過と<br/>ともに履行義務が充足されるという前提に基づき、契約期間にわ<br/>たり収益として認識しております。</p> |    |       |      |    |
| 4. 外貨建の資産及び負債の本邦通貨への換算基準   | <p>外貨建金銭債権債務は、当会計年度末日の直物為替相場により<br/>円貨に換算し、換算差額は損益として処理しております。</p>  |    |       |      |    |
| 5. その他財務諸表作成のための基本となる重要な事項 | <p>グループ通算制度の離脱<br/>当社はグループ通算制度の適用要件を満たさなくなったため、<br/>株式会社SBI新生銀行を連結親会社とするグループ通算制度から離<br/>脱しております。</p>  |    |       |      |    |

## 〔会計方針の変更〕

## （時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用）

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下、「時価算定会計基準適用指針」という。）を当会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。

なお、財務諸表に与える影響はありません。

## 〔注記事項〕

## （貸借対照表関係）

| 第21期<br>（2022年3月31日現在）   | 第22期<br>（2023年3月31日現在）  |
|--|---|
| 1. 有形固定資産の減価償却累計額<br>建物 26,928千円<br>器具備品 8,690千円<br><br>2. 無形固定資産の減価償却累計額<br>ソフトウェア 75千円<br><br>3. 関係会社に対する資産及び負債<br>預金 330,999千円<br>差入保証金 25,451千円<br>未払手数料 31,010千円<br>その他未払金 56,554千円 | 1. 有形固定資産の減価償却累計額<br>建物 16,273千円<br>器具備品 7,108千円<br><br>2. 無形固定資産の減価償却累計額<br>ソフトウェア 375千円<br><br>3. 関係会社に対する資産及び負債<br>短期貸付金 950,000千円<br>未収収益 4,164千円 |

## （損益計算書関係）

| 第21期<br>（自 2021年4月1日<br>至 2022年3月31日）  | 第22期<br>（自 2022年4月1日<br>至 2023年3月31日） |
|--|---------------------------------------|
| 1. 関係会社との取引<br>支払手数料 175,665千円<br>法人税、住民税及び事業税（注） 56,536千円<br><br>（注）当該金額は、連結法人税額のうち、<br>当社の個別帰属額であり、連結納税親会社<br>へ支払う金額であります。 | 1. 関係会社との取引<br>受取利息 4,164千円           |

## （株主資本等変動計算書関係）

| 第21期<br>（自 2021年4月1日<br>至 2022年3月31日） |         |    |    |        | 第22期<br>（自 2022年4月1日<br>至 2023年3月31日） |         |    |    |        |
|---------------------------------------|---------|----|----|--------|---------------------------------------|---------|----|----|--------|
| 発行済株式に関する事項                           |         |    |    |        | 発行済株式に関する事項                           |         |    |    |        |
| 株式の種類                                 | 当会計年度期首 | 増加 | 減少 | 当会計年度末 | 株式の種類                                 | 当会計年度期首 | 増加 | 減少 | 当会計年度末 |
| 普通株式(株)                               | 9,900   |    |    | 9,900  | 普通株式(株)                               | 9,900   |    |    | 9,900  |

## （リース取引関係）

| 第21期<br>（自 2021年4月1日<br>至 2022年3月31日） | 第22期<br>（自 2022年4月1日<br>至 2023年3月31日） |
|---------------------------------------|---------------------------------------|
| 該当事項はありません。                           | 該当事項はありません。                           |

## （金融商品関係）

第21期（自 2021年4月1日 至 2022年3月31日）

## 1. 金融商品の状況に対する事項

## （1）金融商品に対する取組方針

当社は、投資信託委託業務及び投資顧問業務などの金融サービス事業を行っております。これらの事業を行うため、親会社である株式会社新生銀行からの出資により資金調達をしております。

また、資金運用については、短期的な預金等に限定しております。

## （2）金融商品の内容及びそのリスク並びに金融商品に係るリスク管理体制

当社が保有する金融資産である預金及び差入保証金は、預入先の金融機関の信用リスクに晒されておりますが、外部格付機関による格付を定期的に確認することで信用リスクを管理しております。未収委託者報酬及び未収運用受託報酬は、当社が受託銀行に対して運用指図を行う信託財産より支弁され、当社は当該信託財産の内容を把握しており、当該信託財産は受託銀行において分別保管されているため、信用リスクは僅少であると認識しております。なお、信託財産外より支払われる未収運用受託報酬については、外部格付機関による格付を定期的に確認することで信用リスクを管理しております。

また、金融負債である未払手数料及びその他未払金は、1年以内に支払期日が到来するものであり、運転資金の状況を把握することにより流動性リスクを管理しております。

## 2. 金融商品の時価等に関する事項

預金、未収委託者報酬、未払手数料及びその他未払金については、短期間で決済されるため時価は帳簿価額と近似するものであることから、記載を省略しております。

第22期（自 2022年4月1日 至 2023年3月31日）

## 1. 金融商品の状況に対する事項

## （1）金融商品に対する取組方針

当社は、投資信託委託業務及び投資顧問業務などの金融サービス事業を行っております。これらの事業を行うため、親会社であるSBIグローバルアセットマネジメント株式会社からの出資により資金調達をしております。

また、資金運用については、短期的な預金等に限定しております。

## （2）金融商品の内容及びそのリスク並びに金融商品に係るリスク管理体制

当社が保有する金融資産である預金及び差入保証金は、預入先の金融機関の信用リスクに晒されておりますが、外部格付機関による格付を定期的に確認することで信用リスクを管理しております。未収委託者報酬及び未収運用受託報酬は、当社が受託銀行に対して運用指図を行う信託財産より支弁され、当社は当該信託財産の内容を把握しており、当該信託財産は受託銀行において分別保管されているため、信用リスクは僅少であると認識しております。なお、信託財産外より支払われる未収運用受託報酬については、外部格付機関による格付を定期的に確認することで信用リスクを管理しております。

また、金融負債である未払手数料及びその他未払金は、1年以内に支払期日が到来するものであり、運転資金の状況を把握することにより流動性リスクを管理しております。

## 2. 金融商品の時価等に関する事項

預金、未収委託者報酬、未払手数料及びその他未払金については、短期間で決済されるため時価は帳簿価額と近似するものであることから、記載を省略しております。

## (有価証券関係)

| 第21期<br>(自 2021年4月1日<br>至 2022年3月31日) | 第22期<br>(自 2022年4月1日<br>至 2023年3月31日) |
|---------------------------------------|---------------------------------------|
| 該当事項はありません。                           | 該当事項はありません。                           |

## (デリバティブ取引関係)

| 第21期<br>(自 2021年4月1日<br>至 2022年3月31日) | 第22期<br>(自 2022年4月1日<br>至 2023年3月31日) |
|---------------------------------------|---------------------------------------|
| 当社は、デリバティブ取引を行っておりませんので、該当事項はありません。   | 当社は、デリバティブ取引を行っておりませんので、該当事項はありません。   |

## (セグメント情報等)

| 第21期<br>(自 2021年4月1日<br>至 2022年3月31日)  | 第22期<br>(自 2022年4月1日<br>至 2023年3月31日)  |
|--|--|
| <p>1. セグメント情報<br/>当社は資産運用業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。</p> <p>2. 関連情報<br/>(1) サービスごとの情報<br/>資産運用業区分の外部顧客への営業収益が損益計算書の営業収益の90%を超えるため、記載を省略しております。<br/>(2) 地域ごとの情報<br/>営業収益<br/>本邦の外部顧客への営業収益に区分した金額が損益計算書の営業収益の90%を超えるため、記載を省略しております。<br/>有形固定資産<br/>本邦に所在している有形固定資産の金額が貸借対照表の有形固定資産の金額の100%であるため、記載を省略しております。<br/>(3) 主要な顧客ごとの情報<br/>投資信託の受益者の情報を制度上知り得ないため、記載を省略しております。</p> | <p>1. セグメント情報<br/>当社は資産運用業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。</p> <p>2. 関連情報<br/>(1) サービスごとの情報<br/>資産運用業区分の外部顧客への営業収益が損益計算書の営業収益の90%を超えるため、記載を省略しております。<br/>(2) 地域ごとの情報<br/>営業収益<br/>本邦の外部顧客への営業収益に区分した金額が損益計算書の営業収益の90%を超えるため、記載を省略しております。<br/>有形固定資産<br/>本邦に所在している有形固定資産の金額が貸借対照表の有形固定資産の金額の100%であるため、記載を省略しております。<br/>(3) 主要な顧客ごとの情報<br/>投資信託の受益者の情報を制度上知り得ないため、記載を省略しております。</p> |



## (資産除去債務関係)

| 第21期<br>(自 2021年4月1日<br>至 2022年3月31日)  | 第22期<br>(自 2022年4月1日<br>至 2023年3月31日) |                 |              |                |      |        |  |     |        |        |   |      |                 |            |          |                |      |        |  |     |     |        |  |
|--|---------------------------------------|-----------------|--------------|----------------|------|--------|--|-----|--------|--------|---|------|-----------------|------------|----------|----------------|------|--------|--|-----|-----|--------|--|
| <p>資産除去債務のうち貸借対照表に計上しているもの</p> <p>1. 当該資産除去債務の概要<br/>当社は、本社事務所の定期建物賃借契約に基づき、事務所退去時の原状回復義務に関し、資産除去債務を計上しております。</p> <p>2. 当該資産除去債務の金額の算定方法<br/>使用見込期間を24.4年と見積り、割引率は2.056%を使用して資産除去債務の金額を計算しております。</p> <p>3. 当会計年度における当該資産除去債務の総額の増減<br/>当会計年度において、資産の除去時点において必要とされる除去費用が当初見積額を下回る見込みであることが明らかになったことから、変更前の資産除去債務残高に見積りの変更による影響額15,111千円を減算しております。</p> <p style="text-align: right;">(単位：千円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>期首残高</th> <th>有形固定資産の取得に伴う増加額</th> <th>時の経過による調整額</th> <th>見積りの変更による増減額</th> <th>期末残高</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">32,910</td> <td></td> <td style="text-align: center;">619</td> <td style="text-align: center;">15,111</td> <td style="text-align: center;">18,418</td> </tr> </tbody> </table> | 期首残高                                  | 有形固定資産の取得に伴う増加額 | 時の経過による調整額   | 見積りの変更による増減額   | 期末残高 | 32,910 |  | 619 | 15,111 | 18,418 | <p>前会計年度まで貸借対照表に計上していた資産除去債務について、対象となる本社事務所からの退去が確定したため、当会計年度において当該資産除去債務の残高から原状回復費の実費相当額を減額した後の残高を0円まで減額いたしました。</p> <p style="text-align: right;">(単位：千円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>期首残高</th> <th>有形固定資産の取得に伴う増加額</th> <th>時の経過による調整額</th> <th>履行による減少額</th> <th>履行後残高の戻入による減少額</th> <th>期末残高</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">18,418</td> <td></td> <td style="text-align: center;">382</td> <td style="text-align: center;">320</td> <td style="text-align: center;">18,481</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> | 期首残高 | 有形固定資産の取得に伴う増加額 | 時の経過による調整額 | 履行による減少額 | 履行後残高の戻入による減少額 | 期末残高 | 18,418 |  | 382 | 320 | 18,481 |  |
| 期首残高   | 有形固定資産の取得に伴う増加額                       | 時の経過による調整額      | 見積りの変更による増減額 | 期末残高           |      |        |  |     |        |        |   |      |                 |            |          |                |      |        |  |     |     |        |  |
| 32,910   |                                       | 619             | 15,111       | 18,418         |      |        |  |     |        |        |   |      |                 |            |          |                |      |        |  |     |     |        |  |
| 期首残高   | 有形固定資産の取得に伴う増加額                       | 時の経過による調整額      | 履行による減少額     | 履行後残高の戻入による減少額 | 期末残高 |        |  |     |        |        |   |      |                 |            |          |                |      |        |  |     |     |        |  |
| 18,418   |                                       | 382             | 320          | 18,481         |      |        |  |     |        |        |   |      |                 |            |          |                |      |        |  |     |     |        |  |

## （関連当事者情報）

第21期（自 2021年4月1日 至 2022年3月31日）

## 1. 関連当事者との取引

## 当社の親会社及び主要株主（会社等に限る。）等

| 種類  | 会社等の名称       | 所在地        | 資本金又は出資金<br>(百万円) | 事業の内容<br>又は職業 | 議決権等の所有<br>(被所有)割合    | 関連当事者<br>との関係 | 取引の内容                        | 取引金額<br>(千円) | 科目         | 期末<br>残高<br>(千円) |
|-----|--------------|------------|-------------------|---------------|-----------------------|---------------|------------------------------|--------------|------------|------------------|
| 親会社 | 株式会社<br>新生銀行 | 東京都<br>中央区 | 512,204           | 銀行業           | (被所有)<br>直接所有<br>100% | 営業取引<br>役員の兼任 | 支払手数料                        | 162,779      | 未払手<br>数料  | 14,124           |
|     |              |            |                   |               |                       |               | 連結法人税額のうち<br>連結納税親会社<br>への支出 | 56,536       | その他<br>未払金 | 56,536           |

(注) 1. 上記金額のうち、取引金額には消費税等は含まれておりません。

2. 取引条件及び取引条件の決定方針等

一般的取引条件を基に、協議の上決定しております。

## 2. 親会社に関する注記

## 親会社情報

SBIホールディングス株式会社（東京証券取引所プライム市場に上場）

SBI地銀ホールディングス株式会社（東京証券取引所プライム市場に上場）

株式会社新生銀行（東京証券取引所スタンダード市場に上場）

第22期（自 2022年4月1日 至 2023年3月31日）

## 1. 関連当事者との取引

## 当社の親会社及び主要株主（会社等に限る。）等

| 種類  | 会社等の名称                                 | 所在地       | 資本金又は出資金<br>(百万円) | 事業の内容<br>又は職業   | 議決権等の所有<br>(被所有)割合    | 関連当事者<br>との関係 | 取引の内容 | 取引金額<br>(千円) | 科目        | 期末<br>残高<br>(千円) |
|-----|--|-----------|-------------------|-----------------|-----------------------|---------------|-------|--------------|-----------|------------------|
| 親会社 | SBIグロー<br>バルアセッ<br>トマネジメ<br>ント<br>株式会社 | 東京都<br>港区 | 400               | アセット<br>マネジメント業 | (被所有)<br>直接所有<br>100% | 資金の貸付         | 短期貸付  | 950,000      | 短期<br>貸付金 | 950,000          |
|     |  |           |                   |                 |                       |               | 受取利息  | 4,164        | 未収収益      | 4,164            |

(注) 1. 上記金額のうち、取引金額には消費税等は含まれておりません。

2. 取引条件及び取引条件の決定方針等

一般的取引条件を基に、協議の上決定しております。

## 2. 親会社に関する注記

## 親会社情報

SBIホールディングス株式会社（東京証券取引所プライム市場に上場）

SBIアセットマネジメントグループ株式会社

SBIグローバルアセットマネジメント株式会社（東京証券取引所プライム市場に上場）

## （税効果会計関係）

## 1. 繰延税金資産及び繰延税金負債の発生の主な原因別の内訳

|                           | 第21期<br>(2022年3月31日) | 第22期<br>(2023年3月31日) |
|---------------------------|----------------------|----------------------|
| 繰延税金資産                    |                      |                      |
| 税務上の繰越欠損金（注）              | 17,807千円             | 826千円                |
| 未払事業税                     | 3,937千円              | 1,332千円              |
| 未払事業所税                    | 234千円                | -                    |
| 賞与引当金等                    | 14,518千円             | 14,189千円             |
| 資産除去債務                    | 5,639千円              | -                    |
| 損失補填引当金                   | 5,163千円              | -                    |
| その他                       | 2,483千円              | 2,370千円              |
| 繰延税金資産小計                  | 49,785千円             | 18,719千円             |
| 税務上の繰越欠損金に係る<br>評価性引当額    | △13,990千円            | -                    |
| 将来減算一時差異等の合計に<br>係る評価性引当額 | △5,915千円             | -                    |
| 評価性引当額小計                  | △19,906千円            | -                    |
| 繰延資産合計                    | 29,879千円             | 18,719千円             |
| 差引：繰延税金資産の純額              | 29,879千円             | 18,719千円             |

（注）1. 評価性引当額が19,906千円減少しております。この減少の主な要因は、資産除去債務に係る評価性引当額が減少したこと及び税務上の繰越欠損金に係る評価性引当額が減少したことに伴うものであります。

## 2. 税務上の繰越欠損金及びその繰延税金資産の繰越期限別の金額

## 第21期（2022年3月31日）

|             | 1年以内   | 1年超<br>2年以内 | 2年超<br>3年以内 | 3年超<br>4年以内 | 4年超<br>5年以内 | 5年超 | 合計      |
|-------------|--------|-------------|-------------|-------------|-------------|-----|---------|
| 税務上繰越欠損金(a) | 8,403  | 9,403       | -           | -           | -           | -   | 17,807  |
| 評価性引当額      | △4,586 | △9,403      | -           | -           | -           | -   | △13,990 |
| 繰延税金資産      | 3,816  | -           | -           | -           | -           | -   | 3,816   |

（a）税務上の繰越欠損金は、法定実効税率を乗じた額であります。

## 第22期（2023年3月31日）

|             | 1年以内 | 1年超<br>2年以内 | 2年超<br>3年以内 | 3年超<br>4年以内 | 4年超<br>5年以内 | 5年超 | 合計  |
|-------------|------|-------------|-------------|-------------|-------------|-----|-----|
| 税務上繰越欠損金(b) | 826  | -           | -           | -           | -           | -   | 826 |
| 評価性引当額      | -    | -           | -           | -           | -           | -   | -   |
| 繰延税金資産      | 826  | -           | -           | -           | -           | -   | 826 |

（b）税務上の繰越欠損金は、法定実効税率を乗じた額であります。

## 2. 法定実効税率と税効果会計適用後の法人税等の負担率との差異の原因となった主な項目別の内訳

|                    | 第21期<br>(2022年3月31日) | 第22期<br>(2023年3月31日) |
|--------------------|----------------------|----------------------|
| 法定実効税率             | 30.62%               | 30.62%               |
| 住民税均等割             | 0.13%                | 0.15%                |
| 交際費等永久に損金に算入されない項目 | 0.94%                | 1.51%                |
| 評価性引当額の増減          | △3.76%               | △11.59%              |
| その他                | △0.07%               | △1.92%               |
| 税効果会計適用後の法人税等の負担率  | 27.86%               | 18.78%               |

### （収益認識関係）

第21期（自2021年4月1日至2022年3月31日）

#### 1. 顧客との契約から生じる収益を分解した情報

収益及び契約から生じるキャッシュ・フローの性質、金額、時期及び不確実性に影響を及ぼす主要な要因に基づく区分に当該収益を分解した情報については、重要性が乏しいため、記載を省略しております。

#### 2. 顧客との契約から生じる収益を理解するための基礎となる情報

収益を理解するための基礎となる情報については、重要な会計方針「3. 収益及び費用の計上基準」に記載のとおりであります。

#### 3. 当期及び翌期以降の収益の金額を理解するための情報

##### 残存履行義務に配分した取引価格

当社は、残存履行義務に配分した取引価格の注記に当たっては、実務上の便法を適用し、当初に予想される契約期間が1年以内の契約について残存履行義務に関する情報の記載を省略しております。

第22期（自2022年4月1日至2023年3月31日）

#### 1. 顧客との契約から生じる収益を分解した情報

収益及び契約から生じるキャッシュ・フローの性質、金額、時期及び不確実性に影響を及ぼす主要な要因に基づく区分に当該収益を分解した情報については、重要性が乏しいため、記載を省略しております。

#### 2. 顧客との契約から生じる収益を理解するための基礎となる情報

収益を理解するための基礎となる情報については、重要な会計方針「3. 収益及び費用の計上基準」に記載のとおりであります。

#### 3. 当期及び翌期以降の収益の金額を理解するための情報

##### 残存履行義務に配分した取引価格

当社は、残存履行義務に配分した取引価格の注記に当たっては、実務上の便法を適用し、当初に予想される契約期間が1年以内の契約について残存履行義務に関する情報の記載を省略しております。

## （退職給付関係）

| 第21期<br>（自 2021年4月1日<br>至 2022年3月31日）                 | 第22期<br>（自 2022年4月1日<br>至 2023年3月31日）                                 |
|---|---|
| 親会社との出向者の取扱いに関する協定書に基づいて親会社に支払った金額を退職給付費用として計上しております。 | 株式会社SBI新生銀行との出向者の取扱いに関する協定書に基づいて株式会社SBI新生銀行に支払った金額を退職給付費用として計上しております。 |

## （1株当たり情報）

| 第21期<br>（自 2021年4月1日<br>至 2022年3月31日）  | 第22期<br>（自 2022年4月1日<br>至 2023年3月31日）  |
|--|--|
| 1株当たり純資産額 116,102円68銭<br>1株当たり当期純利益 16,011円44銭<br>（注）<br>1. なお、潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため、記載しておりません。<br>2. 当期純利益は全て普通株式に帰属するものであります。また、期中平均株式数は議決権総数と同一であります。 | 1株当たり純資産額 130,194円99銭<br>1株当たり当期純利益 14,092円31銭<br>（注）<br>1. なお、潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため、記載しておりません。<br>2. 当期純利益は全て普通株式に帰属するものであります。また、期中平均株式数は議決権総数と同一であります。 |

## （重要な後発事象）

| 第22期<br>（自 2022年4月1日<br>至 2023年3月31日）   |
|---|
| <p>（共通支配下の取引等）<br/>2023年3月30日の当社臨時株主総会において、当社と同一の親会社を持つ会社であるSBIアセットマネジメント株式会社を吸収合併存続会社とし、当社を吸収合併消滅会社とする吸収合併契約締結の決議が承認可決され、効力発生日である2023年4月1日付をもって吸収合併いたしました。</p> <p>1. 取引の概要<br/>           (1) 結合当事企業の名称<br/>           存続会社：SBIアセットマネジメント株式会社<br/>           消滅会社：当社<br/>           なお、事業の内容は、いずれも投資運用業を主とする金融商品取引業であります。<br/>           (2) 企業結合日<br/>           2023年4月1日<br/>           (3) 企業結合の法的形式<br/>           SBIアセットマネジメント株式会社を存続会社とし、当社を消滅会社とする吸収合併。<br/>           (4) 結合後企業の名称<br/>           SBIアセットマネジメント株式会社<br/>           (5) 取引の目的<br/>           経営資源の有効活用及び最適化を図ることを目的としております。</p> <p>2. 実施した会計処理の概要<br/>           SBIアセットマネジメント株式会社において「企業結合に関する会計基準」及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」に基づき、共通支配下の取引として会計処理を行います。</p> |

#### 4【利害関係人との取引制限】

委託会社は、「金融商品取引法」の定めるところにより、利害関係人との取引について、次に掲げる行為が禁止されています。

自己またはその取締役もしくは執行役との間における取引を行うことを内容とした運用を行うこと(投資者の保護に欠け、もしくは取引の公正を害し、または金融商品取引業の信用を失墜させるおそれがないものとして内閣府令で定めるものを除きます。)

運用財産相互間において取引を行うことを内容とした運用を行うこと(投資者の保護に欠け、もしくは取引の公正を害し、または金融商品取引業の信用を失墜させるおそれがないものとして内閣府令で定めるものを除きます。)

通常取引の条件と異なる条件であって取引の公正を害するおそれのある条件で、委託会社の親法人等(委託会社の総株主等の議決権の過半数を保有していることその他の当該金融商品取引業者と密接な関係を有する法人その他の団体として政令で定める要件に該当する者をいいます。以下において同じ。)または子法人等(委託会社が総株主等の議決権の過半数を保有していることその他の当該金融商品取引業者と密接な関係を有する法人その他の団体として政令で定める要件に該当する者をいいます。以下同じ。)と有価証券の売買その他の取引またはデリバティブ取引を行うこと。

委託会社の親法人等または子法人等の利益を図るため、その行う投資運用業に関して運用の方針、運用財産の額もしくは市場の状況に照らして不必要な取引を行うことを内容とした運用を行うこと。

上記に掲げるもののほか、委託会社の親法人等または子法人等が関与する行為であって、投資者の保護に欠け、もしくは取引の公正を害し、または金融商品取引業の信用を失墜させるおそれのあるものとして内閣府令で定める行為。

#### 5【その他】

##### (1) 定款の変更、その他の重要事項

###### (イ) 定款の変更

2022年6月22日付で、発行可能株式総数を変更する定款の変更を行いました。

###### (ロ) その他の重要事項

SBIアセットマネジメント株式会社は、2022年8月1日に、SBIアセットマネジメント株式会社、SBIボンド・インベストメント・マネジメント株式会社、SBI地方創生アセットマネジメント株式会社の3社合併をいたしました。なお、SBIアセットマネジメント株式会社を存続会社とし、合併後は同商号を継承いたしました。

また、合併後のSBIアセットマネジメント株式会社は、2023年4月1日に、新生インベストメント・マネジメント株式会社と合併をいたしました。なお、SBIアセットマネジメント株式会社を存続会社とし、合併後は同商号を継承いたしました。

##### (2) 訴訟事件その他会社に重要な影響を与えることが予想される事実

該当事項はありません。

## 第2【その他の関係法人の概況】

### 1【名称、資本金の額及び事業の内容】

|             | 名 称                   | 資本金の額<br>(2023年3月末<br>日現在) | 事業の内容  |
|-------------|-----------------------|----------------------------|--|
| 受託会社        | 三菱UFJ信託銀行株式会社         | 324,279百万円                 | 銀行法に基づき銀行業を営むとともに、金融機関の信託業務の兼営等に関する法律(兼営法)に基づき信託業務を営んでいます。 |
| 再信託<br>受託会社 | 日本マスタートラスト信託銀行株式会社    | 10,000百万円                  | 銀行法に基づき銀行業を営むとともに、金融機関の信託業務の兼営等に関する法律(兼営法)に基づき信託業務を営んでいます。 |
| 販売会社        | 株式会社SBI証券             | 48,323百万円                  | 「金融商品取引法」に定める第一種金融商品取引業を営んでいます。                            |
|             | 立花証券株式会社              | 6,695百万円                   |  |
|             | 楽天証券株式会社              | 19,495百万円                  |  |
|             | auカブコム証券株式会社          | 7,196百万円                   |  |
|             | 松井証券株式会社 <sup>1</sup> | 11,945百万円                  |  |
|             | スルガ銀行株式会社             | 30,043百万円                  | 銀行法に基づき、銀行業を営んでいます。  |
| 投資顧問<br>会社  | ウエルスアドバイザー株式会社        | 30百万円                      | 「金融商品取引法」に定める金融商品取引業として投資助言・代理業を営んでいます。                    |

<sup>1</sup> 松井証券株式会社は「My-ラップ積極型」の募集・販売等の取扱いを行っております。

### 2【関係業務の概要】

#### (1) 受託会社

本ファンドの受託会社として、信託財産の保管・管理・計算等を行います。

#### (2) 再信託受託会社

本ファンドの受託会社と再信託契約を締結し、信託事務の一部を行います。

#### (3) 販売会社

本ファンドの販売会社として募集・販売の取扱い、一部解約事務および収益分配金・解約金・償還金の支払い等を行います。

#### (4) 投資顧問会社

本ファンドの投資顧問会社として委託会社に対して運用に関する情報提供及び投資助言等を行います。

### 3【資本関係】

#### (1) 受託会社

該当事項はありません。

#### (2) 再信託受託会社

該当事項はありません。

#### (3) 販売会社

該当事項はありません。

#### (4) 投資顧問会社

該当事項はありません。

### 第3【その他】

(1) 金融商品取引法第15条第2項本文に規定するあらかじめまたは同時に交付しなければならない目論見書（以下「交付目論見書」といいます。）の名称を「投資信託説明書（交付目論見書）」、また、金融商品取引法第15条第3項本文に規定する交付の請求があった時に直ちに交付しなければならない目論見書の名称を「投資信託説明書（請求目論見書）」と記載することがあります。

(2) 目論見書の表紙、表紙裏または裏表紙に、以下を記載することがあります。

委託会社の金融商品取引業者登録番号及び設立年月日

ファンドの基本的性格など

委託会社及びファンドのロゴ・マークや図案など

委託会社のホームページや携帯電話サイトのご案内など

目論見書の使用開始日

(3) 目論見書の表紙または表紙裏に、以下の趣旨の文章の全部または一部を記載することがあります。

投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構及び保険契約者保護機構の保護の対象ではない旨。また、銀行など登録金融機関で購入された場合、投資者保護基金の支払いの対象とはならない旨の記載。

投資信託は、元金及び利回りが保証されているものではない旨の記載。

投資した資産の価値の減少を含むリスクは、投資信託を購入されたお客様が負う旨の記載。

「金融商品取引法第13条の規定に基づく目論見書である。」旨の記載。

「ご購入に際しては、目論見書の内容を十分にお読みください。」という趣旨の記載。

請求目論見書の入手方法（ホームページで閲覧、ダウンロードできるなど）についての記載。

請求目論見書は投資者の請求により販売会社から交付される旨及び当該請求を行なった場合にはその旨の記録をしておくべきである旨の記載。

「信託約款が請求目論見書に掲載されている。」旨の記載。

商品内容に関して重大な変更を行う場合には、投資信託及び投資法人に関する法律に基づき事前に受益者の意向を確認する旨の記載。

投資信託の財産は受託会社において信託法に基づき分別管理されている旨の記載。

有価証券届出書の効力発生及びその確認方法に関する記載。

委託会社の情報として記載することが望ましい事項と判断する事項がある場合は、当該事項の記載。

(4) 交付目論見書の投資リスクに、以下の趣旨の文章の全部または一部を記載することがあります。

ファンドの取引に関して、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリング・オフ）の適用がない旨の記載。

投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構及び保険契約者保護機構の保護の対象ではない旨。また、銀行など登録金融機関で購入された場合、投資者保護基金の支払いの対象とはならない旨の記載。



- (5) 有価証券届出書本文「第一部 証券情報」、「第二部 ファンド情報」に記載の内容について、投資者の理解を助けるため、当該内容を説明した図表などを付加して目論見書の当該内容に関連する箇所に記載することがあります。
- (6) 目論見書に信託約款を掲載し、有価証券届出書本文「第二部 ファンド情報」中「第1 ファンドの状況」「2 投資方針」の詳細な内容につきましては、当該信託約款を参照する旨を記載することで、目論見書の内容の記載とすることがあります。
- (7) 投信評価機関、投信評価会社などによる評価を取得・使用する場合があります。
- (8) 目論見書は電子媒体などとして使用されるほか、インターネットなどに掲載されることがあります。

# 独立監査人の監査報告書

2023年5月25日

SBIアセットマネジメント株式会社

取締役会 御中

有限責任監査法人トーマツ

東京事務所

指定有限責任社員  
業務執行社員

公認会計士

郷右近 隆也

## 監査意見

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「委託会社等の経理状況」に掲げられているSBIアセットマネジメント株式会社の2022年4月1日から2023年3月31日までの第37期事業年度の財務諸表、すなわち、貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書、重要な会計方針及びその他の注記について監査を行った。

当監査法人は、上記の財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、SBIアセットマネジメント株式会社の2023年3月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する事業年度の経営成績を、全ての重要な点において適正に表示しているものと認める。

## 監査意見の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準における当監査法人の責任は、「財務諸表監査における監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、会社から独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

## その他の記載内容

その他の記載内容は、監査した財務諸表を含む開示書類に含まれる情報のうち、財務諸表及びその監査報告書以外の情報である。

当監査法人は、その他の記載内容が存在しないと判断したため、その他の記載内容に対するいかなる作業も実施していない。

## 財務諸表に対する経営者及び監査役の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

財務諸表を作成するに当たり、経営者は、継続企業の前提に基づき財務諸表を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に基づいて継続企業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

監査役の責任は、財務報告プロセスの整備及び運用における取締役の職務の執行を監視することにある。

## 財務諸表監査における監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した監査に基づいて、全体としての財務諸表に不正又は誤謬による重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得て、監査報告書において独立の立場から財務諸表に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正又は誤謬により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、財務諸表の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に従って、監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・ 不正又は誤謬による重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽表示リスクに対応した監査手続を立案し、実施する。監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。さらに、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。
- ・ 財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、監査に関連する内部統制を検討する。
- ・ 経営者が採用した会計方針及びその適用方法の適切性、並びに経営者によって行われた会計上の見積りの合理性及び関連する注記事項の妥当性を評価する。
- ・ 経営者が継続企業を前提として財務諸表を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められるかどうか結論付ける。継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、監査報告書において財務諸表の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する財務諸表の注記事項が適切でない場合は、財務諸表に対して除外事項付意見を表明することが求められている。監査人の結論は、監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、企業は継続企業として存続できなくなる可能性がある。
- ・ 財務諸表の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠しているかどうかとともに、関連する注記事項を含めた財務諸表の表示、構成及び内容、並びに財務諸表が基礎となる取引や会計事象を適正に表示しているかどうかを評価する。

監査人は、監査役に対して、計画した監査の範囲とその実施時期、監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む監査上の重要な発見事項、及び監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。

#### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

- 
- 1．上記は監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社が別途保管しております。
  - 2．XBRLデータは監査の対象に含まれておりません。

# 独立監査人の監査報告書

2023年3月5日

SBIアセットマネジメント株式会社  
取締役会 御中監査法人 ナカチ  
東京都千代田区代表社員 公認会計士 高村 俊行  
業務執行社員代表社員 公認会計士 家 富 義 則  
業務執行社員

## 監査意見

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「ファンドの経理状況」に掲げられているSBIグローバル・ラップファンド(安定型)の2021年12月16日から2022年12月15日までの計算期間の財務諸表、すなわち、貸借対照表、損益及び剰余金計算書、注記表並びに附属明細表について監査を行った。

当監査法人は、上記の財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、SBIグローバル・ラップファンド(安定型)の2022年12月15日現在の信託財産の状態及び同日をもって終了する計算期間の損益の状況を、全ての重要な点において適正に表示しているものと認める。

## 監査意見の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準における当監査法人の責任は、「財務諸表監査における監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、SBIアセットマネジメント株式会社及びファンドから独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

## その他の記載内容

その他の記載内容は、有価証券報告書及び有価証券届出書(訂正有価証券届出書を含む。)に含まれる情報のうち、財務諸表及びその監査報告書以外の情報である。経営者の責任は、その他の記載内容を作成し開示することにある。

当監査法人の財務諸表に対する監査意見の対象にはその他の記載内容は含まれておらず、当監査法人はその他の記載内容に対して意見を表明するものではない。

財務諸表監査における当監査法人の責任は、その他の記載内容を通読し、通読の過程において、その他の記載内容と財務諸表又は当監査法人が監査の過程で得た知識との間に重要な相違があるかどうか検討すること、また、そのような重要な相違以外にその他の記載内容に重要な誤りの兆候があるかどうか注意を払うことにある。

当監査法人は、実施した作業に基づき、その他の記載内容に重要な誤りがあると判断した場合には、その事実を報告することが求められている。

その他の記載内容に関して、当監査法人が報告すべき事項はない。

## 財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

財務諸表を作成するに当たり、経営者は、継続企業の前提に基づき財務諸表を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に基づいて継続企業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

#### 財務諸表監査における監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した監査に基づいて、全体としての財務諸表に不正又は誤謬による重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得て、監査報告書において独立の立場から財務諸表に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正又は誤謬により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、財務諸表の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に従って、監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・ 不正又は誤謬による重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽表示リスクに対応した監査手続を立案し、実施する。監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。さらに、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。
- ・ 財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、監査に関連する内部統制を検討する。
- ・ 経営者が採用した会計方針及びその適用方法の適切性、並びに経営者によって行われた会計上の見積りの合理性及び関連する注記事項の妥当性を評価する。
- ・ 経営者が継続企業を前提として財務諸表を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められるかどうか結論付ける。継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、監査報告書において財務諸表の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する財務諸表の注記事項が適切でない場合は、財務諸表に対して除外事項付意見を表明することが求められている。監査人の結論は、監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、ファンドは継続企業として存続できなくなる可能性がある。
- ・ 財務諸表の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠しているかどうかとともに、関連する注記事項を含めた財務諸表の表示、構成及び内容、並びに財務諸表が基礎となる取引や会計事象を適正に表示しているかどうかを評価する。

監査人は、経営者に対して、計画した監査の範囲とその実施時期、監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む監査上の重要な発見事項、及び監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。

監査人は、経営者に対して、独立性についての我が国における職業倫理に関する規定を遵守したこと、並びに監査人の独立性に影響を与えると合理的に考えられる事項、及び阻害要因を除去又は軽減するためにセーフガードを講じている場合はその内容について報告を行う。

#### 利害関係

SBIアセットマネジメント株式会社及びファンドと当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- 
1. 上記は監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社が別途保管しております。
  2. XBRLデータは監査の対象には含まれておりません。



# 独立監査人の監査報告書

2023年3月5日

SBIアセットマネジメント株式会社  
取締役会 御中

監査法人 ナカチ  
東京都千代田区

代表社員 公認会計士 高村 俊行  
業務執行社員

代表社員 公認会計士 家 富 義 則  
業務執行社員

## 監査意見

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「ファンドの経理状況」に掲げられているSBIグローバル・ラップファンド(積極型)の2021年12月16日から2022年12月15日までの計算期間の財務諸表、すなわち、貸借対照表、損益及び剰余金計算書、注記表並びに附属明細表について監査を行った。

当監査法人は、上記の財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、SBIグローバル・ラップファンド(積極型)の2022年12月15日現在の信託財産の状態及び同日をもって終了する計算期間の損益の状況を、全ての重要な点において適正に表示しているものと認める。

## 監査意見の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準における当監査法人の責任は、「財務諸表監査における監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、SBIアセットマネジメント株式会社及びファンドから独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

## その他の記載内容

その他の記載内容は、有価証券報告書及び有価証券届出書(訂正有価証券届出書を含む。)に含まれる情報のうち、財務諸表及びその監査報告書以外の情報である。経営者の責任は、その他の記載内容を作成し開示することにある。

当監査法人の財務諸表に対する監査意見の対象にはその他の記載内容は含まれておらず、当監査法人はその他の記載内容に対して意見を表明するものではない。

財務諸表監査における当監査法人の責任は、その他の記載内容を通読し、通読の過程において、その他の記載内容と財務諸表又は当監査法人が監査の過程で得た知識との間に重要な相違があるかどうか検討すること、また、そのような重要な相違以外にその他の記載内容に重要な誤りの兆候があるかどうか注意を払うことにある。

当監査法人は、実施した作業に基づき、その他の記載内容に重要な誤りがあると判断した場合には、その事実を報告することが求められている。

その他の記載内容に関して、当監査法人が報告すべき事項はない。

## 財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

財務諸表を作成するに当たり、経営者は、継続企業の前提に基づき財務諸表を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に基づいて継続企業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

#### 財務諸表監査における監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した監査に基づいて、全体としての財務諸表に不正又は誤謬による重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得て、監査報告書において独立の立場から財務諸表に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正又は誤謬により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、財務諸表の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に従って、監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・ 不正又は誤謬による重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽表示リスクに対応した監査手続を立案し、実施する。監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。さらに、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。
- ・ 財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、監査に関連する内部統制を検討する。
- ・ 経営者が採用した会計方針及びその適用方法の適切性、並びに経営者によって行われた会計上の見積りの合理性及び関連する注記事項の妥当性を評価する。
- ・ 経営者が継続企業を前提として財務諸表を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められるかどうか結論付ける。継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、監査報告書において財務諸表の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する財務諸表の注記事項が適切でない場合は、財務諸表に対して除外事項付意見を表明することが求められている。監査人の結論は、監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、ファンドは継続企業として存続できなくなる可能性がある。
- ・ 財務諸表の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠しているかどうかとともに、関連する注記事項を含めた財務諸表の表示、構成及び内容、並びに財務諸表が基礎となる取引や会計事象を適正に表示しているかどうかを評価する。

監査人は、経営者に対して、計画した監査の範囲とその実施時期、監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む監査上の重要な発見事項、及び監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。

監査人は、経営者に対して、独立性についての我が国における職業倫理に関する規定を遵守したこと、並びに監査人の独立性に影響を与えると合理的に考えられる事項、及び阻害要因を除去又は軽減するためにセーフガードを講じている場合はその内容について報告を行う。

#### 利害関係

SBIアセットマネジメント株式会社及びファンドと当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- 
1. 上記は監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社が別途保管しております。
  2. XBRLデータは監査の対象には含まれておりません。





# 独立監査人の中間監査報告書

2023年9月5日

SBIアセットマネジメント株式会社  
取締役会 御中

監査法人 ナカチ  
東京都千代田区

代表社員 公認会計士 高村 俊行  
業務執行社員

代表社員 公認会計士 家富 義則  
業務執行社員

## 中間監査意見

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「ファンドの経理状況」に掲げられているSBIグローバル・ラップファンド(安定型)の2022年12月16日から2023年6月15日までの中間計算期間の中間財務諸表、すなわち、中間貸借対照表、中間損益及び剰余金計算書並びに中間注記表について中間監査を行った。

当監査法人は、上記の中間財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠して、SBIグローバル・ラップファンド(安定型)の2023年6月15日現在の信託財産の状態及び同日をもって終了する中間計算期間(2022年12月16日から2023年6月15日まで)の損益の状況に関する有用な情報を表示しているものと認める。

## 中間監査意見の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる中間監査の基準に準拠して中間監査を行った。中間監査の基準における当監査法人の責任は、「中間財務諸表監査における監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、SBIアセットマネジメント株式会社及びファンドから独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、中間監査の意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

## 中間財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠して中間財務諸表を作成し有用な情報を表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない中間財務諸表を作成し有用な情報を表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

中間財務諸表を作成するに当たり、経営者は、継続企業の前提に基づき中間財務諸表を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に基づいて継続企業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

## 中間財務諸表監査における監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した中間監査に基づいて、全体として中間財務諸表の有用な情報の表示に関して投資者の判断を損なうような重要な虚偽表示がないかどうかの合理的な保証を得て、中間監査報告書において独立の立場から中間財務諸表に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正又は誤謬により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、中間財務諸表の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる中間監査の基準に従って、中間監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・ 不正又は誤謬による中間財務諸表の重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽表示リスクに対応する中間監査手続を立案し、実施する。中間監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。さらに、中間監査の意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。なお、中間監査手続は、年度監査と比べて監査手続の一部が省略され、監査人の判断により、不正又は誤謬による中間財務諸表の重要な虚偽表示リスクの評価に基づいて、分析的手続等を中心とした監査手続に必要な応じて追加の監査手続が選択及び適用される。
- ・ 中間財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な中間監査手続を立案するために、中間財務諸表の作成と有用な情報の表示に関連する内部統制を検討する。
- ・ 経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた会計上の見積りの合理性及び関連する注記事項の妥当性を評価する。
- ・ 経営者が継続企業を前提として中間財務諸表を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められるかどうか結論付ける。継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、中間監査報告書において中間財務諸表の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する中間財務諸表の注記事項が適切でない場合は、中間財務諸表に対して除外事項付意見を表明することが求められている。監査人の結論は、中間監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、ファンドは継続企業として存続できなくなる可能性がある。
- ・ 中間財務諸表の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠しているかどうかとともに、関連する注記事項を含めた中間財務諸表の表示、構成及び内容、並びに中間財務諸表が基礎となる取引や会計事象に関して有用な情報を表示しているかどうかを評価する。  
監査人は、経営者に対して、計画した中間監査の範囲とその実施時期、中間監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む中間監査上の重要な発見事項、及び中間監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。  
監査人は、経営者に対して、独立性についての我が国における職業倫理に関する規定を遵守したこと、並びに監査人の独立性に影響を与えると合理的に考えられる事項、及び阻害要因を除去又は軽減するためにセーフガードを講じている場合はその内容について報告を行う。

#### 利害関係

SBIアセットマネジメント株式会社及びファンドと当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- 
1. 上記は中間監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社が別途保管しております。
  2. XBRLデータは中間監査の対象には含まれておりません。

# 独立監査人の中間監査報告書

2023年9月5日

SBIアセットマネジメント株式会社  
取締役会 御中

監査法人 ナカチ  
東京都千代田区

代表社員 公認会計士 高村 俊行  
業務執行社員

代表社員 公認会計士 家富 義則  
業務執行社員

## 中間監査意見

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「ファンドの経理状況」に掲げられているSBIグローバル・ラップファンド(積極型)の2022年12月16日から2023年6月15日までの中間計算期間の中間財務諸表、すなわち、中間貸借対照表、中間損益及び剰余金計算書並びに中間注記表について中間監査を行った。

当監査法人は、上記の中間財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠して、SBIグローバル・ラップファンド(積極型)の2023年6月15日現在の信託財産の状態及び同日をもって終了する中間計算期間(2022年12月16日から2023年6月15日まで)の損益の状況に関する有用な情報を表示しているものと認める。

## 中間監査意見の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる中間監査の基準に準拠して中間監査を行った。中間監査の基準における当監査法人の責任は、「中間財務諸表監査における監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、SBIアセットマネジメント株式会社及びファンドから独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、中間監査の意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

## 中間財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠して中間財務諸表を作成し有用な情報を表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない中間財務諸表を作成し有用な情報を表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

中間財務諸表を作成するに当たり、経営者は、継続企業の前提に基づき中間財務諸表を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に基づいて継続企業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

## 中間財務諸表監査における監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した中間監査に基づいて、全体として中間財務諸表の有用な情報の表示に関して投資者の判断を損なうような重要な虚偽表示がないかどうかの合理的な保証を得て、中間監査報告書において独立の立場から中間財務諸表に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正又は誤謬により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、中間財務諸表の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる中間監査の基準に従って、中間監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・ 不正又は誤謬による中間財務諸表の重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽表示リスクに対応する中間監査手続を立案し、実施する。中間監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。さらに、中間監査の意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。なお、中間監査手続は、年度監査と比べて監査手続の一部が省略され、監査人の判断により、不正又は誤謬による中間財務諸表の重要な虚偽表示リスクの評価に基づいて、分析的手続等を中心とした監査手続に必要な応じて追加の監査手続が選択及び適用される。
- ・ 中間財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な中間監査手続を立案するために、中間財務諸表の作成と有用な情報の表示に関連する内部統制を検討する。
- ・ 経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた会計上の見積りの合理性及び関連する注記事項の妥当性を評価する。
- ・ 経営者が継続企業を前提として中間財務諸表を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められるかどうか結論付ける。継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、中間監査報告書において中間財務諸表の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する中間財務諸表の注記事項が適切でない場合は、中間財務諸表に対して除外事項付意見を表明することが求められている。監査人の結論は、中間監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、ファンドは継続企業として存続できなくなる可能性がある。
- ・ 中間財務諸表の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠しているかどうかとともに、関連する注記事項を含めた中間財務諸表の表示、構成及び内容、並びに中間財務諸表が基礎となる取引や会計事象に関して有用な情報を表示しているかどうかを評価する。  
監査人は、経営者に対して、計画した中間監査の範囲とその実施時期、中間監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む中間監査上の重要な発見事項、及び中間監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。  
監査人は、経営者に対して、独立性についての我が国における職業倫理に関する規定を遵守したこと、並びに監査人の独立性に影響を与えると合理的に考えられる事項、及び阻害要因を除去又は軽減するためにセーフガードを講じている場合はその内容について報告を行う。

#### 利害関係

SBIアセットマネジメント株式会社及びファンドと当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- 
1. 上記は中間監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社が別途保管しております。
  2. XBRLデータは中間監査の対象には含まれておりません。